

Dell™ インタラクティブ
プロジェクタ S510
取扱説明書



メモ、注意、警告



メモ：「メモ」は、プロジェクタの使用に際して役立つ重要な情報です。



注意：「注意」は、指示に従わない場合ハードウェアの損傷やデータ損失の可能性を示しています。



警告：「警告」は、物的損害、負傷、もしくは死の可能性を意味しません。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

© 2014 Dell Inc. All rights reserved.

Dell Inc. 社の書面による許諾を受けることなく、どのような形態であっても、本書を複製することは固く禁じられています。

本書で使用されている商標：Dell および DELL ロゴは、Dell Inc. の商標です。DLP、DLP ロゴは、TEXAS INSTRUMENTS INCORPORATED の商標です。Microsoft および Windows は、米国および / またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

本書で使用されているその他の商標および製品名はそれぞれの所有者に帰属しています。Dell Inc. は他社の所有する商標や製品名の所有権をすべて放棄します。

モデル：Dell インタラクティブプロジェクタ S510

2014 年 12 月 改訂 A00

目次

1	プロジェクタについて	5
	対話型ペンについて.....	7
2	プロジェクタの接続	9
	コンピュータへの接続.....	11
	DVD プレーヤーの接続.....	19
	ローカルエリアネットワークへの接続.....	23
3	プロジェクタの使用方法	25
	プロジェクタの電源を入れる.....	25
	プロジェクタの電源を切る.....	25
	プロジェクタのフォーカス調整.....	26
	プロジェクタのミラーのクリーニング.....	26
	投影画像サイズの調整.....	27
	リモコンの使用法.....	29
	リモートコントロールバッテリーの取り付け.....	32
	対話型ペンのペン先を交換する.....	33
	対話型ペンのバッテリーを交換する.....	34
	リモコンの動作範囲.....	35
	オンスクリーンディスプレイの使用法.....	36
	マルチメディア入門.....	56
	USB を使ってマルチメディアにファイルタイプ をセットアップする方法.....	58
	内部メモリを使ってマルチメディアに ファイルタイプをセットアップする方法.....	60
	USB および内部メモリ用オフィスビューア.....	62
	USB および内部メモリへのマルチメディアの セットアップ.....	63
	Intel® ワイヤレスディスプレイ (WiDi) を使用する ..	64
	ワイヤレスディスプレイまたは LAN ディスプレイの設置.....	72
	Windows オペレーティングシステム設定の場合 ..	73
	Mac オペレーティングシステム設定の場合.....	85
	オーディオ投影のインストール.....	90

USB ディスプレイ (DoUSB) のインストール	103
IR ペンの双方向性インストール	106
Web 管理からプロジェクタの管理	110
アプリケーショントークンの作成	133
4 プロジェクタのトラブルシューティング	134
ガイド信号	138
ランプの交換	139
5 仕様	141
6 Dell へのお問い合わせ	147
Crestron へのお問い合わせ	148
7 付録：用語集	149

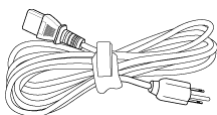
1

プロジェクタについて

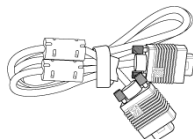
このプロジェクタには次のものが付属しています。すべての付属品が揃っていることをご確認ください。万一、不足の品がありましたら、Dell までご連絡ください。

同梱されているもの

電源ケーブル



VGA ケーブル (VGA から VGA)



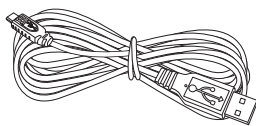
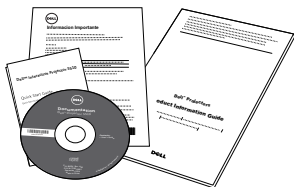
リモコン



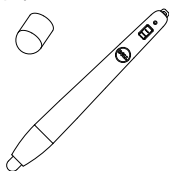
単 4 電池 (6)



CD ユーザーガイドおよびドキュメント Mini USB ケーブル (USB-A から Mini USB-B)

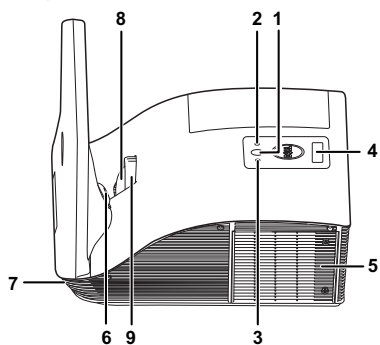


IR ペン (2 本) / ペン先キャップ (4 本) リストストラップ (2 本)

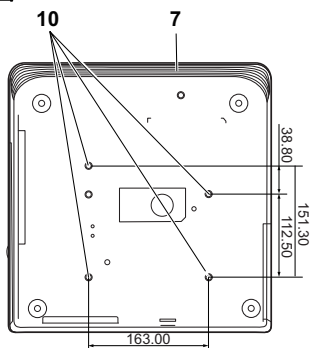


プロジェクタについて

上方図



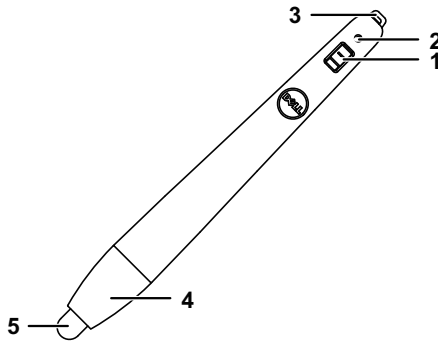
底面図



1	電源ボタン
2	温度 LED
3	ランプ LED
4	IR レシーバ
5	ランプカバー
6	カメラ
7	10 W スピーカー
8	レンズ
9	フォーカスリング
10	取付ホール（壁掛け用）ねじ穴 M4 x 8 mm 深度。推奨トルク <10 kgf-cm

対話型ペンについて

対話型ペンをマウスと同じように使用すれば、投影された画面からのコンピュータのナビゲートや選択、および相互操作が可能です。



1	電源スイッチ
2	パワーインジケータ ペンの電源を入れると、パワーインジケータが数秒間点滅してから消灯します。 緑：通常動作 赤：バッテリー残量低下 消灯：バッテリー切れ
3	リストストラップホルダ
4	バッテリーへのアクセス。回して開き、バッテリーを交換します。
5	ペン先

注意：安全上のご注意

- 1 プロジェクタ機器は熱を発するものの近くでは使用しないでください。
- 2 プロジェクタはほこりの多い場所では使用しないでください。ほこりが原因でシステムが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることがあります。
- 3 プロジェクタはよく換気された場所に設置してください。
- 4 プロジェクタにある通気口や開口部を塞がないでください。
- 5 プロジェクタは 5°C ~ 35°C の周囲温度で操作します。
- 6 プロジェクタの電源をオンにした後、またはオフにした直後は、換気口がきわめて高温になっているため、触れないようにしてください。
- 7 プロジェクタがオンになっている間レンズをのぞき込まないでください。目を損傷する原因となります。
- 8 プロジェクタがオンになっている間、プロジェクタの前に物体を置かないでください。熱で物体が溶けたり燃える原因となります。
- 9 心臓ペースメーカーの傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。
- 10 医療機器の傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。
- 11 電子レンジの傍で、ワイヤレスプロジェクタを使用しないでください。

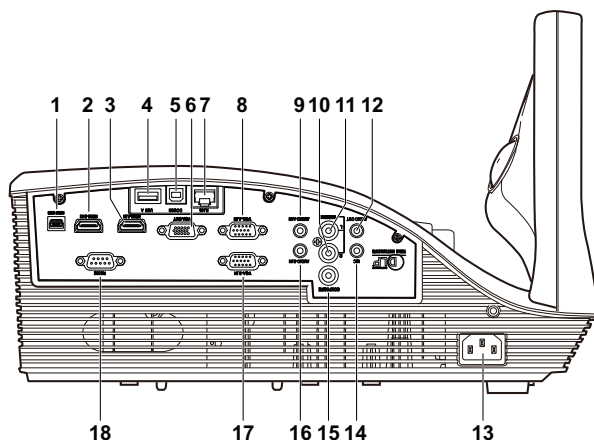


メモ：


- お客様自身でこのプロジェクタの壁掛けを試みないでください。取り付けは、専門の取り付け業者に依頼してください。
- 推奨されるプロジェクタ壁掛け (P/N:7XY53)。詳細については、Dell サポート Web サイト (dell.com/support) を参照してください。
- 詳細については、プロジェクタに付属する **安全情報** を参照してください。
- S510 プロジェクタは室内専用です。

2

プロジェクトタの接続

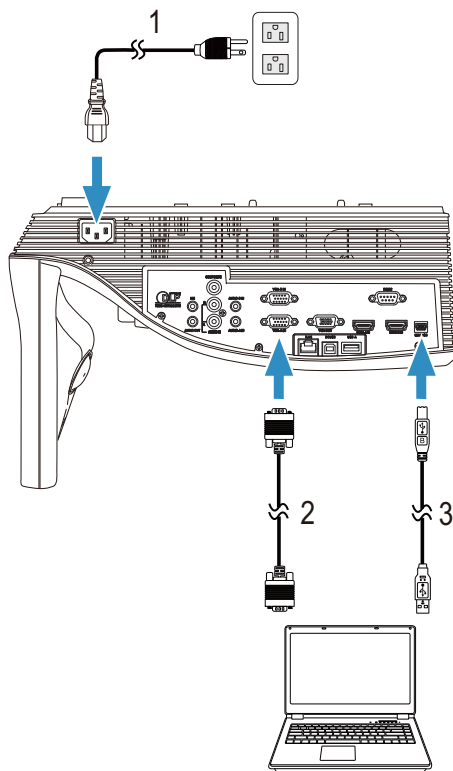


1	Mini USB (Mini タイプ B) コネクタ (リモートコントロール用)、対話型ペン、およびファームウェアアップグレード	10	オーディオ右チャンネル入力コネクタ
2	HDMI-B 入力コネクタ	11	オーディオ左チャンネル入力コネクタ
3	MHL 機能をサポートするための HDMI-A コネクタ	12	オーディオ出力コネクタ
4	USB ビューア用 USB タイプ A コネクタ	13	電源コードコネクタ
5	USB ディスプレイ用 USB タイプ B コネクタ (DoUSB)	14	マイクコネクタ
6	VGA 出力 (モニターループスルー) コネクタ	15	コンジットビデオコネクタ
7	RJ-45 コネクタ	16	オーディオ -B 入力コネクタ
8	VGA-A 入力 (D サブ) コネクタ	17	VGA-B 入力 (D サブ) コネクタ
9	オーディオ -A 入力コネクタ	18	RS232 コネクタ


 注意：この章で説明する交換処理の前に、ページ 8 にある「安全上のご注意」をお読みください。

コンピュータへの接続

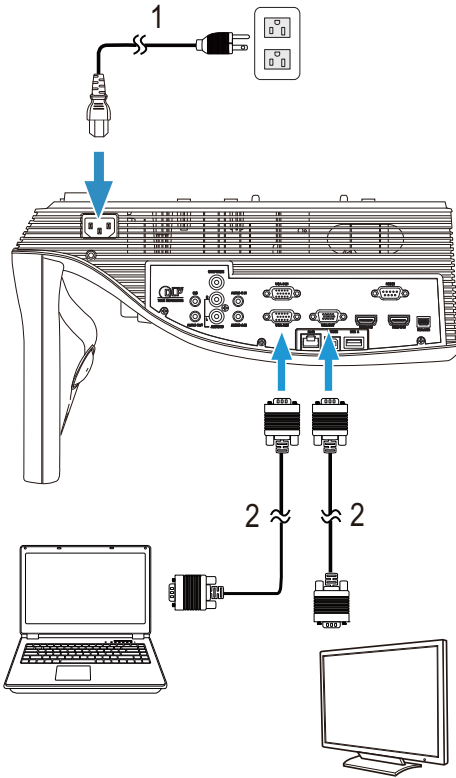
VGA ケーブルを使ったコンピュータの接続



- | | |
|---|-----------------------|
| 1 | 電源コード |
| 2 | VGA - VGA ケーブル |
| 3 | USB-A - ミニ USB-B ケーブル |

 **メモ:** リモコンで「次のページ」機能と「前のページ」機能を使用する場合は、ミニ USB ケーブルを接続する必要があります。

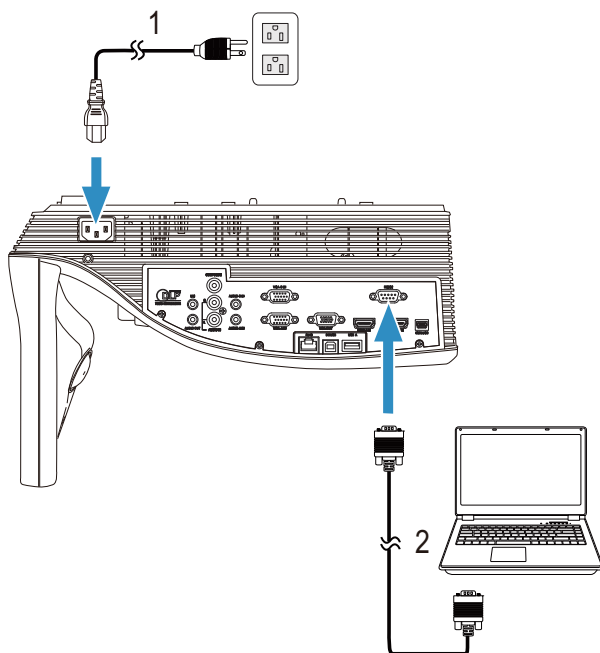
VGA ケーブルを使用してループする一接続をモニターしてください




- 1 電源コード
- 2 VGA - VGA ケーブル

メモ: プロジェクタには VGA ケーブル 1 本のみが付属しています。追加の VGA ケーブルは、Dell Web サイト (www.dell.com) でご購入いただけます。

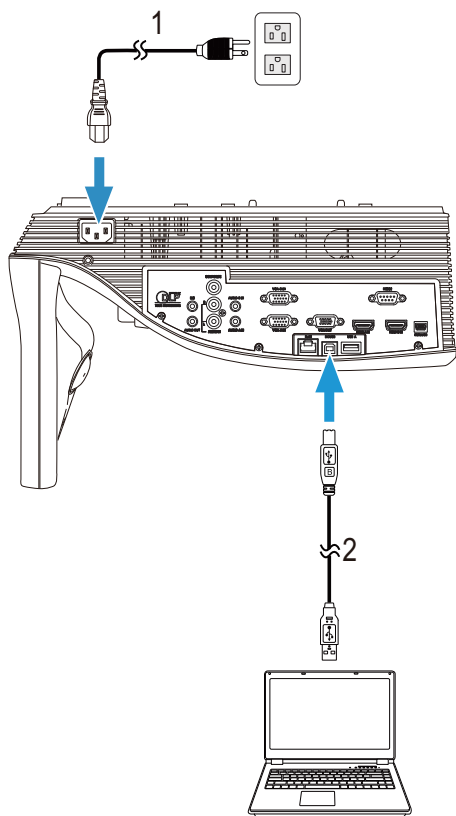
RS232 ケーブルを使ったコンピュータの接続




-
- 1 電源コード
 - 2 RS232 (9ピン D-sub メス - メスピン 2～3 スワップ) ケーブル
-

 **メモ**：RS232 (9ピン D-sub メス - メスピン 2～3 スワップ) ケーブルは、プロジェクタに付属していません。ケーブルと RS232 リモコンソフトウェアについては専門のインストール業者までお問い合わせください。

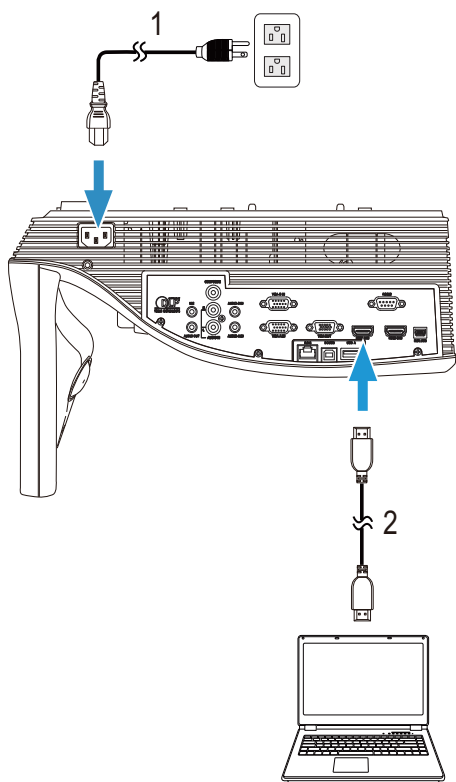
USB ケーブルを使ったコンピュータの接続



-
- | | |
|---|--------------------|
| 1 | 電源コード |
| 2 | USB-A - USB-B ケーブル |
-


 **メモ:** プラグアンドプレイ。プロジェクタには USB ケーブル 1 本のみが付属しています。追加の USB ケーブルは、Dell Web サイト (www.dell.com) でご購入いただけます。

HDMI ケーブルでコンピューターと接続する

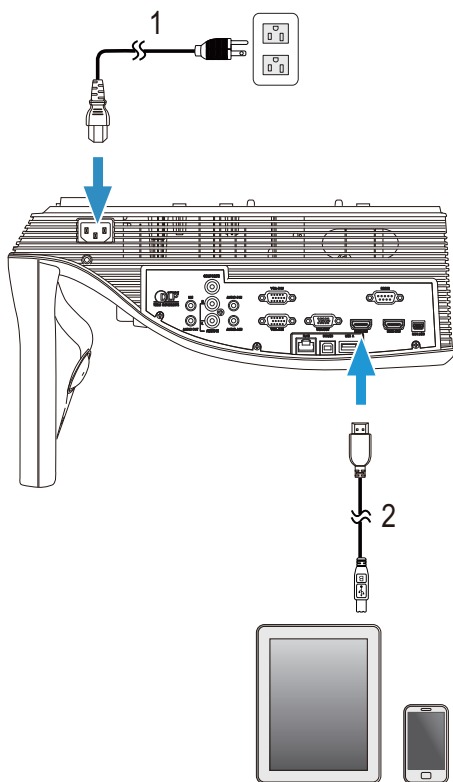


1 電源コード

2 HDMI ケーブル

 **メモ** : HDMI ケーブルは付属していません。Dell Web サイト www.dell.com で HDMI ケーブルをご購入いただけます。

MHL ケーブルでモバイルデバイス(タブレット)と接続する



-
- | | |
|---|----------|
| 1 | 電源コード |
| 2 | MHL ケーブル |
-



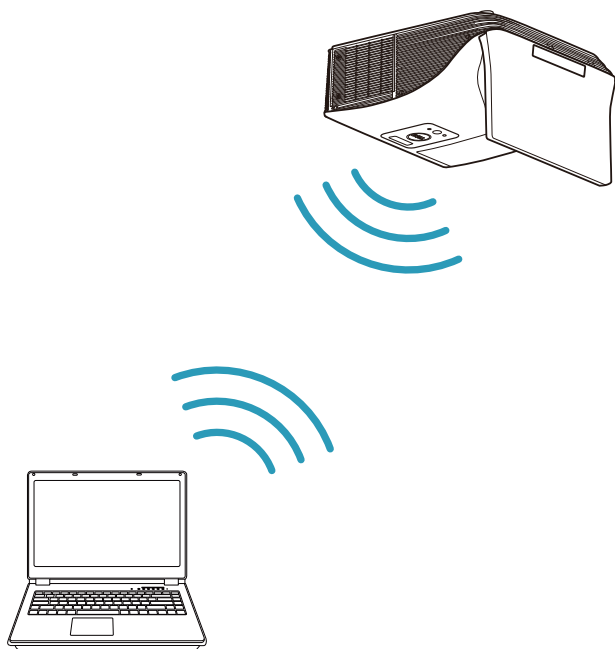
メモ: MHL ケーブルはプロジェクターに付属していません。



メモ:

- ご使用のスマートフォンまたはタブレットが MHL 機能をサポートしてなければなりません。
- 一部のスマートフォンまたはタブレットは、さらに MHL アダプターまたはアダプターケーブルを接続する必要があります。詳しくは販売店までご確認ください。

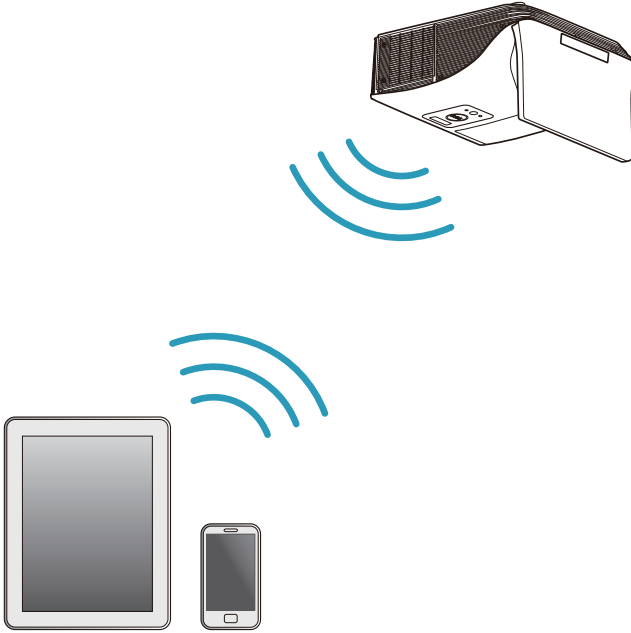
無線または Intel® WiDi を使用してコンピュータを接続する



メモ：別のワイヤレス接続を検出するには、お使いのコンピュータにワイヤレスアダプターを装備し、適宜設定する必要があります。ワイヤレス接続の設定方法については、コンピュータのマニュアルを参照してください。

メモ：Intel® WiDi を介してコンピュータを接続するには、お使いのコンピュータが Intel® WiDi 互換である必要があります。

無線を使ってスマートホンまたはタブレットを接続する



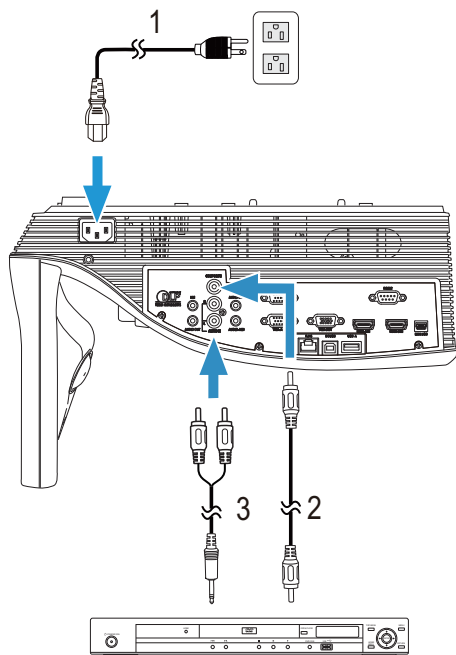
メモ : Dell S510 は、MobiShow アプリケーションおよび WiFi-Doc アプリケーションをサポートしています。これらのアプリケーションを使用すると、Android デバイスまたは iOS デバイスから、サポートされるコンテンツをワイヤレスで伝送できます。お使いのモバイルデバイスにアプリケーションをインストールして起動した後で、Wi-Fi を有効化し、プロジェクタネットワーク (Dell S510) に接続します。詳細については、Dell サポートサイト (dell.com/support) を参照してください。サポートされるファイルは次の通りです。

Mobi Show	写真	jpeg / jpg
	MS Powerpoint	PtG2 (ppt から変換)*
WiFi-Doc	写真	jpeg / jpg
	MS Powerpoint / Word / Excel / Text / PDF	ppt / pptx / doc / docx / xls / xlsx / txt / pdf

* ppt を PtG2 形式に変換するには、PtG2 Converter を PC にインストールしてください。PtG2 Converter は dell.com/support からダウンロードできます。

DVD プレーヤーの接続

コンポジットビデオケーブルおよび L/R オーディオケーブルを使用して DVD プレーヤーを接続する

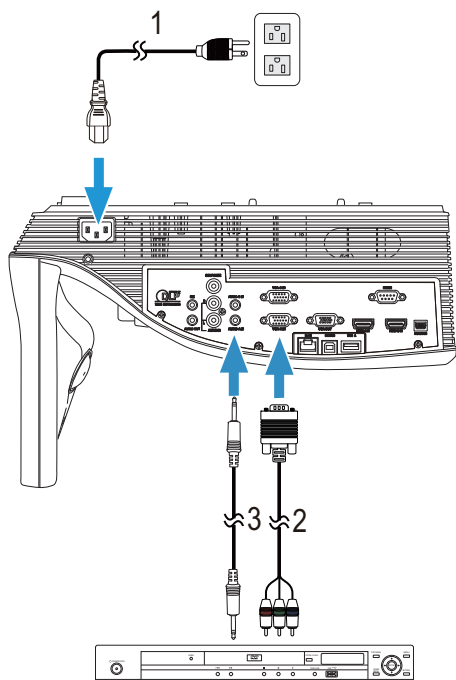


- 1 電源コード
- 2 コンポジットビデオケーブル
- 3 L/R オーディオケーブル

メモ: コンポジットビデオケーブルは付属していません。Dell Web サイト (www.dell.com) でコンポジットビデオ延長 (50 フィート / 100 フィート) ケーブルをお買い求めいただけます。

メモ: L/R オーディオケーブルはプロジェクターに付属していません。

コンポーネントビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続

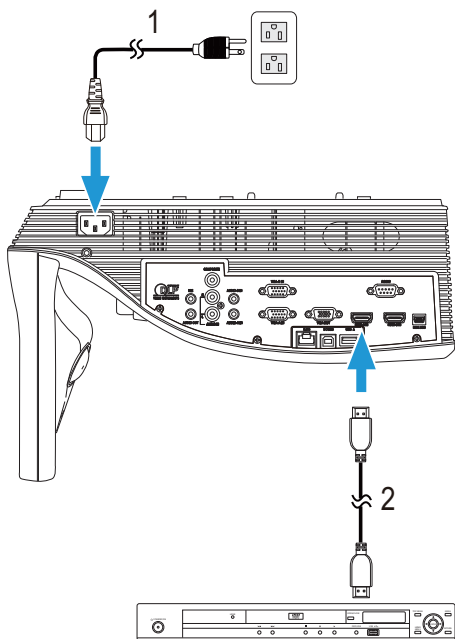


- 1 電源コード
- 2 VGA - コンポーネントビデオケーブル
- 3 オーディオケーブル




メモ: VGA からコンポーネントビデオへのケーブルおよびオーディオケーブルはプロジェクターに付属していません。Dell Web サイト (www.dell.com) で VGA - コンポーネントビデオ延長 (50 フィート / 100 フィート) ケーブルをお買い求めいただけます。

HDMI ケーブルを使った DVD プレーヤーの接続

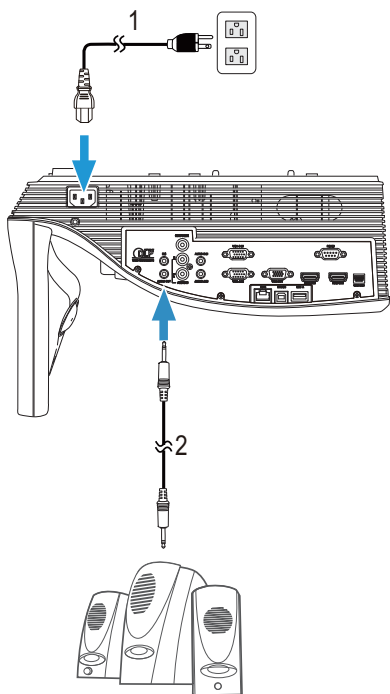


1 電源コード

2 HDMI ケーブル


 **メモ** : HDMI ケーブルは付属していません。Dell Web サイト www.dell.com で HDMI ケーブルをご購入いただけます。

オーディオケーブルを使用して外部スピーカーに接続する



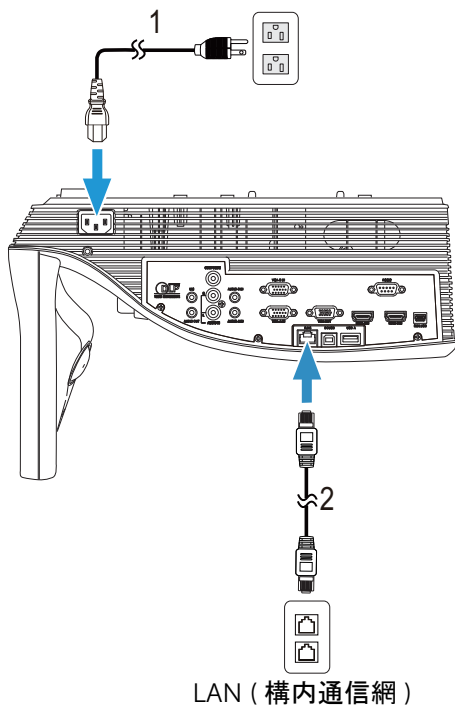
1 電源コード

2 オーディオケーブル

 **メモ:** オーディオケーブルはプロジェクターに付属していません。

ローカルエリアネットワークへの接続

画像を投射し、RJ45 ケーブルを通してネットワークに接続されたプロジェクタを制御します。



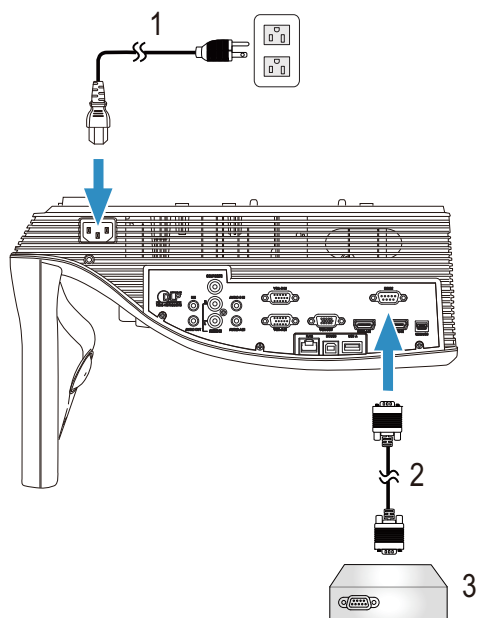
1 電源コード

2 RJ45 ケーブル



メモ : RJ45 ケーブルは付属していません。Dell Web サイト www.dell.com で RJ45 ケーブルをご購入いただけます。

商用 RS232 コントロールボックスの接続



-
- | | |
|---|---|
| 1 | 電源コード |
| 2 | RS232 (9ピン D-sub メス - メスピン 2 ~ 3 スワップ) ケーブル |
| 3 | 商用 RS232 コントロールボックス |
-




メモ: RS232 (9ピン D-sub メス - メスピン 2 ~ 3 スワップ) ケーブルは、プロジェクトに付属していません。ケーブルの入手については、専門技術者にお問い合わせください。

3


プロジェクタの使用方法

プロジェクタの電源を入れる


 **メモ:** プロジェクタの電源をオンにしてから、ソース(コンピュータ、DVD プレーヤーなど)の電源をオンにしてください。電源ボタンを押すまで、ボタンは白色で点滅します。

- 1 電源コードと適切な信号ケーブルをプロジェクタに接続します。プロジェクタの接続については、ページ 9 の「プロジェクタの接続」を参照してください。
- 2 電源ボタンを押します(電源ボタンの位置については、ページ 29 の「リモコンの使用方法」を参照してください)。
- 3 ソース(コンピュータ、DVD プレーヤーなど)の電源を入れます。
- 4 適切なケーブルを使用して、プロジェクタにソースを接続します。プロジェクタにソースを接続する方法については、ページ 9 の「プロジェクタの接続」を参照してください。
- 5 デフォルトで、入力ソースは VGA-A に設定されています。必要に応じて、プロジェクタの入力ソースを変更してください。
- 6 プロジェクタに複数のソースが接続されている場合は、リモコンの **Source** ボタンを押して、希望するソースを選択します。**Source** ボタンを確認するには、ページ 29 の「リモコンの使用方法」を参照してください。


プロジェクタの電源を切る

 **注意:** プロジェクタの接続を外す前に、次に説明する手順に従って正しくシャットダウンします。

- 1 電源ボタンを押します。プロジェクタを適切にオフにするには、スクリーンに表示される指示に従ってください。

 **メモ:** 「電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにします。」メッセージが画面に表示されます。メッセージは 5 秒後に消えるのを待つか、メニューボタンを押してメッセージを消去します。

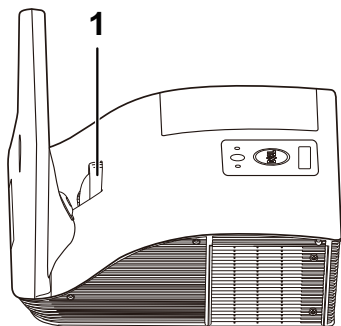
- 2 電源ボタンをもう一度押します。冷却ファンが 120 秒間作動します。
- 3 時間を掛けずにプロジェクタの電源を切るには、プロジェクタの冷却ファンが作動中に電源ボタンを 1 秒間押し続けます。

 **メモ:** プロジェクタの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで 60 秒待ちます。

4 コンセントとプロジェクタから電源ケーブルの接続を外します。

プロジェクタのフォーカス調整

1 画像が鮮明になるまでフォーカスリングを回します。プロジェクタの焦点距離は 0.517 m ~ 0.759 m ± 0.01 m (1.7 ft ~ 2.49ft) です。



1	フォーカスリング
---	----------

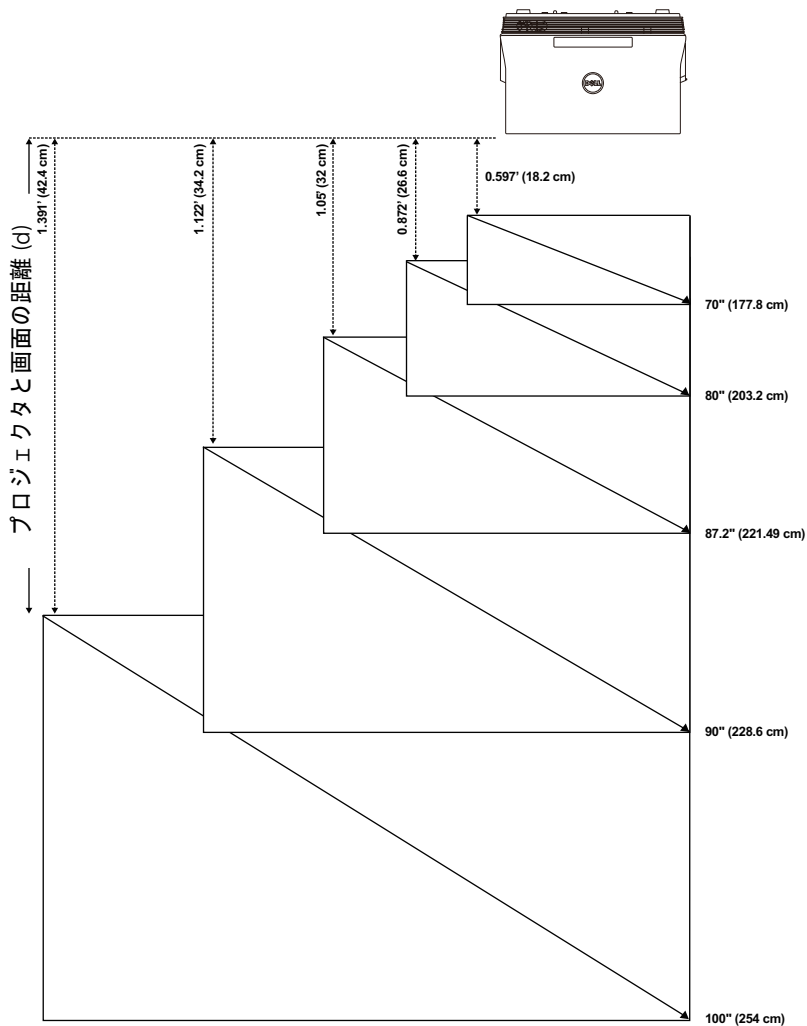
プロジェクタのミラーのクリーニング

- 1 プロジェクタの電源を切り、電源コードの接続を外します。
- 2 プロジェクタを少なくとも 30 分間そのままにして冷却します。
- 3 送風機のパルプを使用してミラーのほこりを吹き飛ばすか、マイクロファイバー洗浄クロスを使用してミラーをそっと拭きます。ミラーの表面をごしごしこすらないでください。ミラーに傷が付く恐れがあります。

△ 注意: プロジェクタに直接クリーナーや溶剤をスプレーしないでください。


⚠ 警告: 壁掛け式のプロジェクタをクリーニングすると、落ちて負傷する結果をもたらす原因となります。壁掛けブラケットからプロジェクタを取り外し、プロジェクタのミラーを洗浄することができます。

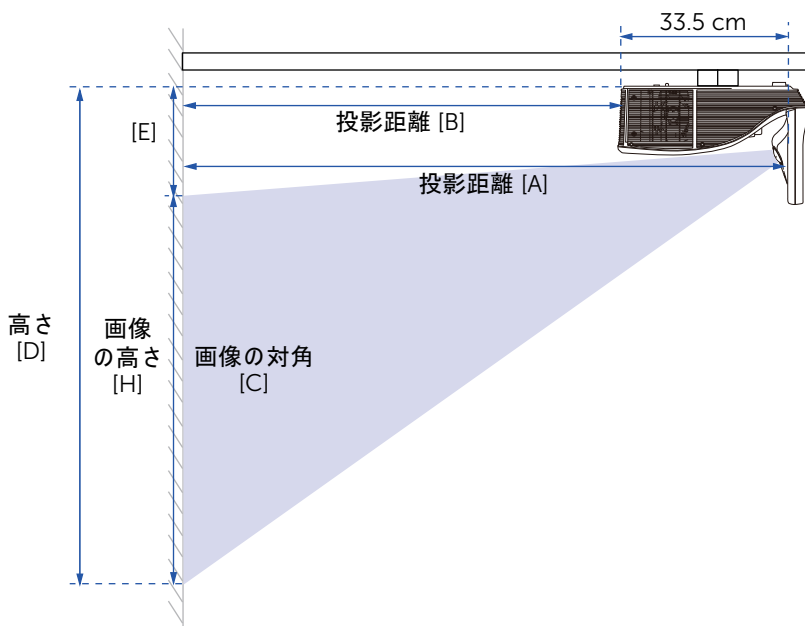
投影画像サイズの調整



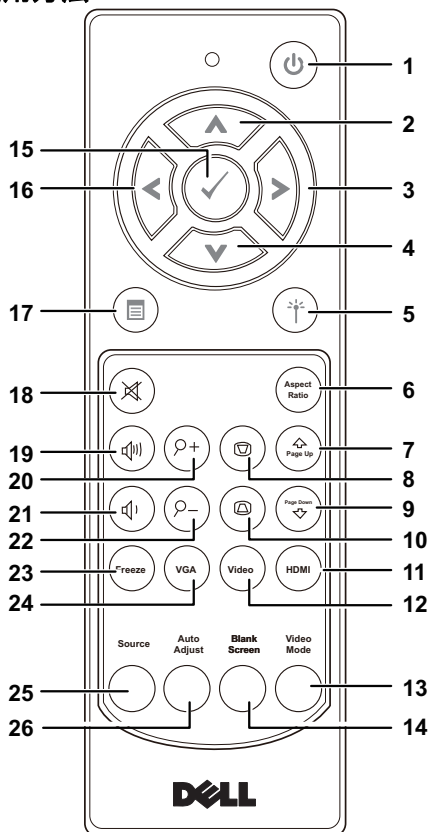
投影距離 (cm) [A]	投影距離 (cm) [B]	画像サイズ			プロジェクタ のベースから 画像の上部ま で (cm) [D]	プロジェクタ のベースから 画像の下部ま で (cm) [E]
		対角 (インチ /cm) [C]	幅 (cm)	高さ (cm) [H]		
51.7	18.2	70 インチ (177.8 cm)	148	92	120	28
60.1	26.6	80 インチ (203.2 cm)	172	107	139	32
65.5	32	87.2 インチ (221.4 cm)	187	117	151	34
67.7	34.2	90 インチ (228.6 cm)	193	121	156	35
75.9	42.4	100 インチ (254 cm)	217	136	175	39




* この表はユーザーの参照用です。
* オフセット比 : 125+5%










 **メモ** : ミラーからプロジェクタ背面までの距離 : 33.5 cm













リモコンの使用法




- | | |
|---|---|
| <p>1 電源 </p> | <p>プロジェクタの電源のオン/オフを切り替えます。詳しくは、ページ 25 の「プロジェクタの電源を入れる」およびページ 25 の「プロジェクタの電源を切る」を参照してください。</p> |
| <p>2 上 </p> | <p>このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。</p> |
| <p>3 右 </p> | <p>このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。</p> |

4	下 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
5	レーザー 	リモコンを画面に向け、レーザーボタンを押し続けてレーザーライトを起動します。 △ 注意: レーザーがオンになっている間、レーザーポイントをのぞき込まないでください。レーザー光線を自分の目に向けないでください。
6	縦横比 	このボタンを押して、表示された画像の縦横比を変更します。
7	ページ上 	このボタンを押して前のページへ移動します。 📎 メモ: ページ上機能を使用する場合、ミニ USB ケーブルを接続する必要があります。
8	キーストーン調整 + 	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (-15/+15 度)。
9	ページ下 	このボタンを押して次のページへ移動します。 📎 メモ: ページ下機能を使用する場合、ミニ USB ケーブルを接続する必要があります。
10	キーストーン調整 - 	ボタンを押して、プロジェクタの傾きによって起こるゆがみを調整します (-15/+15 度)。
11	HDMI 	このボタンを押して HDMI ソースを選択します。
12	ビデオ 	このボタンを押してコンポジットビデオソースを選択します。
13	ビデオモード	プロジェクタには、データ (プレゼンテーションスライド) やビデオ (映画、ゲームなど) の表示に最適なプリセット設定があります。ビデオモードボタンを押して、プレゼンテーションモード、明るさモード、映画モード、sRGB、またはカスタムモードを切り替えます。 ビデオモードボタンを 1 回押すと、現在の表示モードが表示されます。もう一度ビデオモードボタンを押すと、モードが切り替わります。

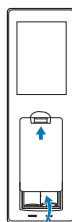
14	何もうつっていない画面	このボタンを押して、画像を表示したり非表示にします。
15	入力 	このボタンを押して選択を確定します。
16	左 	このボタンを押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目をナビゲートします。
17	メニュー 	このボタンを押して OSD を起動します。
18	消音 	このボタンを押して、プロジェクタのスピーカーを消音にしたり消音を解除します。
19	音量アップ 	このボタンを押して音量を上げます。
20	ズーム + 	このボタンを押して画像を上げます。
21	音量ダウン 	このボタンを押して音量を下げます。
22	ズーム - 	このボタンを押して画像を下げます。
23	フリーズ 	このボタンを押してスクリーンの画像を一時停止します。「フリーズ」をもう一度押すと再生に戻ります。
24	VGA 	このボタンを押して VGA ソースを選択します。
25	ソース	押して、VGA-A、VGA-B、コンポジット、HDMI-A、HDMI-B、ワイヤレスディスプレイ、USB ディスプレイ、USB ビューア、Intel® WiDi、および内部メモリソース間を切り替えます。
26	自動調整	このボタンを押して、プロジェクタと入力ソースを同期化します。OSD が表示されている場合は、自動調整は動作しません。

リモートコントロールバッテリーの取り付け

 **メモ:** 使用していないときは、リモコンからバッテリーを取り外してください。

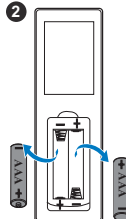
1 タブを押してバッテリー収納部のカバーを持ち上げます。

①



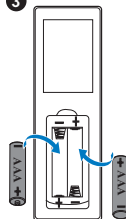
2 バッテリーの極性 (+/-) のマークをチェックします。


②



3 バッテリー収納部のマークに従って極性が合うように、バッテリーを挿入します。

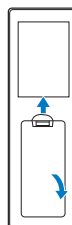
③




 **メモ:** 異なる種類のバッテリーを混合したり、新しいものと古いものを一緒に使用することを避けてください。

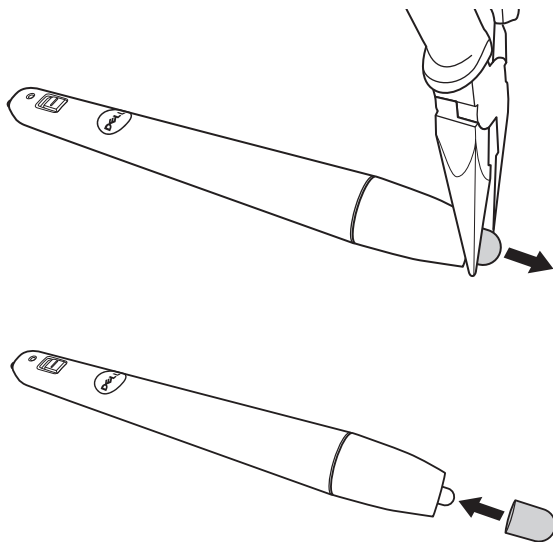
4 バッテリーカバーを元に戻します。

④




対話型ペンのペン先を交換する

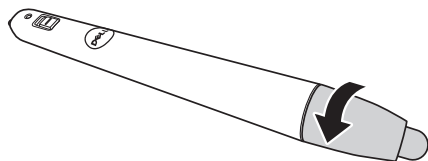
-  メモ：ペン先が損傷した場合または機能しなくなった場合、交換する必要があります。



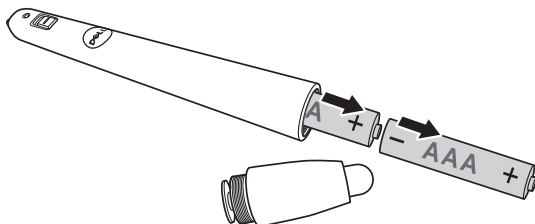
対話型ペンのバッテリーを交換する

 **メモ:** バッテリー残量が低下すると、ペンの電源を入れたときにLEDインジケーターが赤く点滅し始めます。新しい単4電池2本と交換してください。

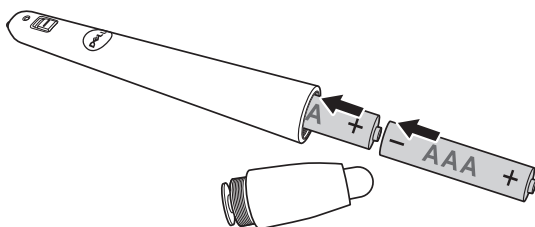
1 バッテリー部はペンの先端を回して開きます。




2 バッテリーの極性 (+/-) のマークをチェックします。

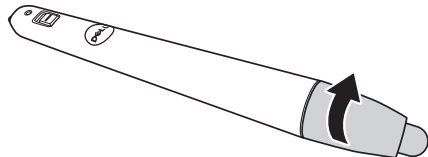


3 極性が合うよう、ペン先端のマークに従ってバッテリーを挿入します。



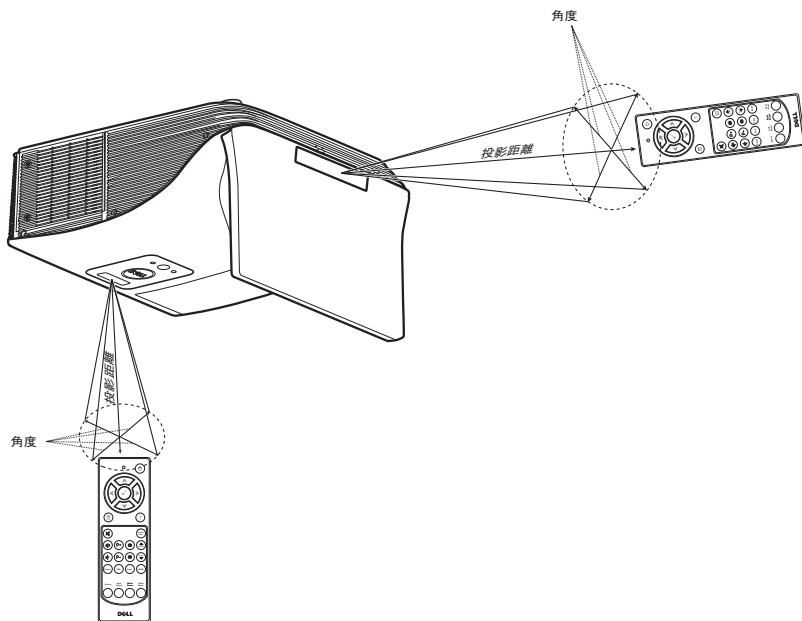
 **メモ:** 異なる種類のバッテリーを混合したり、新しいものと古いものを一緒に使用することを避けてください。

4 ペン先端を元に戻し、バッテリー部が完全に閉じるまで回します。












リモコンの動作範囲

動作範囲	
角度	±40°
投影距離	7 m



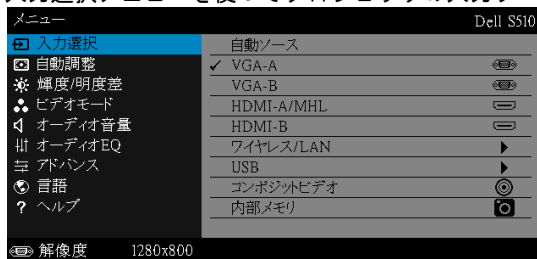
メモ：実際の動作範囲は、図とわずかに異なることがあります。バッテリー残量が少ない場合も、リモコンでプロジェクタを適切に操作できない原因となります。

オンスクリーンディスプレイの使用法

- プロジェクタには多言語のオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューがあり、入力ソースの有無に関わらず表示されます。
- リモコンのメニューボタンを押して、メインメニューに移動します。
- メインメニューのタブの間を移動するには、リモコンの  ボタンまたは  ボタンを押します。
- サブメニューを選択するには、リモコンの  ボタンまたは  ボタンを押します。
- オプションを選択するには、リモコンの  ボタンまたは  ボタンを押します。項目を選択すると、色が濃い青色になります。
- リモコンの  または  ボタンを使って設定を調整します。
- メインメニューに戻るには、リモコンの  ボタンを押します。
- OSD を終了するには、直接、リモコンのメニューボタンを押します。

入力選択

入力選択メニューを使ってプロジェクタの入力ソースを選択します。





VGA-A—を押して VGA-A 信号を検出します。


VGA-B—を押して VGA-B 信号を検出します。


HDMI-A/MHL—を押して HDMI-A/MHL 信号を検出します。


HDMI-B—を押して HDMI-B 信号を検出します。

ワイヤレス /LAN—を押して選択のワイヤレス /LAN メニューを起動します。

 **メモ:** 「ワイヤレスと LAN」オプションをオンにすると、ワイヤレス /LAN を使用できるようになります。

USB—を押して入力選択の USB メニューを起動します。

 **メモ:** 「ワイヤレスと LAN」オプションをオンにすると、USB を使用できるようになります。

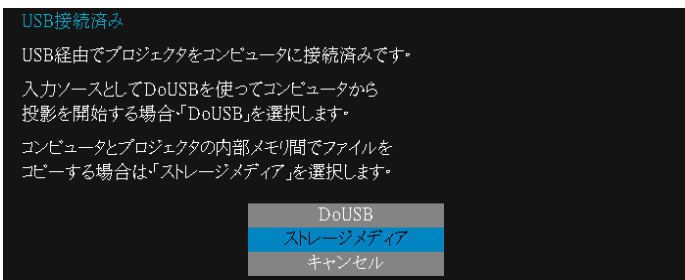
コンポジットビデオ—を押してコンポジットビデオ信号を検出します。

内部メモリ プロジェクタの内部メモリから写真、ビデオ、音楽、MS Word、Excel、Powerpoint および PDF ファイルを再生できます。

メモ：

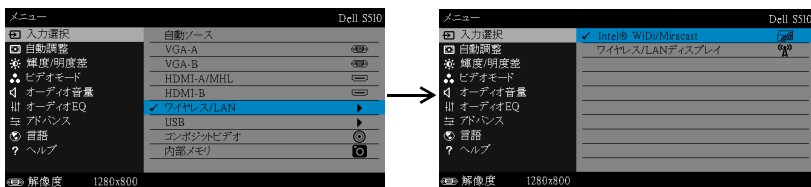
ストレージメディア—また、USB ケーブルを内部メモリソースに接続し、コンピュータからプロジェクタの内部メモリに対してコピー、削除、移動、およびその他の操作を実行することができます。

USB ケーブル経由でプロジェクタとコンピュータを接続すると、「USB が接続されました」というメッセージが表示され、**DoUSB** または **ストレージメディア** から選択することができます。



入力選択のワイヤレス /LAN

入力選択のワイヤレス /LAN メニューにより、Intel® WIDI/Miracast、ワイヤレス /LAN ディスプレイを有効にできます。

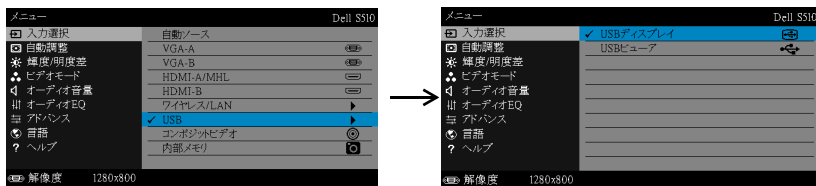


INTEL® WIDI/MIRACAST—を押してプロジェクタの Intel® WIDI または Miracast ガイド画面にアクセスします。

ワイヤレス /LAN ディスプレイ—を押してプロジェクタの無線または LAN ガイド画面にアクセスします。ページ 74 の「ワイヤレス /LAN ガイド画面」を参照してください。

入力選択の USB

入力選択の USB メニューにより、USB ディスプレイ、USB ビューアを有効にできます。



USB ディスプレイ—USB ケーブル経由で、プロジェクトにデスクトップ / ノート PC スクリーンを表示します。

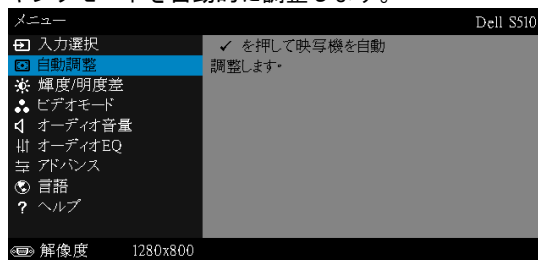


メモ: DoUSB が表示されない場合は、ページ 134 の「プロジェクトのトラブルシューティング」を参照してください。

USB ビューア—USB フラッシュディスクから写真、ビデオ、音楽、MS Word、Excel、Powerpoint および PDF ファイルを再生できます。

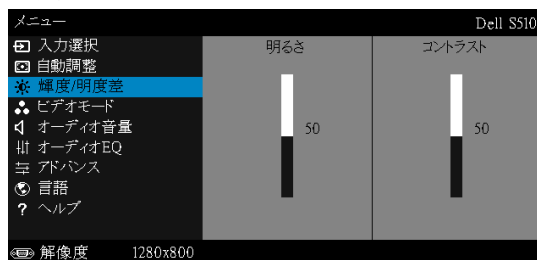
自動調整

自動調整を使って、PC モードでプロジェクトの水平、垂直、周波数、トラッキングモードを自動的に調整します。




輝度 / 明度差

輝度 / 明度差メニューにより、プロジェクタの輝度 / 明度差設定を調整できます。



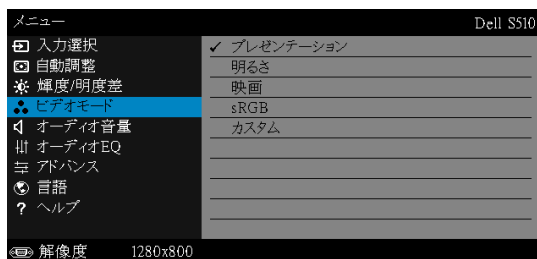
明るさ — や を使って画像の明るさを調整します。

コントラスト — や を使ってディスプレイのコントラストを調整します。

 **メモ**：明るさおよびコントラストの設定を調整すると、プロジェクタは自動的にカスタムモードに切り替わります。

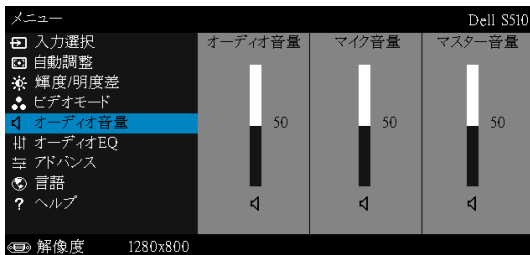
ビデオモード

ビデオモードメニューでは、ディスプレイ画像を最適化します：**プレゼンテーション**、**明るさ**、**映画**、**sRGB** (より精密な色を提供します)、および**カスタム** (お好みの色を設定します)。



オーディオ音量

オーディオ音量メニューを使って、プロジェクトのオーディオ、マイク、マスターボリューム設定を調整します。



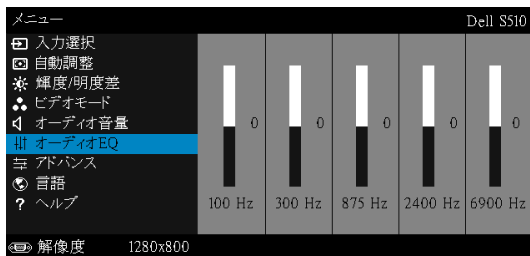
オーディオ音量 — を押してオーディオ音量を上げ、 を押してオーディオ音量を下げます。

マイク音量 — を押してマイク音量を上げ、 を押してマイク音量を下げます。

マスター音量 — を押してオーディオおよびマイク音量を上げ、 を押してオーディオおよびマイク音量を下げます。

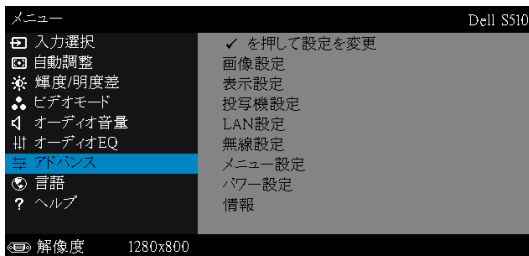
オーディオ EQ

オーディオイコライザーメニューを使って、オーディオを調整したり、信号の異なる周波数レベルを増幅または減少（減衰）させることができます。

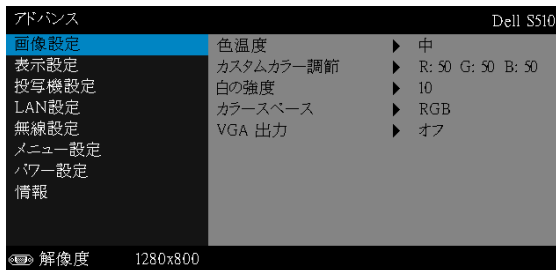


アドバンス

詳細設定メニューは**画像**、**表示**、**投写機**、**LAN**、**無線**、**メニュー**、**パワー**、および**情報**の設定を変更します。



画像設定 (PC モード)—を選択して押し、画面設定を起動します。画像設定メニューには次のオプションがあります。



色温度—色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。**色調整**メニューで値を調整すると、カスタムモードが起動します。値はカスタムモードで保存されます。

カスタムカラー調節—赤、緑、青の色を手動で調整します。

白の強度—を押し、とを使用して白の強度を表示します。

カラースペース—色空間を選択します。オプション：RGB、YCbCr、およびYPbPrがあります。

VGA 出力—オンまたはオフを選択すると、VGA 出力はプロジェクトのスタンバイステータスで機能します。デフォルトはオフです。



メモ：色温度、カスタムカラー調節および白の強度の設定を調整すると、プロジェクトは自動的にカスタムモードに切り替わります。

画像設定 (ビデオモード) を選択して押し、画面設定を起動します。画像設定メニューには次のオプションがあります。

アドバンス		Dell S510
画像設定	色温度	▶ 中
表示設定	カスタムカラー調節	▶ R: 50 G: 50 B: 50
投写機設定	彩度	▶ 50
LAN設定	鮮明度	▶ 50
無線設定	色合い	▶ 50
メニュー設定	白の強度	▶ 10
パワー設定	カラースペース	▶ RGB
情報	VGA 出力	▶ オフ

解像度 1280x800

色温度 — 色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。**色調整**メニューで値を調整すると、カスタムモードが起動します。値はカスタムモードで保存されます。

カスタムカラー調節 — 赤、緑、青の色を手動で調整します。

彩度 — ビデオソースを白黒から彩度のあるフルカラーに調整します。 を押して画像の色の量を増やし、 を押して画像の色の量を減らします。

鮮明度 — を押して鮮明度を上げ、 を押して鮮明度を下げます。

色合い — を押して画像の緑の量を増やし、 を押して画像の緑の量を減らします。

白の強度 — を押し、 と を使用して白の強度を表示します。

カラースペース — 色空間を選択します。オプション：RGB、YCbCr、および YPbPr があります。

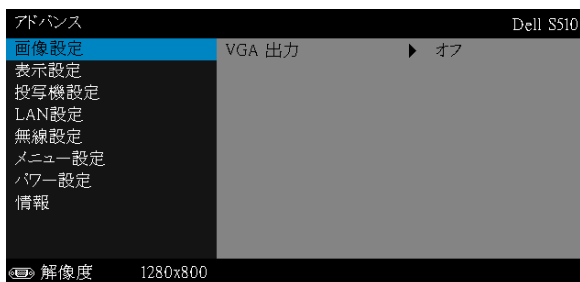
VGA 出力 — オンまたはオフを選択すると、VGA 出力はプロジェクタのスタンバイステータスで機能します。デフォルトはオフです。



メモ：

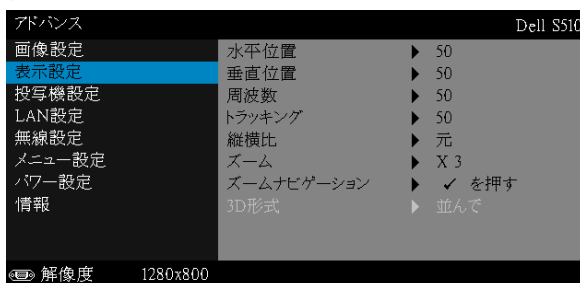
- 1 **色温度、カスタムカラー調節、彩度、鮮明度、色合いおよび白の強度** の設定を調整すると、プロジェクタは自動的にカスタムモードに切り替わります。
- 2 **彩度、鮮明度と色合い** は、入力ソースがコンポジットから出ている場合のみ使用可能です。

画像設定（入力ソースなし）—を選択して押し、画面設定を起動します。画像設定メニューには次のオプションがあります。



VGA出力—オンまたはオフを選択すると、VGA出力はプロジェクタのスタンバイステータスで機能します。デフォルトはオフです。

表示設定 (PC モードで)—を選択して押し、表示設定を起動します。表示設定メニューには次のオプションがあります。



水平位置—を押して画像を右へ移動し、を押して画像を左へ移動します。

垂直位置—を押して画像を上へ移動し、を押して画像を下へ移動します。

周波数—ディスプレイのデータクロック周波数を変更し、コンピュータのグラフィックスカードの周波数と合わせます。縦線がちらつく場合は、周波数コントロールを使って縦線を最小限に抑えます。これは粗調整です。

トラッキング—ディスプレイ信号の位相をグラフィックスカードと同期化します。画像が不安定だったり、ちらつく場合は、トラッキングを使って修正します。これは微調整です。

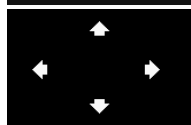
縦横比—縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。
オプション：元、16:10 および 4:3。

- 元 – 元を選択して入力ソースに従って画像プロジェクタの縦横比を維持します。
- 16:10 – 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:10 スクリーン画像を投影します。
- 4:3 – 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、4:3 スクリーン画像を投影します。

ズーム – とを押して、画像をズームし表示します。



または を押して画像の倍率を調整し、
 を押してリモコンでのみ表示します。



ズームナビゲーション – を押して
ズームナビゲーションメニューを起動します。

を使用してプロジェクション画面を
ナビゲートします。

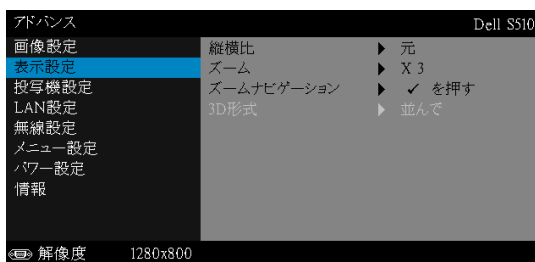
3D 形式 – 3D フォーマットを選択します。オプション：並んで、並んでフル、トップ/ボトム、とトップ/ボトムフル。

3D 同期反転 – DLP 3D メガネをかけている間、離散的画像または重なり画像が見える場合、「反転」を実行して左右画像シーケンスのベストマッチを得て正しい画像が見えるようにします。(DLP 3D メガネの場合)

メモ:

- 3D を体験したいとき、以下の機器が必要になります：
 - DLP Link™ を装備した「アクティブな」3D メガネ。
 - 3D コンテンツ。「注 2」を参照してください。
 - 3D プレーヤー。
- HDMI 1.4a 3D サポートとリフレッシュレートは以下の通りです：
 - 1280 x 720p @ 50 Hz フレーム包装
 - 1280 x 720p @ 59.94/60 Hz フレーム包装
 - 1920 x 1080p @ 23.98/24 Hz フレーム包装
 - 1920 x 1080i @ 50 Hz 並んでハーフ
 - 1920 x 1080i @ 59.94/60 Hz 並んでハーフ
 - 1280 x 720p @ 50 Hz 上ボタン
 - 1280 x 720p @ 59.94/60 Hz 上ボタン
 - 1920 x 1080p @ 23.98/24 Hz 上ボタン

表示設定 (ビデオモード) を選択して押し、表示設定を起動します。
表示設定メニューには次のオプションがあります。



縦横比 — 縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。

オプション：元、16:10 および 4:3。

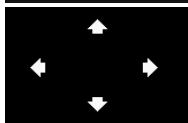
- 元 — 元を選択して入力ソースに従って画像プロジェクタの縦横比を維持します。
- 16:10 — 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、16:10 スクリーン画像を投影します。
- 4:3 — 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、4:3 スクリーン画像を投影します。

ズーム — と を押して、画像をズームし表示します。



または を押して画像の倍率を調整し、
 を押してリモコンでのみ表示します。

ズームナビゲーション — を押して
ズームナビゲーションメニューを起動します。




を使用してプロジェクション画面を
ナビゲートします。

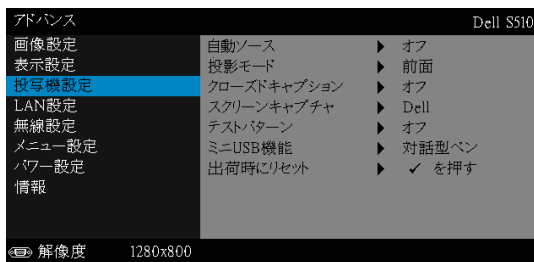
3D 形式 — 3D フォーマットを選択します。オプション：並んで、並んでフル、トップ/ボトム、とトップ/ボトムフル。

3D 同期反転 — DLP 3D メガネをかけている間、離散的画像または重なり画像が見える場合、「反転」を実行して左右画像シーケンスのベストマッチを得て正しい画像が見えるようにします。(DLP 3D メガネの場合)

メモ：

- 3D を体験したいとき、以下の機器が必要になります：
 - DLP Link™ を装備した「アクティブな」3D メガネ。
 - 3D コンテンツ。「注2」を参照してください。
 - 3D プレーヤー。
- HDMI 1.4a 3D サポートとリフレッシュレートは以下の通りです：
 - 1280 x 720p @ 50 Hz フレーム包装
 - 1280 x 720p @ 59.94/60 Hz フレーム包装
 - 1920 x 1080p @ 23.98/24 Hz フレーム包装
 - 1920 x 1080i @ 50 Hz 並んでハーフ
 - 1920 x 1080i @ 59.94/60 Hz 並んでハーフ
 - 1280 x 720p @ 50 Hz 上ボタン
 - 1280 x 720p @ 59.94/60 Hz 上ボタン
 - 1920 x 1080p @ 23.98/24 Hz 上ボタン

投写機設定  を選択して押して、プロジェクタ設定を起動します。プロジェクタ設定メニューには次のオプションがあります。



自動ソース — オフ (デフォルト) を選択して、現在の入力信号をロックします。自動ソースモードをオフに設定した状態でソースボタンを押すと、入力信号を手動で選択できます。オンを選択すると、使用可能な入力信号を自動検出します。プロジェクタの電源が入った状態で Source ボタンを押すと、次の使用可能な入力信号を自動検出します。

投影モード — プロジェクタの取り付け方法によって投影モードを選択できます。

- リアプロジェクションシー壁掛け (ウォールマウント) — プロジェクタは画像を反転表示し、上下逆にします。壁掛けで透過スクリーンの裏面から投影できます (正規の投影)。
- フロントプロジェクションシー壁掛け (ウォールマウント) — 壁掛けで投影する場合に、プロジェクタが画像を上下逆にします。

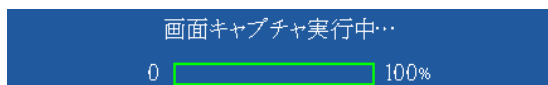
クローズドキャプション オプションを選択してクローズドキャプションを有効にし、クローズドキャプションメニューを起動します。適切なクローズドキャプションオプションの選択：CC1、CC2、CC3、CC4を選択します。



メモ：

- 1 クローズドキャプションのオプションは、NTSC でのみ使用できます。
- 2 クローズドキャプションは、コンポジットビデオ入力を通してのみ有効にすることができます。

スクリーンキャプチャ デフォルトは壁紙としての Dell ロゴです。スクリーンキャプチャオプションを選択してスクリーンディスプレイをキャプチャすることもできます。次のメッセージがスクリーンに表示されます。

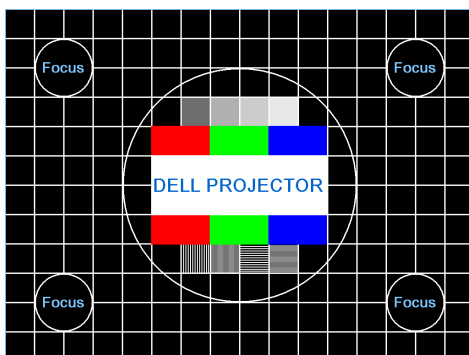


メモ：フル画像にするには、プロジェクタに接続している入力信号が 1280 x 800 解像度であることを確認します。

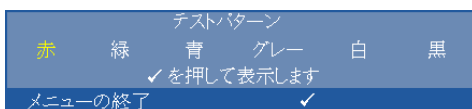
テストパターン テストパターンは、フォーカスと解像度をテストするために使用されます。

オフ、1、または 2 を選択してテストパターンの有効 / 無効を切り替えることができます。

テストパターン 1:



テストパターン 2:



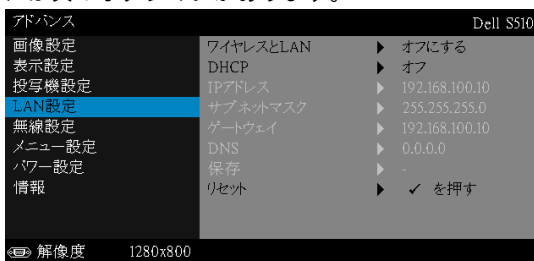
ミニ USB 機能 – 対話型ペンまたはリモート Pg Ctrl を選択します。

出荷時にリセット – 確認を選択して を押すと、すべての設定が工場出荷時デフォルト値にリセットされます。以下の警告メッセージが表示されます。

出荷時にリセットしています

コンピュータソースやビデオソース設定もリセットされます。

LAN 設定 – を選択して押して、LAN 設定を起動します。LAN 設定メニューには次のオプションがあります。



ワイヤレスと LAN—有効を選択すると、ワイヤレスと LAN 機能が起動します。**オフにする**を選択すると、ワイヤレスと LAN 機能が無効になります。

DHCP—プロジェクトが接続されるネットワークに DHCP サーバーが存在する場合、IP アドレスは DHCP オンを選択するとき自動的に取得されます。DHCP がオフの場合、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを手動で設定します。とを使用して IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの番号を選択します。エンターを入力して各番号を確認し、とを使用して次の項目を設定します。

IP アドレス—IP アドレスをネットワークに接続されたプロジェクトに自動または手動で割り当てます。

サブネットマスク—ネットワーク接続のサブネットマスクを設定します。

ゲートウェイ—ゲートウェイを手動で設定する場合、ゲートウェイアドレスをネットワーク / システム管理者でチェックします。

DNS—DNS を手動で設定する場合、DNS サーバー IP アドレスをネットワーク / システム管理者でチェックします。

保存—を押して、ネットワーク設定で行った変更を保存します。

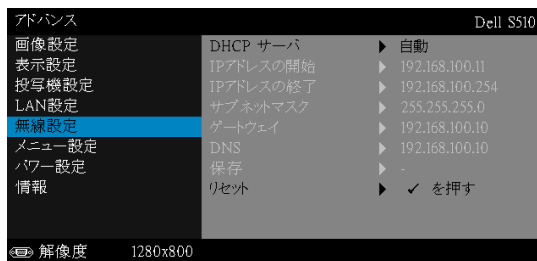


メモ:

- とボタンを使って IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS、保存を選択します。
- ボタンを押して IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイまたは DNS を入力し、値を設定します。(選択したオプションは青色でハイライトされます)
 - とボタンを使ってオプションを選択します。
 - とボタンを使って値を設定します。
 - セットアップが完了したら、ボタンを押して終了します。
- IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS をセットアップした後、**保存**を選択しボタンを押して設定を保存します。
- 入力ボタンを押さずに**保存**を選択すると、元の設定が維持されます。

リセット—を押して、ネットワーク設定をリセットします。

無線設定 を選択して押し、ワイヤレス設定を起動します。ワイヤレス設定メニューには次のオプションがあります。



DHCP サーバ—ワイヤレスの DHCP サーバを有効にすることができます。

IP アドレスの開始—DHCP サーバの開始 IP アドレスをワイヤレスに接続されたプロジェクタに自動または手動で割り当てることができます。

IP アドレスの終了—DHCP サーバの終了 IP アドレスをワイヤレスに接続されたプロジェクタに自動または手動で割り当てることができます。

サブネットマスク—ワイヤレス接続のサブネットマスクを設定します。

ゲートウェイ—ゲートウェイを手動で設定する場合、ゲートウェイアドレスをネットワーク / システム管理者でチェックします。


DNS—DNS を手動で設定する場合、DNS サーバ IP アドレスをネットワーク / システム管理者でチェックします。


保存 を押して、ワイヤレス設定で行った変更を保存します。

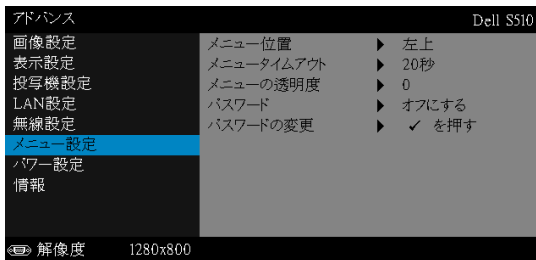
メモ:

- と ボタンを使って IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS、保存を選択します。
- ボタンを押して IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイまたは DNS を入力し、値を設定します。(選択したオプションは青色でハイライトされます)
 - と ボタンを使ってオプションを選択します。
 - と ボタンを使って値を設定します。
 - セットアップが完了したら、 ボタンを押して終了します。
- IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS をセットアップした後、**保存**を選択し ボタンを押して設定を保存します。

- 4 **入力ボタン**を押さずに**保存**を選択すると、元の設定が維持されます。

リセット  を押して、ワイヤレス設定をリセットします。

メニュー設定  を選択して押して、メニュー設定を起動します。メニュー設定は、次のオプションで構成されます。




メニュー位置 —OSD メニューの画面上の位置を変更します。

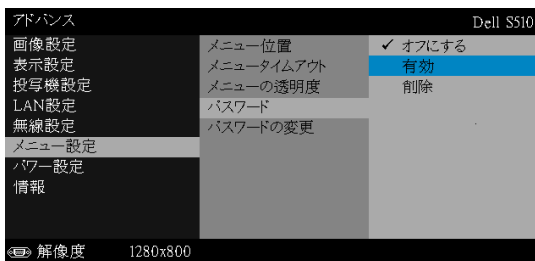
メニュータイムアウト —OSD タイムアウトの遅延時間を調整します。初期設定では、20 秒操作しないと OSD は非表示になります。


メニューの透明度 —OSD 背景の透明度レベルを変更します。

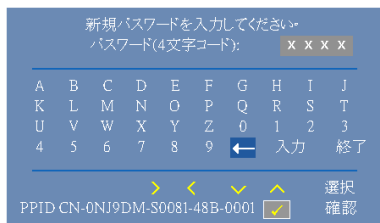
パスワード —パスワード保護が有効になっている場合は、電源プラグをコンセントに挿入し、プロジェクタの電源が初めて入ると、パスワードの入力を求めるパスワード保護画面が表示されます。初期設定ではこの機能は無効です。**有効**を選択することで、この機能を有効にできます。パスワードを前に設定している場合、まずパスワードを入力してから機能を選択します。このパスワードセキュリティ機能は、次回プロジェクタをオンにすると起動します。この機能を有効にすると、プロジェクタの電源を入れるとパスワードの入力が求められます。


1 初回パスワード入力の要請。

- a **メニュー設定**に移動し、 を押したら**パスワード**を選択しパスワード設定を有効化します。



- b パスワード機能を有効にすると、変更スクリーンがポップアップ表示されます。スクリーンから4桁の数字を入力し、を押します。



- c 確認のため、パスワードをもう一度入力します。
- d パスワードが認証されると、プロジェクタの機能とユーティリティにアクセスできます。
- 2 間違ったパスワードを入力した場合、あと2回以内に正しいパスワードを入力する必要があります。3回無効なパスワードを入力すると、プロジェクタは自動的にオフになります。
-  **メモ**：パスワードを忘れた場合は、DELL または正規サービス技術者までご連絡ください。
- 3 パスワード機能を無効にするには、**オフにする**を選択して機能を閉じます。
- 4 パスワードを削除するには、**削除オプション**を選択します。

パスワードの変更 元のパスワードを入力します。次に、新しいパスワードを入力し、新しいパスワードを再び確認します。

元のパスワードを入力してください
パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

PPID-CN-0NJ9DM-S0081-48B-0001 選択 確認

新規パスワードを入力してください
パスワード(4文字コード):

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

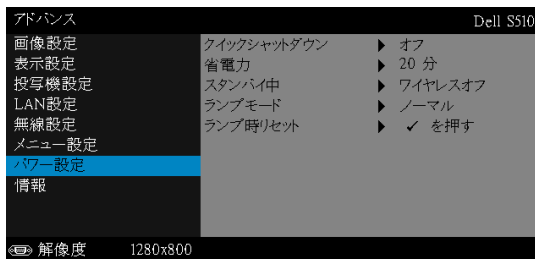
PPID-CN-0NJ9DM-S0081-48B-0001 選択 確認

新しいパスワードを再入力してください
パスワード(4文字コード):


A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

PPID-CN-0NJ9DM-S0081-48B-0001 選択 確認

パワー設定 を選択して押して、電源設定を起動します。電源設定メニューには次のオプションがあります。



クイックシャットダウン オンを選択し、電源ボタンを一回押してプロジェクトの電源を切ります。この機能で、ファンの速度を上げてプロジェクトの電源を素早く切ります。クイック電源オフの際には、幾分大きいノイズがあります。

 **メモ**：プロジェクトの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで 60 秒待ちます。直ちに電源をオンにしようとすると、電源がオンになるまでより時間がかかります。その冷却ファンは約 30 秒間全速力で作動し、内部温度を安定します。

省電力 デフォルトで、プロジェクトは 20 分間動作しないと省電力モードに入ります。画面に、60 秒間のカウントダウンの後、省電力モードに切り替わるという警告メッセージが表示されます。カウントダウンの間にどれかのボタンを押すと、省電力モードは停止します。

省電力モードに入る遅延時間は、他にも設定できます。遅延時間は、入力信号がない状態でプロジェクトが待機する時間です。

遅延時間の間に入力信号が検出されると、プロジェクトはオフになります。プロジェクトの電源を入れるには電源ボタンを押します。

スタンバイ中 プロジェクトがスタンバイ状態のときに（デフォルトはワイヤレスオフ）、ワイヤレスオンまたはオフを選択して、ワイヤレス / LAN モデルをオン / オフに設定します。

ランプモード ノーマル、エコ、動的、または極端な減光モードを選択できます。

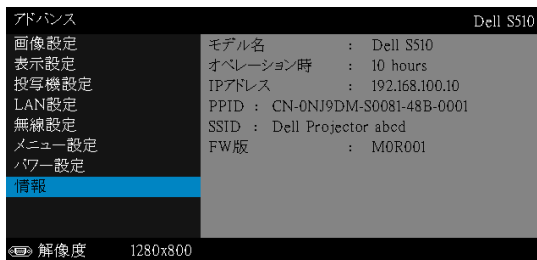
ノーマルモードは、全出力レベルで作動します。エコモードは低電力レベルで作動するため、ランプの寿命が延び、操作が静かになり、また、画面上のルミネンス出力が弱くなります。

動的 を選択して押して、ダイナミック機能を有効にします。

極端な減光 を選択して押して、エクストリーム調光を有効にします。

ランプ時リセット を押して確認オプションを選択し、ランプ時間をリセットします。

情報 一情報メニューには、現在の S510 プロジェクタ設定が表示されます。



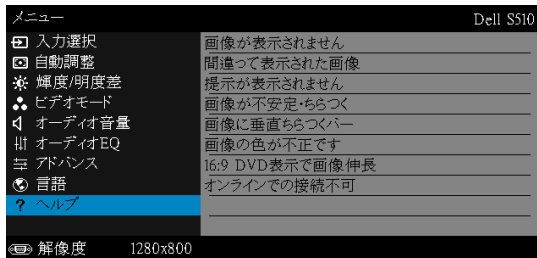
言語

OSD 用の言語を設定します。 を押して言語メニューを起動します。



ヘルプ

プロジェクタに問題が発生した場合、ヘルプメニューにアクセスしてトラブルシューティングを行うことができます。



マルチメディア入門

サポートされるマルチメディアフォーマット。

写真形式

画像タイプ (拡張子名)	サブタイプ	エンコード タイプ	最大ピクセル
GIF			8000 x 8000
PNG			8000 x 8000
BMP			8000 x 8000
JPEG/JPG	ベースライン	YUV420	8000 x 8000
		YUV422	
		YUV440	
		YUV444	
	プログレッシブ	YUV420	8000 x 8000
		YUV422	
		YUV440	
		YUV444	


ビデオ形式

ファイル 形式	最大解像度	最大ビット レート (bps)	最大表示	オーディオ 形式
Motion JPEG	1920 x 1080、 30fps	20 Mbps	1080p、60 Hz	LPCM
AVI	1920 x 1080、 30fps	20 Mbps	1080p、60 Hz	MPEG-1 Layer 3
MPEG-4	1920 x 1080、 30fps	20 Mbps	1080p、60 Hz	
MOV	1920 x 1080、 30fps	20 Mbps	1080p、60 Hz	
ASF	1920 x 1080、 30fps	20 Mbps	1080p、60 Hz	
MKV	1920 x 1080、 30fps	20 Mbps	1080p、60 Hz	
WMV	1920 x 1080、 30fps	20 Mbps	1080p、60 Hz	WMA

音楽フォーマット

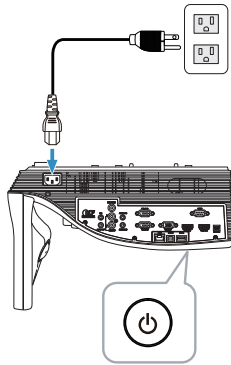
音楽タイプ (拡張子名)	最大サンプルレート (KHz)	最大ビットレート (Kbps)
LPCM	48 KHz	320 Kbps
MPEG-1 Layer 3	48 KHz	320 Kbps
WMA	48 KHz	320 Kbps
WAV	48 KHz	320 Kbps
OGG	48 KHz	320 Kbps

USB を使ってマルチメディアにファイルタイプをセットアップする方法

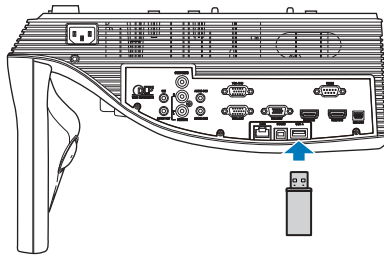
 **メモ:** マルチメディア USB 機能を使用する場合、プロジェクトタに USB フラッシュディスクをつなぐ必要があります。

以下のステップに従って、プロジェクトタで写真、ビデオ、または音楽ファイルを再生します。

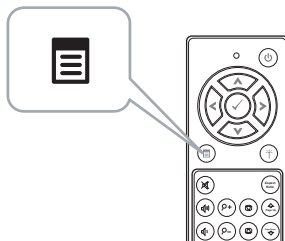
- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押してプロジェクトタの電源をオンにします。



- 2 USB フラッシュディスクをプロジェクトタに差し込みます。



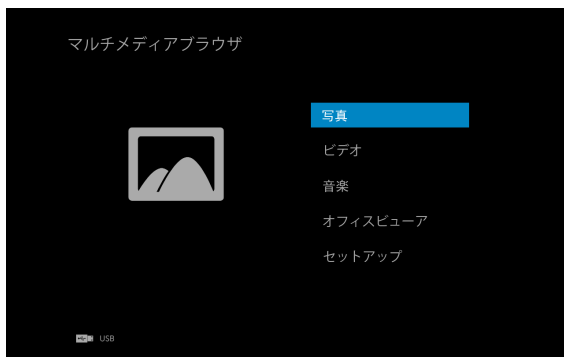
- 3 リモコンのメニューボタンを押します。




- 4 入力選択メニューにアクセスし、USB を選択し、サブメニューで USB ビューアを引き続き選択します。



USB 画面が次のように表示されます。

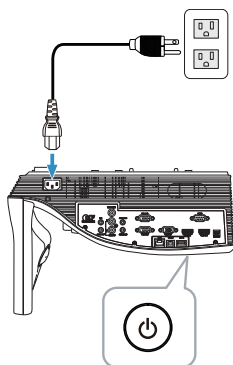


- 5 マルチメディアファイルを選択し、マルチメディアファイル(写真、ビデオ、音楽またはオフィスビューア)を選択し、 を押して再生を開始します。または、セットアップオプションを選択して、マルチメディア設定を変更します。ページ 63 の「マルチメディアのセットアップ」を参照してください。

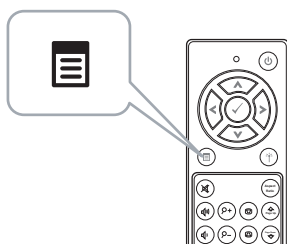
内部メモリを使ってマルチメディアにファイルタイプをセットアップする方法

以下のステップに従って、プロジェクタで写真、ビデオ、または音楽ファイルを再生します。

- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオンにします。



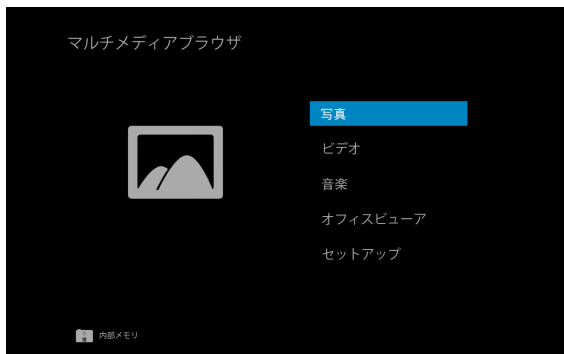
- 2 リモコンのメニューボタンを押します。



- 3 入力選択メニューにアクセスし、内部メモリソースを選択します。



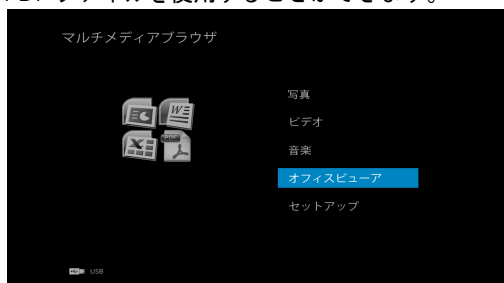
内部メモリ画面が次のように表示されます。




- 4 マルチメディアファイルを選択し、マルチメディアファイル(写真、ビデオ、音楽またはオフィスビューア)を選択し、 を押して再生を開始します。または、セットアップオプションを選択して、マルチメディア設定を変更します。ページ 63 の「マルチメディアのセットアップ」を参照してください。







USB および内部メモリ用オフィスビューア

オフィスビューア機能により、MS Excel、MS Word、MS PowerPoint および PDF ファイルを使用することができます。



ボタンの概要

上、下、左、右ボタンを使ってナビゲートし、リモコンの  ボタンを使って選択します。

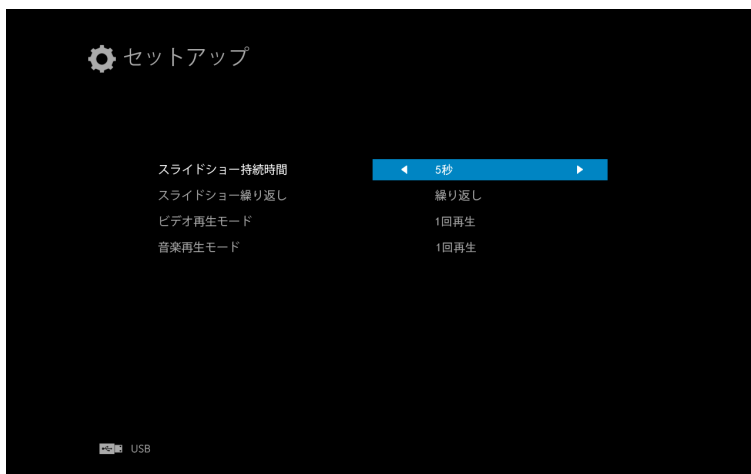
ボタン	上 	下 	左 	右 	入力 	メニュー 
	機能なし	機能なし	前のページ	次のページ	機能なし	前メニューに戻る

USB および内部メモリへのマルチメディアのセットアップ

マルチメディアセットアップメニューでは、写真、ビデオおよび音楽の設定を変更します。



メモ: USB および内部メモリでマルチメディアセットアップメニューおよび設定は共通です。



スライドショー持続時間 ← または → を押してスライドショー表示間隔を選択します。タイムアウトになった後、画像は自動的に次の画像に切り替わります。オプション：5 秒、10 秒、30 秒、と 1 分。

スライドショー繰り返し ← または → を押して、繰り返しまたは繰り返しなしでスライドショーのリポートを選択します。

ビデオ再生モード ← または → を押してムービー再生モードを選択します。オプション：1 回再生、アイテムの繰り返し、フォルダの繰り返し、とシャッフル。

音楽再生モード ← または → を押してムービー再生モードを選択します。オプション：1 回再生、アイテムの繰り返し、フォルダの繰り返し、とシャッフル。

Intel® ワイヤレスディスプレイ (WiDi) を使用する



メモ: お使いのコンピュータが、以下の Intel® ワイヤレスディスプレイのシステム要件を満たしている必要があります。

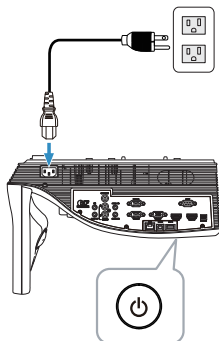
システムコンポーネント	要件
プロセッサ	以下のいずれかのプロセッサが必要となります。 第二世代 Intel® Core™ i3/i5/i7 モバイルプロセッサ 第三世代 Intel® Core™ i3/i5/i7 モバイルおよびデスクトッププロセッサ 第四世代 Intel® Core™ i3/i5/i7 モバイルおよびデスクトッププロセッサ Intel® Pentium® N3510 プロセッサ Intel® Celeron® N2805 プロセッサ Intel® Celeron® N2810 プロセッサ Intel® Celeron® N2910 プロセッサ Intel® Atom® Z3740 プロセッサ Intel® Atom® Z3740D プロセッサ Intel® Atom® Z3770 プロセッサ Intel® Atom® Z3770D プロセッサ
グラフィック	以下のいずれかのグラフィックソリューションが必要です。 Intel® Iris™ グラフィック 5200 Intel® Iris™ グラフィック 5100 Intel® HD グラフィック 5000 Intel® HD グラフィック 4600 Intel® HD グラフィック 4400 Intel® HD グラフィック 4200 Intel® HD グラフィック 40006 Intel® HD グラフィック 3000 (モバイル) Intel® HD グラフィック 2500 Intel® HD グラフィック 2000 (モバイル)

ワイヤレス	<p>以下のいずれかのワイヤレスアダプターが必要です。</p> <p>Intel® Centrino® Wireless-N 1000、1030、2200、または 2230</p> <p>Intel® Centrino® Wireless-N 2200（デスクトップ用）</p> <p>Intel® Centrino® Advanced-N 6200、6205、6230、または 6235</p> <p>Intel® Centrino® Advanced-N 6205（デスクトップ用）</p> <p>Intel® Centrino® Wireless-N + WiMAX 6150</p> <p>Intel® Centrino® Advanced-N + WiMAX 6250</p> <p>Intel® Centrino® Ultimate-N 6300</p> <p>Intel® Dual Band Wireless-N 7260</p> <p>Intel® Dual Band Wireless-AC 7260</p> <p>Intel® Dual Band Wireless-AC 7260（デスクトップ用）</p> <p>Intel® Dual Band Wireless-AC 3160</p> <p>Intel® Wireless-N 7260</p> <p>Broadcom BCM43228</p> <p>Broadcom BCM43241</p> <p>Broadcom BCM4352</p>
ソフトウェア	<p>Intel® マイ Wi-Fi テクノロジー（Intel® MWT）および Intel® ワイヤレスディスプレイを事前にインストールし、有効化しておく必要があります。</p>
オペレーティングシステム	<p>以下のいずれかのオペレーティングシステムが必要です。</p> <p>Microsoft Windows 7</p> <p>Microsoft Windows 8</p> <p>Microsoft Windows 8.1</p>

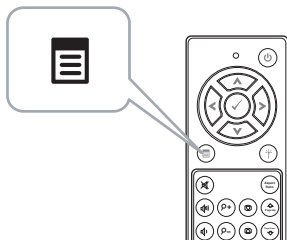
最新の情報は、Intel® WiDi Web サイト www.intel.com/go/widi をご参照ください

プロジェクター上で Intel® WiDi を有効にする

- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押します。

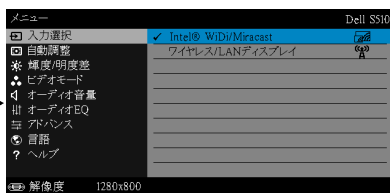


- 2 リモコンのメニューボタンを押します。

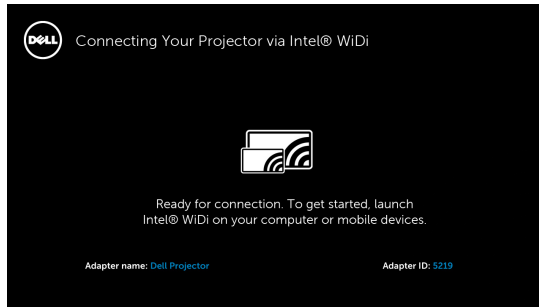


メモ: ◀、✔、◁、▷ ボタンを使用して ✔ をナビゲートし選択します。

- 3 入力選択メニューにアクセスし、ワイヤレス/LAN を選択し、サブメニューで Intel® WIDI/Miracast を引き続き選択します。



Intel® WiDi ガイドスクリーンが、次のように表示されます。



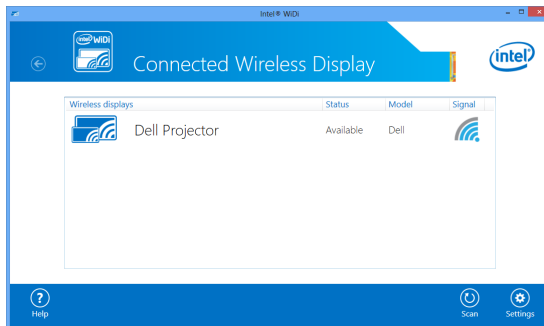
- 4 アダプタ名および PIN コードをメモします。後でログインするためにこれらの情報が必要となります。

Intel® WiDi を Microsoft Windows 7 および Windows 8 で使用する

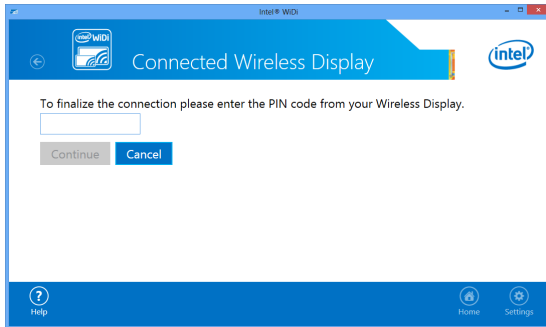


メモ：最高のエクスペリエンスのため、
<http://www.intel.com/go/wirelessdisplayupdate> から最新の Intel® WiDi ソフトウェアを取得します。

- 1 Windows 検索バーに WiDi と入力します。ご使用のコンピューターに Intel® WiDi が内蔵されている場合、検索結果に「Intel® WiDi」アプリケーションが表示されます。
- 2 ご使用のコンピューターを Dell プロジェクターに接続します。

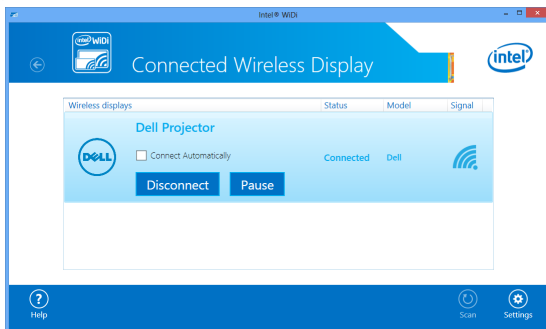


- 3 ペアリング確認のため、「プロジェクターで Intel® WiDi を有効にする」のステップ 4 で提供されたセキュリティコードを入力します。

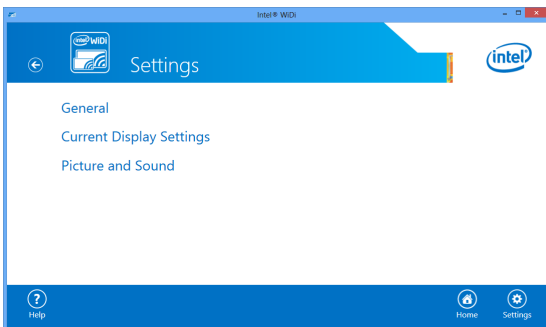


Intel® WiDi アダプターの名前変更

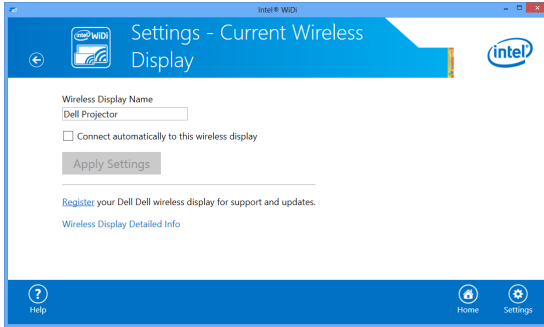
- 1 「Settings (設定)」を選択します。



- 2 「Current Display Settings (現在の表示設定)」を選択します。



- 3 アダプターに対して説明的な新名称を入力します。



Intel® WiDi を Microsoft Windows 8.1 で使用する

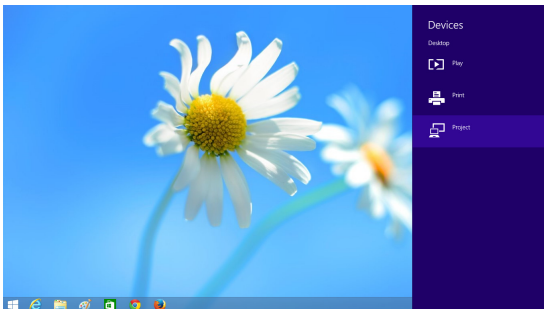


メモ : Windows 8.1 では Intel® WiDi 機能とはアクセス方法が異なり、Intel® WiDi ソフトウェアは必要ありません。

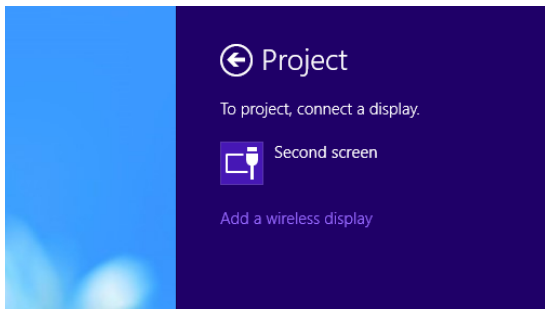
- 1 Devices (デバイス) チャームを表示させます。



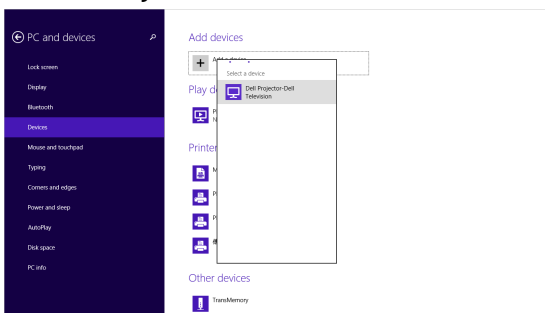
- 2 「Project (表示)」を選択します。



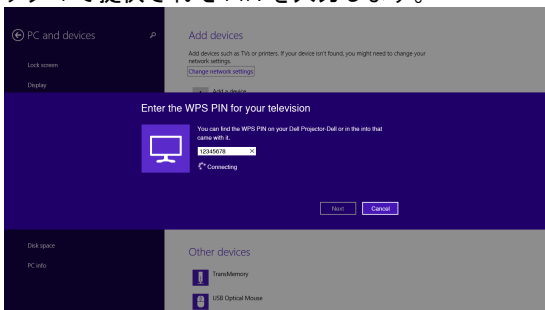
- 3 「Add a wireless display (ワイヤレス表示を追加)」を選択します。



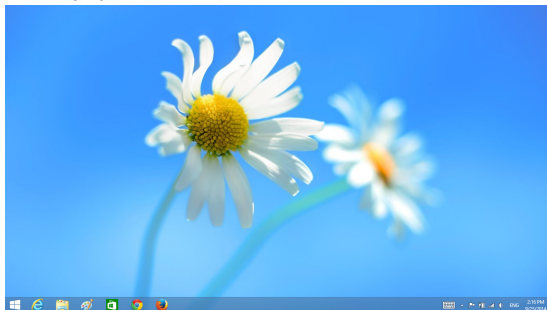
- 4 検知された Dell Projector (Dell プロジェクター) を選択します。



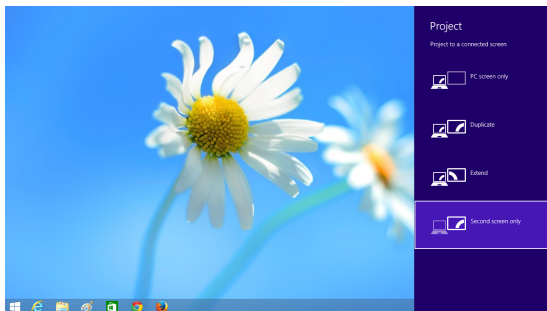
- 5 ペアリング確認のため、「プロジェクターで Intel® WiDi を有効にする」のステップ 4 で提供された PIN を入力します。



- 6 スクリーンが投影されます。



- 7 投影モードを調整または切断するには、Devices (デバイス) チャームを表示し、「Project (表示)」を選択します。または、ショートカット「Win + P」を使用して直接切り替えます。



ワイヤレスディスプレイまたは LAN ディスプレイの設置



メモ: コンピュータには以下の最低システム要件を満たしている必要があります。

オペレーティングシステム:

- Windows

Microsoft Windows XP Home または Professional Service pack 2 (32 ビットを推奨)、Windows Vista 32 ビット、および Windows 7 Home または Professional (32 ビットまたは 64 ビット)、Windows 8 (32 ビットまたは 64 ビット)

- Mac

MacBook 以上、MacOS 10.5 以上

最低ハードウェア:

a Intel Dual Core 1.4 MHz 以上

b 256 MB の RAM (必須)、512 MB 以上を推奨

c 10 MB の空きハードディスク容量

d 64 MB VRAM 以上を搭載した nVIDIA または ATI グラフィックカード

e イーサネット接続用のイーサネットアダプタ (10 / 100 bps)

f WLAN 接続用にサポートされる WLAN アダプタ (任意の NDIS 準拠 802.11b または 802.11g または 802.11n Wi-Fi デバイス)

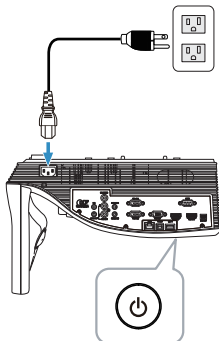
Web ブラウザ

Microsoft Internet Explorer 6.0 または 7.0 (推奨) あるいは 8.0、Firefox 2.0、Safari 3.0 およびそれ以降

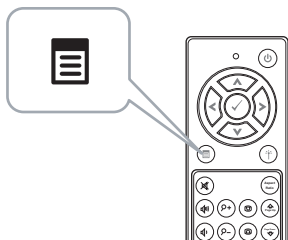
Windows オペレーティングシステム設定の場合







プロジェクタのワイヤレスまたは LAN を有効にする

- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押します。

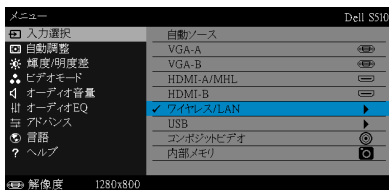


- 2 リモコンのメニューボタンを押します。

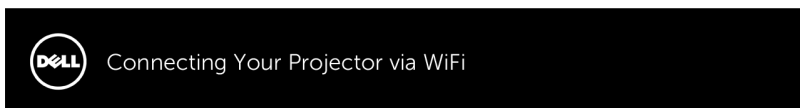


-  **メモ:** 、、、 ボタンを使用して  をナビゲートし選択します。

- 3 入力選択メニューにアクセスし、ワイヤレス /LAN を選択し、サブメニューでワイヤレス /LAN ディスプレイを引き続き選択します。



ワイヤレスガイド画面が以下に表示されます：



For First-time Connection



1. Connect your computer to the projector's wireless network (SSID):

Dell Projector abcd

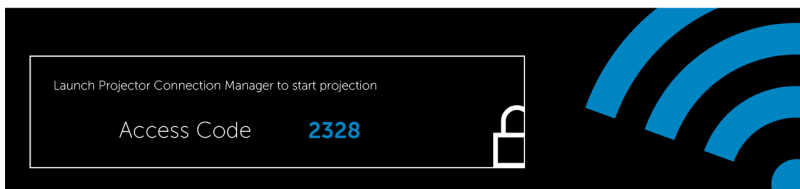


2. Open web browser and enter the IP Address into your browser's address bar:

192.168.100.10



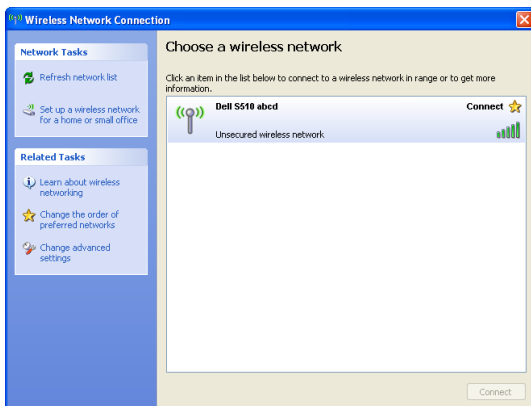
3. Click on 'Download' and run the installation program



- 4 ワイヤレスネットワーク (SSID)、IP アドレス、およびアクセスコードをメモします。後でログインする際に、この情報が必要となります。ワイヤレスディスプレイ設定の場合は、ステップ 5 に進みます。LAN ディスプレイ設定の場合は、ステップ 11 に進みます。

お使いのコンピュータ上に Dell プロジェクタ接続マネージャをワイヤレスでインストールする

- 5 コンピュータを Dell S510 abcd ワイヤレスネットワークに接続します。



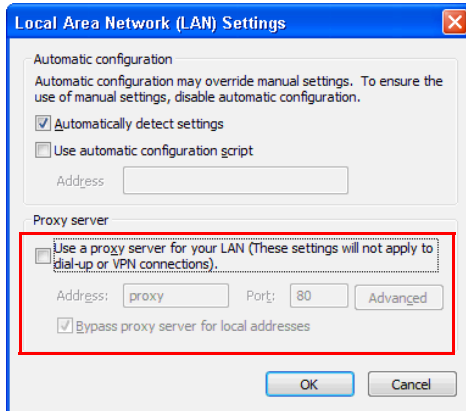


メモ :

- コンピュータには、接続を検出するためのワイヤレスネットワーク機能が搭載されている必要があります。
- Dell S510 abcd ワイヤレスネットワークに接続すると、他のワイヤレスネットワークとワイヤレス接続を失います。



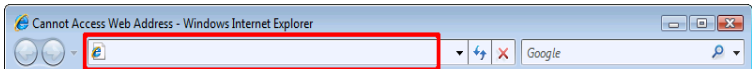
メモ : すべてのプロキシをオフにするのを忘れないでください。
(Microsoft® Windows Vista : コントロールパネル → インターネットオプション → 接続 → LAN 設定をクリックします)



- 6** インターネットブラウザを開きます。S510 Web 管理 Web ページに自動的にジャンプします。



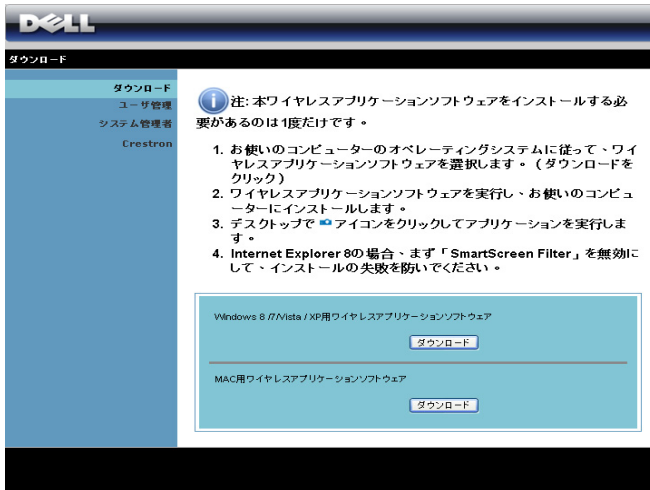
メモ : Web ページが自動的に読み込まれない場合、ブラウザのアドレスバーにプロジェクトの画面からメモした IP アドレスを入力してください (デフォルト IP アドレスは 192.168.100.10)。



- 7 S510 Web 管理ページが開きます。初めて使用する場合、ダウンロードをクリックします。



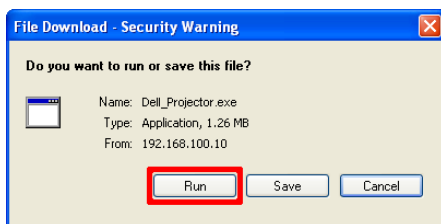
- 8 適切なオペレーティングシステムを選択し、ダウンロードをクリックします。



- 9 **実行** をクリックして、ソフトウェアの1回限りのインストールに進みます。



メモ：ファイルを保存した後でインストールを選択することができます。これを実行するには、**保存** をクリックします。



メモ：オーディオ投影機能は、Windows XP の場合のみ、追加ドライバのインストールが必要です。お使いのコンピュータにドライバがインストールされていない場合は、あなたに必要なドライバをインストールするように促すポップアップメッセージが表示されます。デルサポートサイト (dell.com/support) から「オーディオ投影ドライバ」をダウンロードできます。




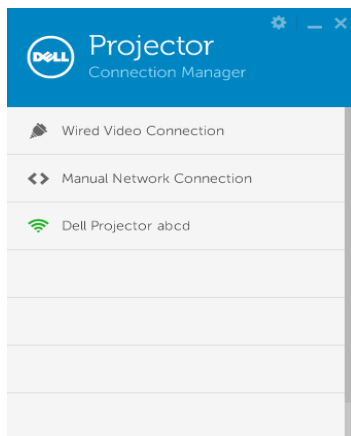
メモ：コンピュータの不適切な権利のために、アプリケーションをインストールできない場合、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 10 インストールソフトウェアが起動します。画面の指示に従って、セットアップを完了します。



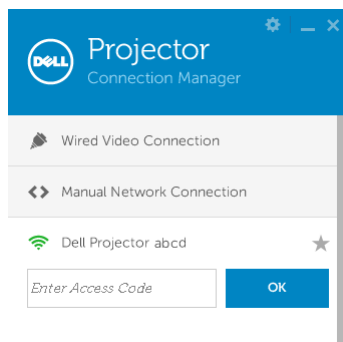
Dell プロジェクタ接続マネージャを起動します

インストールが完了すると、プログラムが自動的に起動し、検索します。プログラムが自動的に起動しない場合は、デスクトップ上の  アイコンをダブルクリックして、アプリケーションを起動することができます。



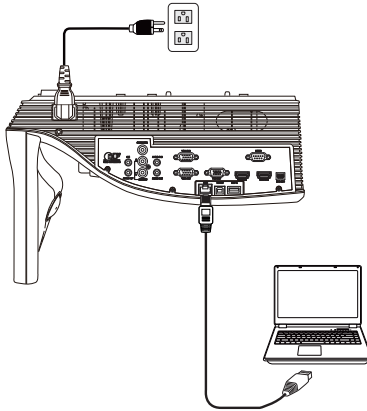
ログイン

ステップ 4 のワイヤレスディスプレイまたは LAN ディスプレイの設置で提供されたアクセスコードを使ってログインし、OK をクリックします。




お使いのコンピュータ上に Dell プロジェクタ接続マネージャを LAN でインストールする

- 11** インストールソフトウェアが起動します。画面の指示に従って、セットアップを完了します。

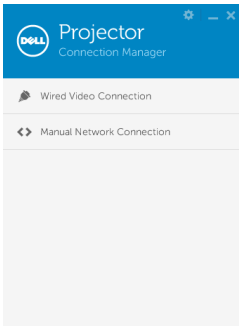


- 12** Dell プロジェクタ接続マネージャをインストールするには、ステップ 6～10 を繰り返します。

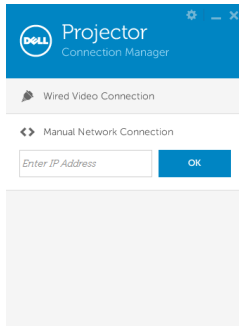
Dell プロジェクタ接続マネージャを起動・ログインする

インストールが完了すると、プログラムが自動的に起動し、検索します。プログラムが自動的に起動しない場合は、デスクトップ上の  アイコンをダブルクリックして、アプリケーションを起動することができます。

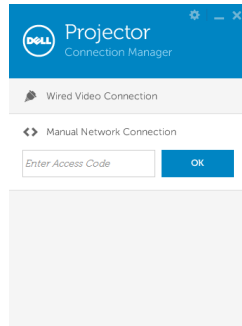
- a 「**手動ネットワーク接続**」(図 1) をクリックします。
- b **IP アドレス** (図 2、デフォルト IP アドレス : 192.168.100.10) を入力します。
- c **アクセスコード** (図 3) を入力します。



(図 1)



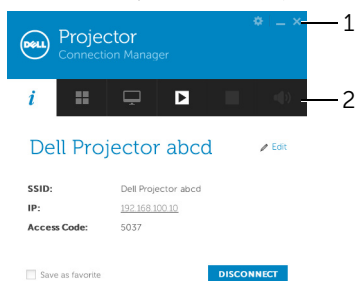
(図 2)













(図 3)

ボタンを理解する

ログインが成功すると、次の画面が表示されます。

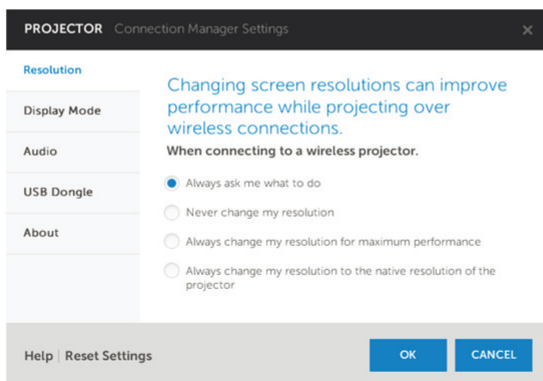


項目	説明
1 ステータスバー	
 設定	クリックして、アプリケーション設定を有効にします。
 最小化ボタン	このボタンをクリックするとアプリケーションが最小化されます。
 閉じるボタン	このボタンをクリックするとアプリケーションが閉じます。
2 コントロールツールバー	
 情報	クリックして、SSID、IP およびアクセスコード情報を表示します。
 共有モード	クリックして、共有モードを有効にします。
 ディスプレイモード	クリックして、ディスプレイモードを変更します。
 開始	クリックして投影を開始します。
 一時停止	このボタンをクリックすると投影が一時停止されます。
 停止	このボタンをクリックすると投影が停止されます。
 オーディオ	クリックして、オーディオ投影のオン / オフを切り替えます。

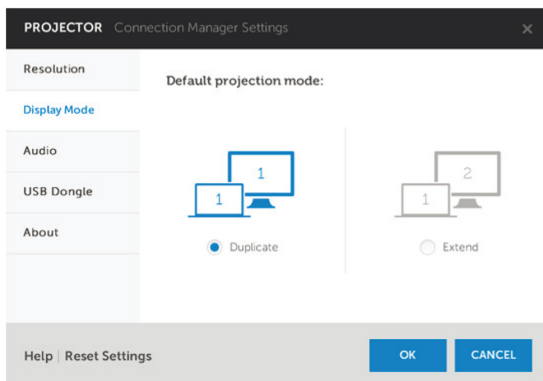
設定を使用する

⚙️ をクリックして設定メニューを表示します。

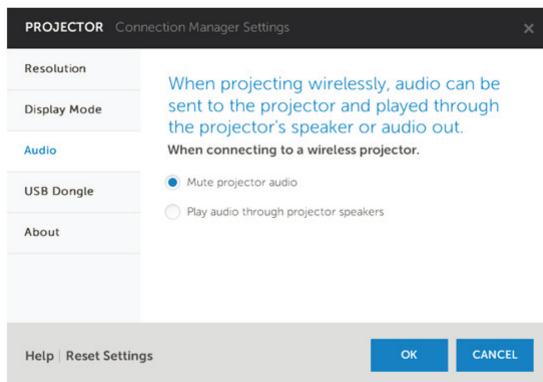
RESOLUTION (解像度)—解像度を設定します。



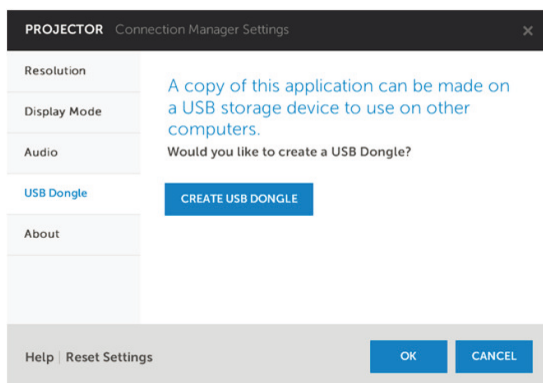
DISPLAY MODE (ディスプレイモード)—デフォルト投影モードを設定できます。



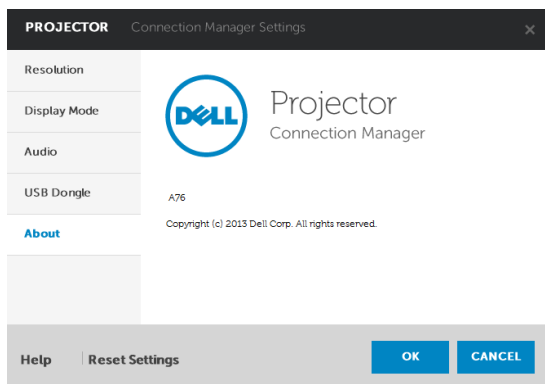
AUDIO (オーディオ)—オーディオ設定を変更できます。



USB DONGLE (USB ドングル)—USB ドングルを作成できます。ページ 133 の「アプリケーショントークンの作成」を参照してください。



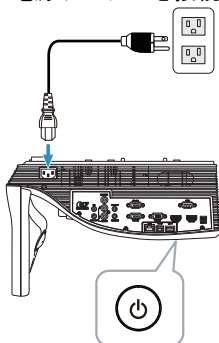
ABOUT (バージョン情報)—アプリケーションのバージョンを表示します。



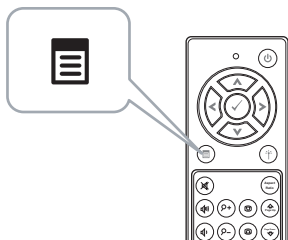
Mac オペレーティングシステム設定の場合







プロジェクタのワイヤレスまたは LAN を有効にする

- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押します。

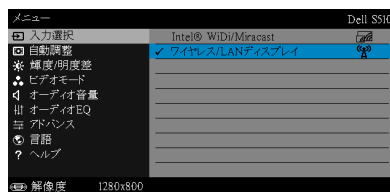
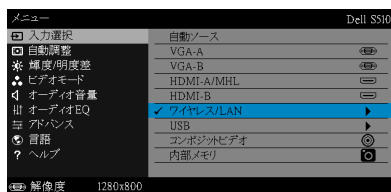


- 2 リモコンのメニューボタンを押します。

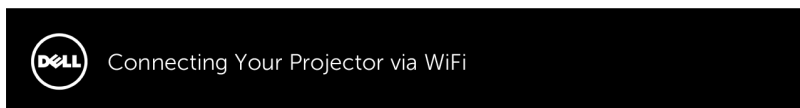


-  **メモ:** , , ,  ボタンを使用して  をナビゲートし選択します。

- 3 入力選択メニューにアクセスし、ワイヤレス /LAN を選択し、サブメニューでワイヤレス /LAN ディスプレイを引き続き選択します。



ワイヤレスガイド画面が以下に表示されます：



For First-time Connection



1. Connect your computer to the projector's wireless network (SSID):

Dell Projector abcd

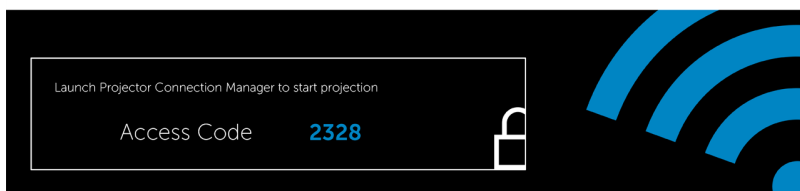


2. Open web browser and enter the IP Address into your browser's address bar:

192.168.100.10




3. Click on 'Download' and run the installation program



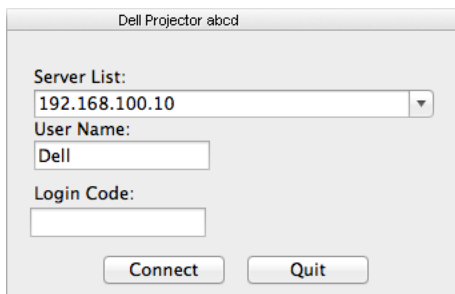
- 4 ワイヤレスネットワーク (SSID)、IP アドレス、およびアクセスコードをメモします。後でログインする際に、この情報が必要となります。ワイヤレスディスプレイ設定の場合は、**ステップ 5**に進みます。LAN ディスプレイ設定の場合は、**ステップ 11**に進みます。

お使いのコンピュータ上で Dell ワイヤレスアプリケーションソフトウェアをワイヤレスで起動する

- 5 コンピュータを Dell S510 abcd ワイヤレスネットワークに接続します。
 - 6 Safari ブラウザを開きます。**S510 Web 管理** Web ページに自動的にジャンプします。
-  **メモ**：Web ページが自動的に読み込まれない場合、ブラウザのアドレスバーにプロジェクタの画面からメモした IP アドレスを入力してください（デフォルト IP アドレスは 192.168.100.10）。
- 7 S510 Web 管理ページが開きます。初めて使用する場合、**ダウンロード**をクリックします。
 - 8 適切なオペレーティングシステムを選択し、**ダウンロード**をクリックします。
 - 9 ダウンロードしたフォルダで、**Dell_S510.dmg** を実行します。
 - 10 Dell S510 フォルダで、**Dell S510 ワイヤレスアプリケーション**を実行します。

ログイン

ワイヤレスディスプレイまたは LAN ディスプレイの設置のステップ 4 で提供されたアクセスコードを使ってログインし、「接続」をクリックします。



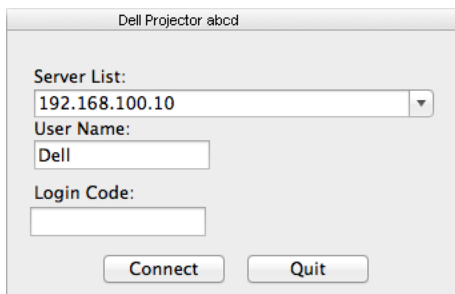
The screenshot shows a dialog box titled "Dell Projector abcd". It contains three input fields: "Server List:" with a dropdown menu showing "192.168.100.10", "User Name:" with a text box containing "Dell", and "Login Code:" with an empty text box. At the bottom, there are two buttons: "Connect" and "Quit".

お使いのコンピュータ上で Dell ワイヤレスアプリケーションソフトウェアを LAN で起動する

- 11 LAN ケーブルをプロジェクタとコンピュータに接続します。
- 12 Dell ワイヤレスアプリケーションを起動するには、ステップ 6～10 を繰り返します。

ログイン

ワイヤレスディスプレイまたは LAN ディスプレイの設置のステップ 4 で提供されたアクセスコードを使ってログインし、「接続」をクリックします。















The screenshot shows a dialog box titled "Dell Projector abcd". It contains three input fields: "Server List:" with a dropdown menu showing "192.168.100.10", "User Name:" with a text box containing "Dell", and "Login Code:" with an empty text box. At the bottom, there are two buttons: "Connect" and "Quit".






ボタンを理解する

ログインが成功すると、次の画面が表示されます。



	項目	説明
1	ステータスバー	IPとログインコード情報を表示します。
	 メニュー	このアイテムをクリックすると、アプリケーションメニューがアクティブになります。
	 最小化ボタン	このボタンをクリックするとアプリケーションが最小化されます。
	 閉じるボタン	このボタンをクリックするとアプリケーションが閉じます。
2	コントロールツールバー	
	 全画面	このアイテムをクリックすると、全画面で画像を投影します。
	 分割 1	このアイテムをクリックすると、画面左上の画像が投影されます。
	 分割 2	このアイテムをクリックすると、画面右上の画像が投影されます。
	 分割 3	このアイテムをクリックすると、画面左下の画像が投影されます。
	 分割 4	このアイテムをクリックすると、画面右下の画像が投影されます。
	 停止	このボタンをクリックすると投影が停止されます。
	 一時停止	このボタンをクリックすると投影が一時停止されます。
 オーディオ投影	このボタンをクリックするとオーディオ投影が有効になります。	
3	接続状態	
	 接続アイコン	投影が進行中の時に点滅します。


プレゼンテーションの投影

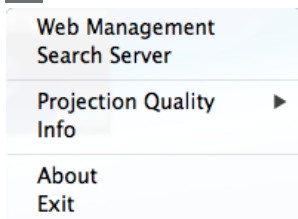
- プレゼンテーションを投影するには、投影ボタンのどれかをクリックします 。
- プレゼンテーションを一時停止するには、 をクリックします。アイコンが緑に変わります。
- プレゼンテーションを続行するには、 をクリックします。
- プレゼンテーションをオーディオ投影するには、 をクリックします。
- プレゼンテーションを停止するには、 をクリックします。



メモ：802.11g 接続を使用する WLAN 環境、画面の伸縮はありません。

メニューを使う

 をクリックしてメニューを表示します。



WEB 管理サービス —このボタンをクリックして Web 管理ページを開きます。ページ 106 の「IR ペンの双方向性インストール」をご覧ください。

検索サーバー —このボタンをクリックしてワイヤレスプロジェクタを検索し、接続します。

投影品質 —プロジェクターの品質を**不明瞭で高速**または**明瞭で低速**に設定できます。

情報 —このボタンをクリックすると、システム情報が表示されます。

バージョン情報 —このアイテムをクリックすると、アプリケーションバージョンが表示されます。

終了 —このボタンをクリックするとアプリケーションが閉じます。

オーディオ投影のインストール

オーディオ投影では、ワイヤレスディスプレイおよび LAN ディスプレイ入カソースのみをサポートしています。

システムの最小要件は次の通りです。

オペレーティングシステム：

- Windows

Microsoft Windows XP™ Home または Professional サービスパック 2/3 (32 ビット推奨)、Windows Vista 32 ビット、または、Windows® 7 Home または Professional 32 ビットまたは 64 ビット、Windows 8 32 ビットまたは 64 ビット

- Mac

MacBook Pro 以上、MacOS 10.5 以上

最低ハードウェア：

- a Intel® Core™ i5-460 MHz (2.53 GHz/Turbo 2.8 GHz) 以上
- b 1 GB DDR3 VRAM 独立グラフィックカード以上推奨
- c 1066 MHz で 2 GB デュアルチャンネル DDR3 SDRAM メモリ以上推奨
- d ギガビットイーサネット
- e WLAN 接続用に Integrated 802.11 a/b/g/n Wi-Fi デバイス



メモ：コンピュータがハードウェアの最小要件を満たしていない場合、オーディオ投影が遅くなったりノイズが生じる可能性があります。オーディオ投影のパフォーマンスを最適にするには、システムの推奨最小要件を満たしてください。



メモ：オーディオ投影機能は、Windows XP の場合のみ追加ドライバのインストールが必要です。お使いのコンピュータにドライバがインストールされていない場合は、あなたに必要なドライバをインストールするように促すポップアップメッセージが表示されます。デルサポートサイト (dell.com/support) から「オーディオ投影ドライバ」をダウンロードできます。



メモ：オーディオ投影機能は、Mac オペレーティングシステムの場合、追加ドライバのインストールが必要です。お使いの Mac コンピュータにドライバがインストールされていない場合は、あなたに必要なドライバをインストールするように促すポップアップメッセージが表示されます。「Soundflower」ドライバをいくつかの検索エンジンサイト (例、Yahoo、MSN...) からダウンロードすることができます。「Soundflower」ドライバは、無料アプリケーションです。



メモ：イーサネットを介する投影用のプロジェクタへの接続用ポート /
プロトコル：

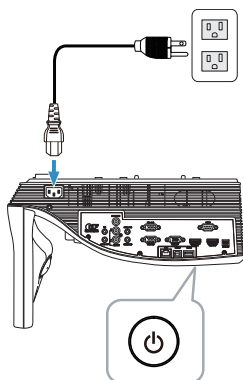
UDP: 1047, (バックアップ : 1048, 1049)

TCP: 3268, 515, 1688, 1041 (バックアップ : 389, 8080, 21)

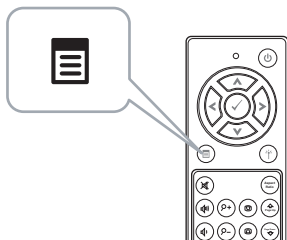
Windows オペレーティングシステム設定の場合

プロジェクタのワイヤレスまたは LAN を有効にする

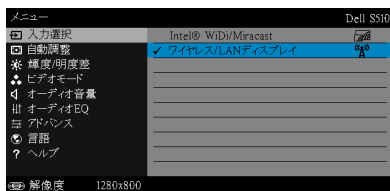
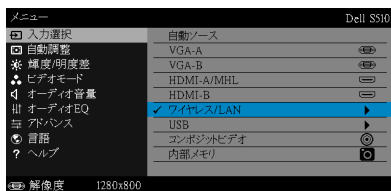
- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押します。



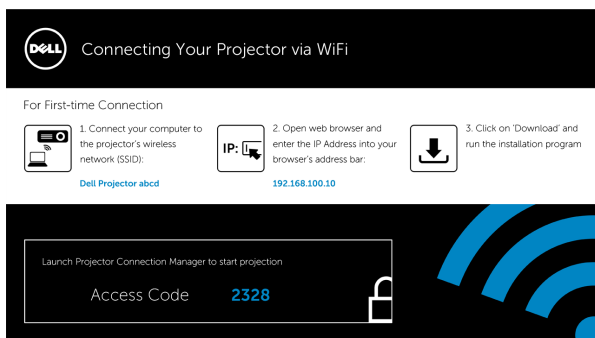
- 2 リモコンのメニューボタンを押します。



- 3 入力選択メニューにアクセスし、ワイヤレス /LAN を選択し、サブメニューでワイヤレス /LAN ディスプレイを引き続き選択します。



ワイヤレスガイド画面が以下に表示されます：



- 4 ワイヤレスネットワーク (SSID)、IP アドレスおよびアクセスコードをメモします。後でログインするためにこれらの情報が必要となります。ワイヤレスディスプレイ設定の場合は、ステップ 5 に進みます。LAN ディスプレイ設定の場合は、ステップ 7 に進みます。

お使いのコンピュータ上に Dell プロジェクタ接続マネージャをワイヤレスでインストールする


- 5 オーディオ投影のセットアップに無線または LAN を使用している場合、「Dell プロジェクタ接続マネージャ」が必要になります。初めてオーディオ投影を使用する際に、このソフトウェアをダウンロードおよびインストールします。すでにインストールされている場合は、ステップ 5～6 を省略してください。

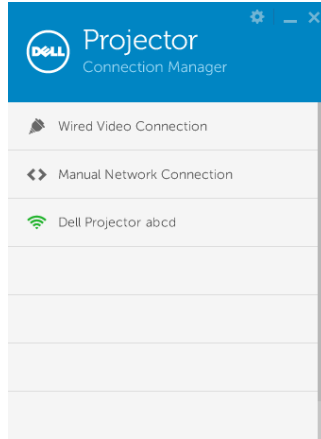


メモ：「デルプロジェクタ接続マネージャ」のインストールが必要なのは 1 回だけです。

- 6 Dell プロジェクタ接続マネージャのダウンロードおよびインストールステップについては、ページ 72 の「ワイヤレスディスプレイまたは LAN ディスプレイの設置」のステップ 6 から 10 を参照してください。

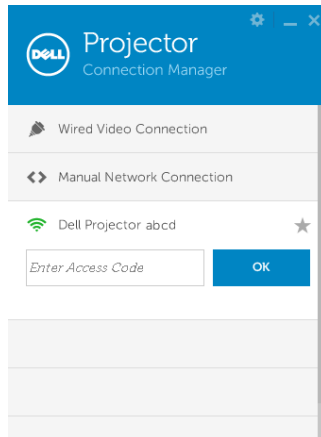
Dell プロジェクタ接続マネージャを起動します

インストールが完了すると、プログラムが自動的に起動し、検索します。プログラムが自動的に起動しない場合は、デスクトップ上の  アイコンをダブルクリックして、アプリケーションを起動することができます。



ログイン


オーディオ投影インストールのステップ 4 で提供されるアクセスコードでログインし、その後、OK をクリックします。



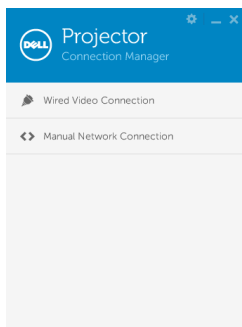
お使いのコンピュータ上に Dell プロジェクタ接続マネージャを LAN でインストールする

- LAN ケーブルをプロジェクタとコンピュータに接続します。
- Dell プロジェクタ接続マネージャをインストールするには、**ステップ 6**を参照してください。

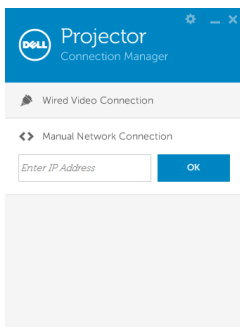
Dell プロジェクタ接続マネージャを起動します

インストールが完了すると、プログラムが自動的に起動し、検索します。プログラムが自動的に起動しない場合は、デスクトップ上の  アイコンをダブルクリックして、アプリケーションを起動することができます。

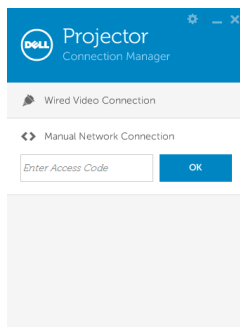
- 「**手動ネットワーク接続**」(図 1) をクリックします。
- IP アドレス** (図 2、デフォルト IP アドレス : 192.168.100.10) を入力します。
- アクセスコード** (図 3) を入力します。



(図 1)



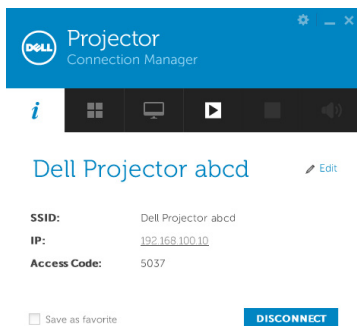
(図 2)



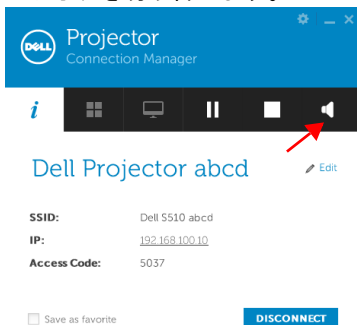
(図 3)

オーディオ投影の利用

- 9 現在、Dell プロジェクタ接続マネージャにログインしています。アプリケーションの「再生」ボタンを押して、LAN またはワイヤレス投影を開始します。



- 10 アプリケーションの「オーディオ投影」ボタンをクリックして、オーディオ投影のオン/オフを切り替えます。



メモ：オーディオ投影機能は、Windows XP の場合のみ、追加ドライバのインストールが必要です。お使いのコンピュータにドライバがインストールされていない場合は、あなたに必要なドライバをインストールするように促すポップアップメッセージが表示されます。デルサポートサイト (dell.com/support) から「オーディオ投影ドライバ」をダウンロードできます。

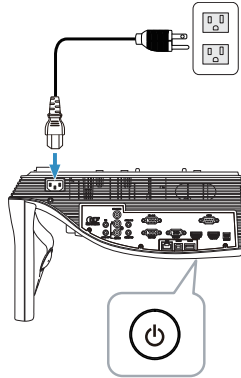
- 11 コンピュータで Windows Media Player またはその他のオーディオプレーヤーソフトウェア（例えば、Winamp プレーヤーなど）を実行します。



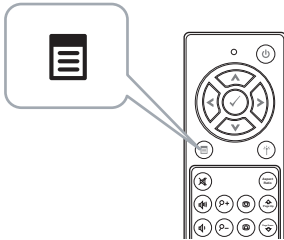
Mac オペレーティングシステム設定の場合

プロジェクタのワイヤレスまたは LAN を有効にする

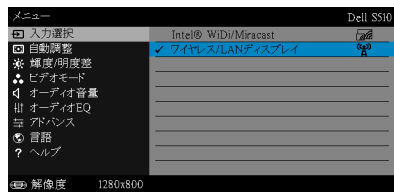
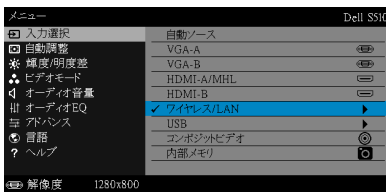
- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押します。



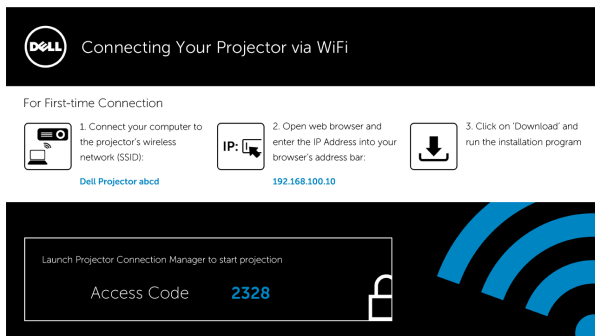
- 2 リモコンのメニューボタンを押します。



- 3 入力選択メニューにアクセスし、ワイヤレス /LAN を選択し、サブメニューでワイヤレス /LAN ディスプレイを引き続き選択します。




ワイヤレスガイド画面が以下に表示されます：



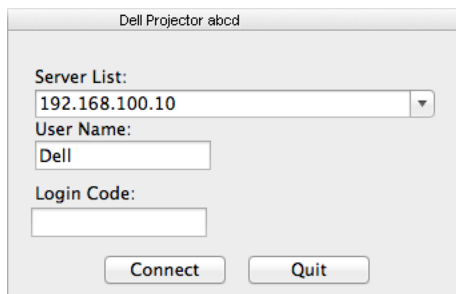
- 4 ワイヤレスネットワーク (SSID)、IP アドレス、およびアクセスコードをメモします。後でログインするためにこれらの情報が必要となります。ワイヤレスディスプレイ設定の場合は、**ステップ 5** に進みます。LAN ディスプレイ設定の場合は、**ステップ 14** に進みます。

お使いのコンピュータ上で Dell ワイヤレスアプリケーションソフトウェアをワイヤレスで起動する

- 5 コンピュータを Dell S510 abcd ワイヤレスネットワークに接続します。
 - 6 Safari ブラウザを開きます。**S510 Web 管理** Web ページに自動的にジャンプします。
-  **メモ**：Web ページが自動的に読み込まれない場合、ブラウザのアドレスバーにプロジェクタの画面からメモした IP アドレスを入力してください（デフォルト IP アドレスは 192.168.100.10）。
- 7 S510 Web 管理ページが開きます。初めて使用する場合、**ダウンロード** をクリックします。
 - 8 アプリケーションオペレーティングシステムを選択し、**ダウンロード** をクリックします。
 - 9 ダウンロードしたフォルダで、**Dell_S510.dmg** を実行します。
 - 10 Dell S510 フォルダで、**Dell S510 ワイヤレスアプリケーション** を実行します。

ログイン

オーディオ投影インストールのステップ4で提供されるアクセスコードでログインし、その後、「接続」をクリックします。




- 11 S510 ワイヤレスアプリケーションにログインできるようになりました。アプリケーションの「投影」ボタンを押して、ワイヤレスまたはLAN 投影を開始します。



- 12 アプリケーションの「オーディオ投影」ボタンをクリックして、オーディオ投影のオン / オフを切り替えます。



 **メモ**：オーディオ投影機能は、Mac オペレーティングシステムの場合、追加ドライバのインストールが必要です。お使いの Mac コンピュータにドライバがインストールされていない場合は、あなたに必要なドライバをインストールするように促すポップアップメッセージが表示されます。「Soundflower」ドライバをいくつかの検索エンジンサイト（例、Yahoo、MSN...）からダウンロードすることができます。「Soundflower」ドライバは、無料アプリケーションです。ページ 101 の「Soundflower ドライバのインストール」をご覧ください。

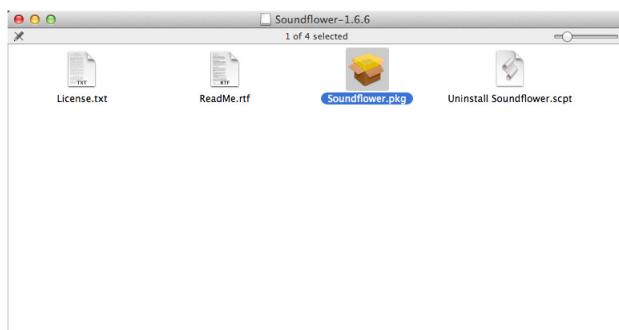
- 13 お使いのコンピュータでオーディオプレーヤーソフトウェアを実行します。

お使いのコンピュータ上で Dell ワイヤレスアプリケーションソフトウェアを LAN で起動する

- 14 LAN ケーブルをプロジェクトとコンピュータに接続します。
- 15 Dell ワイヤレスアプリケーションを起動し、ログインするには、ステップ 6～13 を繰り返します。

Soundflower ドライバのインストール

- 1 「Soundflower」ドライバをいくつかの検索エンジンサイト（例、Yahoo、MSN...）からダウンロードすることができます。「Soundflower」ドライバは、無料アプリケーションです。
- 2 ダウンロードしたフォルダで、「Soundflower.dmg」ファイルを実行します。
- 3 Soundflower フォルダで、「Soundflower.pkg」ファイルを実行します。



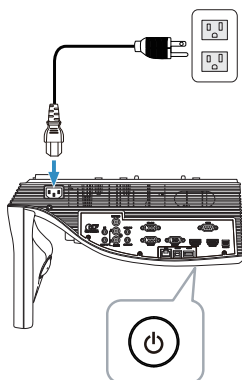
- 4 インストールソフトウェアが起動します。画面の指示に従って、セットアップを完了します。



USB ディスプレイ (DoUSB) のインストール

Windows オペレーティングシステムの場合

- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押します。



- 2 USB (タイプ A - B) ケーブルをプロジェクタおよびコンピュータに接続します。
- 3 USB ケーブル経由でプロジェクタとコンピュータを接続すると、USB 接続のメッセージが表示され、**DoUSB** または **ストレージメディア** を選択できます。「**DoUSB**」オプションを選択し、USB ディスプレイソースに切り替えます。

USB接続済み

USB経由でプロジェクタをコンピュータに接続済みです。

入力ソースとしてDoUSBを使ってコンピュータから
投影を開始する場合、「DoUSB」を選択します。

コンピュータとプロジェクタの内部メモリ間でファイルを
コピーする場合は、「ストレージメディア」を選択します。

DoUSB

ストレージメディア

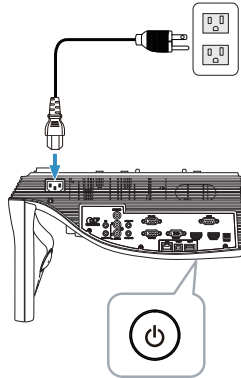
キャンセル



メモ : DoUSB が表示されない場合は、ページ 134 の「プロジェクタのトラブルシューティング」を参照してください。

Mac オペレーティングシステムの場合

- 1 電源ケーブルを接続し、電源ボタンを押します。



- 2 USB（タイプ A - B）ケーブルをプロジェクタおよびコンピュータに接続します。
- 3 USB ケーブル経由でプロジェクタとコンピュータを接続すると、USB 接続のメッセージが表示され、**DoUSB** または **ストレージメディア** を選択できます。「**DoUSB**」オプションを選択し、USB ディスプレイソースに切り替えます。

USB接続済み

USB経由でプロジェクタをコンピュータに接続済みです。

入力ソースとしてDoUSBを使ってコンピュータから投影を開始する場合、「DoUSB」を選択します。

コンピュータとプロジェクタの内部メモリ間でファイルをコピーする場合は、「ストレージメディア」を選択します。

DoUSB

ストレージメディア

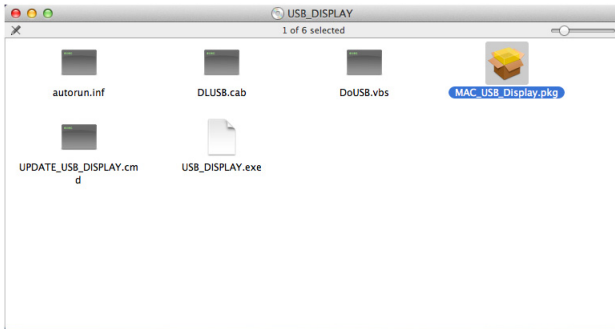
キャンセル



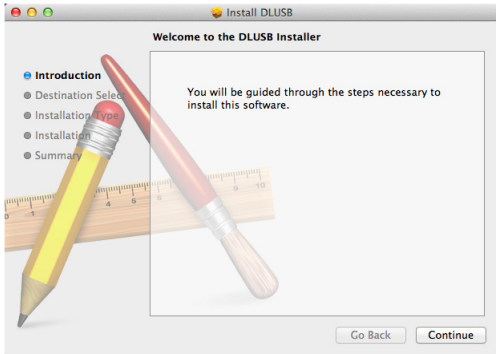
メモ : DoUSB 機能は、Mac オペレーティングシステムにドライバのインストールが必要です。お使いの Mac コンピュータにドライバがインストールされていない場合は、あなたに必要なドライバをインストールするように促すポップアップメッセージが表示されます。ページ 105 の「DoUSB ドライバのインストール」をご覧ください。

DoUSB ドライバのインストール

- 1 デスクトップで、「USB_DISPLAY」アイコンをダブルクリックします。
- 2 USB_DISPLAY フォルダで、「MAC_USB_Display.pkg」ファイルを実行します。



- 3 インストールソフトウェアが起動します。画面の指示に従って、セットアップを完了します。



- 4 インストール完了後、お使いのコンピュータを再起動します。

IR ペンの双方向性インストール



メモ：コンピュータには以下の最低システム要件を満たしている必要があります。

オペレーティングシステム：

- Windows

Windows XP Professional service pack 3 32 ビット、Windows 7 32 ビット /64 ビット、Windows 8 32 ビット /64 ビット、および Windows 8.1 32 ビット /64 ビット

Windows .NET Framework 4.0 のインストールが必要です (Microsoft のサイトからダウンロードできます)

- Mac

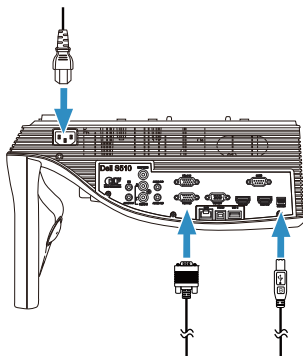
MacOS 10.6 およびそれ以上

最低ハードウェア：

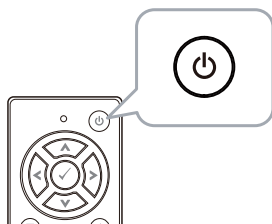
- a Windows プロセッサタイプ :Intel Core i3 またはそれ以上
- b Mac プロセッサタイプ :Intel Core i2 duo またはそれ以上
- c Windows/Mac RAM:2 GB の RAM が必須 (2GB 以上を推奨)
- d Windows/Mac 最小 HDD 容量 :110 MB の空きハードディスク容量

Windows オペレーティングシステム設定の場合

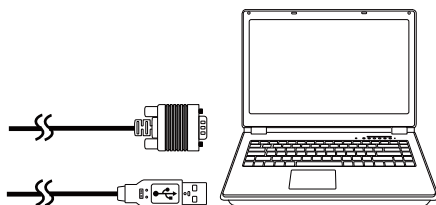
- 1 プロジェクターに電源ケーブル、VGA ケーブル、mini USB ケーブルを接続します。



- 2 リモコンの電源ボタンを押して、プロジェクターの電源を入れます。




- 3 コンピューターに VGA ケーブルと mini USB ケーブルを接続します。




- 4 コンピューターに USB ケーブルを接続すると、PenDriver インストールのメッセージが自動的に表示されます。画面の指示に従って、セットアップを完了します。

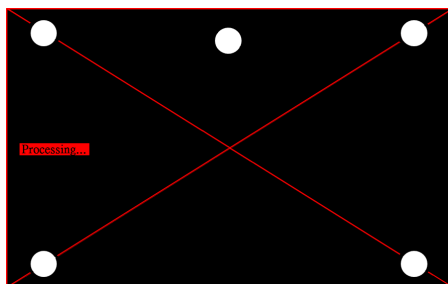


ドライバーのインストールが成功すると、ドライバーアイコンがコンピューターの通知領域に表示されます。ペンのドライバーが自動的にインストールされない場合は、マイコンピューターに移動し、「PenDriver.exe」を実行します。



メモ：ドライバーをインストールするために、管理者レベルのアクセス権が必要な場合があります。ネットワーク管理者に連絡し、サポートを求めてください。


- 5 ペンのドライバー  アイコンをクリックし、ペンの**校正**を選択し、サブメニュー上で**自動**を選択します。

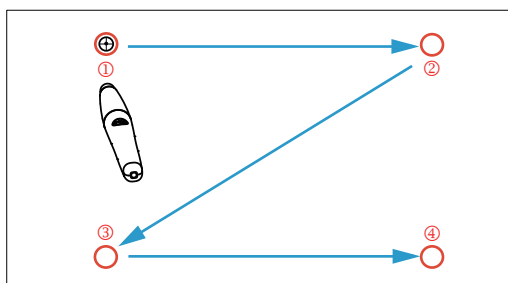


「自動校正失敗」のメッセージが表示される場合、トラブルシューティングのための以下のステップを実行してから、自動校正を再度実行してください。

- a ライトを切るかホワイトボードに対する迷光を減らします
 - b プロジェクターの前を歩いたりプロジェクターを移動させないでください
 - c 焦点を調節して投影画像を明瞭にします
- 「自動校正失敗中」のメッセージがスクリーンに表示される場合、手動校正に切り替えてください。

手動校正：

ペンのドライバー  アイコンをクリックし、**ペンの校正**を選択し、サブメニュー上で**手動**を選択します。



スクリーン上でターゲットのマークにタッチします。(“ESC”キーを押して校正プロセスを終了します)。4点目の校正が終了してから、校正データが保存される間2秒間待ちます。

- 6 IR ペンの電源スイッチをオンにします。
- 7 IR ペンでスクリーンを指し、IR ペンの使用を開始します。

Mac オペレーティングシステム設定の場合

- 8 **ステップ 1～3** を繰り返し、プロジェクターの電源を入れ、VGA ケーブルと USB ケーブルを接続します。
- 9 コンピューター内で PenDriver の CD-ROM を検索します。
- 10 Mac フォルダーから PenDriver.zip ファイルをダブルクリックします。
- 11 ダウンロードフォルダーで PenDriver.app を実行します。
- 12 コントロール機能の初期化を実行して IR ペンの使用を開始するため、**ステップ 5～7** を参照します。

Web 管理からプロジェクトの管理

ネットワーク設定の設定

プロジェクトがネットワークに接続されている場合、Web ブラウザを使用してプロジェクトにアクセスできます。ネットワーク設定を行う場合、ページ 48 の「LAN 設定」を参照してください。

Web 管理にアクセスする

Internet Explorer 6.0 以降または Firefox 2.0 以降を使用して、IP アドレスを入力します。これで Web 管理にアクセスし、リモートの場所からプロジェクトを管理できるようになりました。

ホームページ



- Web ブラウザにプロジェクトの IP アドレスを入力することで、Web 管理ホームページにアクセスします。ページ 48 の「LAN 設定」を参照します。
- リストから、Web 管理用の言語を選択します。
- 左タブのメニューアイテムをクリックして、ページにアクセスします。

Dell プロジェクタ接続マネージャをダウンロードする

ページ 72 の「ワイヤレスディスプレイまたは LAN ディスプレイの設置」を参照してください。

DELL

ダウンロード

ダウンロード
ユーザ管理
システム管理者
Crestron

i 注: 本ワイヤレスアプリケーションソフトウェアをインストールする必要があるのは1度だけです。

1. お使いのコンピューターのオペレーティングシステムに従って、ワイヤレスアプリケーションソフトウェアを選択します。(ダウンロードをクリック)
2. ワイヤレスアプリケーションソフトウェアを実行し、お使いのコンピューターにインストールします。
3. デスクトップで アイコンをクリックしてアプリケーションを実行します。
4. Internet Explorer 8の場合、まず「SmartScreen Filter」を無効にして、インストールの失敗を防いでください。

Windows 8 / Vista / XP用ワイヤレスアプリケーションソフトウェア
ダウンロード

MAC用ワイヤレスアプリケーションソフトウェア
ダウンロード

コンピューターの対応するオペレーティングシステムの **ダウンロード** ボタンをクリックします。

ユーザ管理







これにより、プロジェクタケーブルを使わずにさまざまなソースから会議のプレゼンテーションをホストし、各プレゼンテーションが画面に表示される方法を制御することができます。



メモ: 会議撮影コントロールがない場合、アプリケーションの「再生」ボタンを押した最後のユーザーが全画面投影をコントロールします。

パソコン名: 会議制御用にログされたコンピュータを一覧表示します。

投影コントロール: ボタンをクリックして、各コンピュータの投影がスクリーンに表示される方法を制御します。

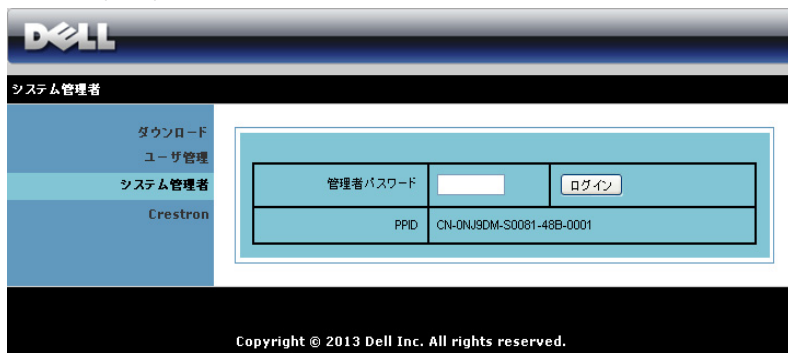
-  全画面投影 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面全体に占められます。
-  分割 1 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面左上に表示されます。
-  分割 2 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面右上に表示されます。
-  分割 3 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面左下に表示されます。
-  分割 4 - コンピュータからのプレゼンテーションが画面右下に表示されます。
-  停止 - コンピュータからの投影が停止します。

IP アドレス: 各コンピュータの IP アドレスを表示します。

メモ: 会議を終了するには、ホームをクリックします。

プロジェクトの管理

システム管理者



ダウンロード	
ユーザ管理	
システム管理者	
Crestron	

管理者パスワード	<input type="text"/>	ログイン
PPID	CN-ONJSDM-S0081-48B-0001	

Copyright © 2013 Dell Inc. All rights reserved.

管理ページにアクセスするには、システム管理者パスワードが要求されます。

- **管理者パスワード**：管理者パスワードを入力して、**ログイン**をクリックします。初期設定のパスワードは「admin」です。パスワードを変更するには、ページ 118 の「パスワードの変更」を参照してください。

状態

The screenshot shows a Dell system management interface. At the top left is the Dell logo. Below it, a navigation bar shows 'システム管理者 > 状態' and a 'ホーム' button. The main content area is divided into a left sidebar and a right main panel. The sidebar contains a '状態' (Status) section with several menu items: 'ネットワークセットアップ', '投影セットアップ', 'パスワードの変更', '出荷時状態に戻す', 'ファームウェア更新', 'プロジェクタのコントロールパネル', and 'アラート設定'. At the bottom of the sidebar is a '再起動' (Restart) button with a red power icon. The main panel displays three status sections: 'ネットワーク状態' (Network Status) with IP address, subnet mask, default gateway, and MAC address; '接続状態' (Connection Status) showing '投影待ち中' (Projector waiting) and 'ユーザー数' (Number of users) as 0; and 'プロジェクターの状態' (Projector Status) with fields for model name (SS10), projector name (Dell Projector), location, connection priority, status (On), and lamp time (40 hrs).

ネットワーク状態	
IPアドレス	192.168.100.10
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.100.10
MACアドレス	B8:CA:3A:FD:5A:A2

接続状態	
投影状態	投影待ち中
ユーザー数	0

プロジェクターの状態	
モデル名	SS10
プロジェクタ名	Dell Projector
場所	
連絡先	
ステータス	オン
ランプ時間	40 hrs

ネットワーク状態、接続状態、およびプロジェクターの状態情報を表示します。

ネットワーク状態

ページ 48 の OSD セクションを参照してください。

The screenshot shows the Dell network configuration interface. The left sidebar contains navigation options: 状態 (Status), ネットワークセットアップ (Network Setup), 投影セットアップ (Projection Setup), パスワードの変更 (Change Password), 出荷時状態に戻す (Restore Factory Defaults), ファームウェア更新 (Firmware Update), プロジェクタのコントロールパネル (Projector Control Panel), アラート設定 (Alert Settings), and 再起動 (Restart). The main content area is titled 'システム管理者 > ネットワークセットアップ' and includes a 'ホーム' button. The configuration is divided into several sections: 1. IP セットアップ (IP Setup): Radio buttons for 'IPアドレスを自動的に取得' (selected) and '次の IP アドレスを使用する'. Fields for IP Address (192.168.100.10), Subnet Mask (255.255.255.0), Default Gateway (192.168.100.10), and DNS Server (192.168.100.10). 2. DHCP セットアップ (DHCP Setup): Radio buttons for '自動' (selected) and '無効'. Fields for Start IP Address (192.168.100.11), End IP Address (192.168.100.254), Subnet Mask (255.255.255.0), Default Gateway (192.168.100.10), and DNS Server (192.168.100.10). 3. 無線セットアップ (Wireless Setup): Radio buttons for '有効' (selected) and '無効'. Fields for Region (--- WORLDWIDE ---), SSID (Dell Projector abc), SSD Broadcast (radio buttons for '有効' and '無効'), Frequency Band (2.40 B/G/N mixed), Channel (自動), Security (無効), Key, and TX mode channel (radio buttons for 20MHz and 40MHz). 4. RADIUS Server Setup: Fields for IP Address (192.168.100.10), Port (1812), and Key. 5. GateKeeper: Radio buttons for '全て開放' (selected), '全て遮断', and 'インターネットのみ開放'. 6. SNMP: Field for '書き込みコミュニティ' (private). At the bottom right are '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

IP セットアップ

- IP アドレスを自動的に取得を選択して IP アドレスをプロジェクトに自動的に割り当てるか、次の IP アドレスを使用するで IP アドレスを手動で割り当てます。

DHCP セットアップ

- 自動を選択して開始 IP アドレス、終了 IP アドレス、Frequency Band、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイおよび DNS サーバアドレスを DHCP サーバーから自動的にセットアップするか、または無効でこの機能を無効にします。

無線セットアップ

- **有効**を選択して**地域**、**SSID**、**SSIDブロードキャスト**、**Frequency Band**、**チャンネル**、**セキュリティ**、**キー**および**TX mode channel**をセットアップします。**無効**を選択して、ワイヤレスセットアップを無効にします。

SSID：最大 32 の文字長。

セキュリティ：WPA キーを無効にしたり、ASCII または HEX 文字列で 64 ビットまたは 128 ビットのどちらかを選択します。

キー：暗号化が有効になると、選択した暗号化モードに従ってキー値を設定する必要があります。

RADIUS Server Setup

- IP アドレス、ポートおよびキー情報をセットアップします。

GateKeeper

- 3 つのオプションがあります。

全て開放：ワイヤレスプロジェクタを介してオフィスのネットワークへのアクセスを許可します。

全て遮断：ワイヤレスプロジェクタを介してオフィスのネットワークへのユーザーのアクセスをブロックします。

インターネットのみ開放：ユーザーをオフィスネットワークからブロックしますが、インターネット接続機能は留保されます。

SNMP に対してセキュリティを設定します

- 書き込みコミュニティ情報をセットアップします。

適用ボタンをクリックして変更を保存し、適用します。変更を有効にするには、プロジェクタを再起動する必要があります。

投影セットアップ

状態	解像度	WXGA (1280x800)
ネットワークセットアップ	認証コード	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> ランダム <input type="radio"/> 指定
投影セットアップ	モデル名	SS10
パスワードの変更	プロジェクタ名	Dell Projector
出荷時状態に戻す	場所	
ファームウェア更新	連絡先	
プロジェクタのコントロールパネルアラート設定		
再起動		

投影セットアップ

- **解像度**：解像度を選択します。オプション：XGA (1024 x 768) および WXGA (1280 x 800)。
- **認証コード**：プロジェクタでログインコードの生成方法を選択します。3つのオプションがあります。
 - **無効**：システムにログインしているとき、ログインコードは必要ありません。
 - **ランダム**：デフォルトはランダムです。ログインコードはアトランダムに生成されます。
 - **指定**：4桁のコードを入力します。このコードは、システムにログインするために使用されます。

プロジェクターのセットアップ

- **プロジェクタ名**、**場所**、および**連絡先情報**を設定します（各フィールドごと最大 21 文字）。

適用ボタンをクリックして変更を保存し、適用します。変更を有効にするには、プロジェクタを再起動する必要があります。

パスワードの変更

The screenshot shows the Dell System Manager interface for changing the administrator password. The top navigation bar includes the Dell logo and the breadcrumb "システム管理者 > パスワードの変更". A "ホーム" link is visible in the top right. A left-hand menu lists various system management tasks, with "パスワードの変更" highlighted in blue. The main content area is titled "システム管理者" and contains a form with two input fields: "新しいパスワード" (New Password) and "パスワード再入力" (Re-enter Password). A "適用" (Apply) button is located to the right of the second input field. At the bottom of the menu, there is a "再起動" (Restart) option with a red square icon.

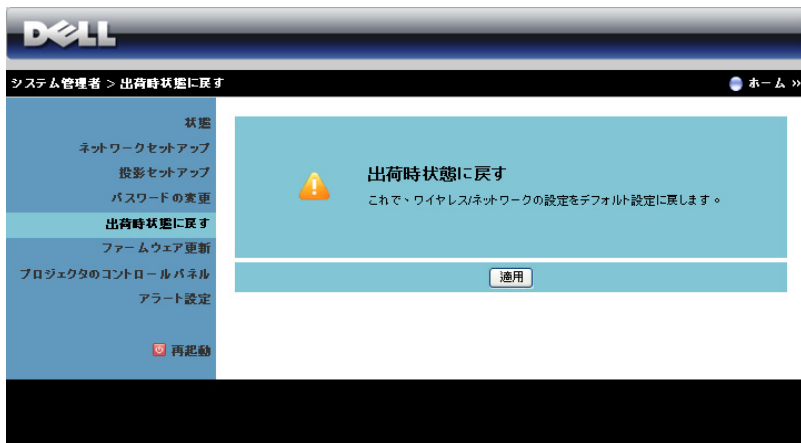
このページにより、管理者パスワードを変更します。

- **新しいパスワード**：新しいパスワード。
- **パスワード再入力**：パスワードを再入力して、**適用**をクリックします。



メモ：管理者パスワードを忘れた場合、Dell にご連絡ください。

出荷時状態に戻す




The screenshot shows the Dell system management interface. At the top, there is a 'DELL' logo. Below it, a navigation bar shows 'システム管理者 > 出荷時状態に戻す' and a 'ホーム >>' button. The left sidebar contains a list of settings: '状態', 'ネットワークセットアップ', '投影セットアップ', 'パスワードの変更', '出荷時状態に戻す' (highlighted), 'ファームウェア更新', 'プロジェクトのコントロール パネル', 'アラート設定', and '再起動'. The main content area displays a warning icon and the title '出荷時状態に戻す'. Below the title, it says 'これで、ワイヤレスネットワークの設定をデフォルト設定に戻します。' (This will restore wireless network settings to default). At the bottom of this area is a button labeled '適用' (Apply).

適用ボタンをクリックしてすべてのワイヤレス / ネットワーク設定を工場出荷時の初期設定に復元します。

ファームウェア更新

ファームウェア更新ページを使って、プロジェクトのワイヤレスファームウェアを更新します。


The screenshot shows the Dell system management interface. At the top, there is a navigation bar with the Dell logo and the text "システム管理者 > ファームウェア更新" and a "ホーム" button. The main content area is divided into a left sidebar and a main panel. The sidebar contains menu items: "状態", "ネットワークセットアップ", "投影セットアップ", "パスワードの変更", "出荷時状態に戻す", "ファームウェア更新", "プロジェクトのコントロールパネル", and "アラート設定". The "ファームウェア更新" item is highlighted. The main panel displays the "ワイヤレスファームウェアバージョン" (VW27) and "リリース日" (20140905). Below this, there is a section for "ファームウェアのアップグレード" with a warning message: "ファームウェアのアップグレードには数分かかります。いったんプロセスが開始されたら中断しないで下さい。更新が完了すると、ワイヤレスシステムは自動的に再起動します。更新するファイル(*.awd)を選択してください。" There is a "ファイル名" input field and a "参照..." button. A "更新" button is at the bottom. At the very bottom of the interface, there is a "再起動" button with a red square icon.

 **メモ:** ファームウェアアップグレードが成功した後、OSD を使ってワイヤレス / ネットワークの無効 / 有効を切り替えてプロジェクトのネットワークカードを再起動してください。

ファームウェア更新を開始するには、次のステップを行います：

- 1 **dell.com/support** からファームウェアファイルをダウンロードできます。
- 2 **参照**を押して更新するファイルを選択します。
- 3 **更新**ボタンをクリックして開始します。デバイスでファームウェアを更新している間、お待ちください。

The screenshot shows a warning message during the firmware update process. It features a yellow warning triangle icon with an exclamation mark. The text reads: "ファームウェアを書き込み中は、お待ちください。" Below this, a smaller warning message states: "警告：フラッシュメモリに書き込むために5-7分を要します。この間にシャットダウンや再起動の様な割り込み操作が発生する場合、システムが破壊されてしまいます！" At the bottom, it indicates "残り時間：407秒".

 **注意:** 更新プロセスを中断しないでください。システム破壊の原因となります。

- 4 更新が完了したら、**確認**をクリックします。



プロジェクタのコントロールパネル

システム管理者 > プロジェクタのコントロールパネル ホーム >>

プロジェクタ情報

プロジェクタの状態: オン リフレッシュ

省電力: 20mins 電源オン 電源オフ

アラート状態: よい クリア

イメージ制御

操作モード: 標準モード エコモード ダイナミックモード 極端な調光モード

投影モード: リアプロジェクションシーダブル（ウォールマウント）

ソース選択: ワイヤレスディスプレイ

ビデオモード: プレゼンテーションモード

何もうつっていない画面: オン オフ

縦横比: 元 4:3 Wide

明るさ: 50 (0-100) 設定

コントラスト: 50 (0-100) 設定

自動調整

オーディオ管理

ボリューム: 20 (0-20) 設定

出荷時にリセット

プロジェクタ情報

- **プロジェクタの状態**: 次の 5 つの状態があります: ランプオン、スタンバイ、省電力、冷却、ウォームアップ。リフレッシュをクリックして、ステータスとコントロール設定を更新します。
- **省電力**: 省電力は オフ、20 分、60 分、90 分、120 分に設定できます。詳しくは、ページ 54 の「省電力」を参照してください。
- **アラート状態**: 3 つのアラート状態があります: ランプ警告、ランプ寿命の低下、および温度警告。警報が有効になっている場合、プロジェクタは保護モードにロックされます。保護モードを終了するには、クリアをクリックしてアラート状態を消去してから、プロジェクタの電源をオンにします。

イメージ制御

- **投影モード**：プロジェクタの取り付け方法によって投影モードを選択できます。次の2つの投影モードがあります：前面投影 - 壁取付および背面投影 - 壁取付。
- **ソース選択**：ソース選択メニューを使ってプロジェクタの入力ソースを選択します。VGA-A、VGA-B、コンポジットビデオ、HDMI-A、HDMI-B、ワイヤレスディスプレイ、USB ディスプレイ、USB ビューア、Intel® WiDi、または、内部メモリを選択できます。
- **ビデオモード**：プロジェクタを使用する方法に基づいて、ディスプレイ画像を最適化するモードを選択します：
 - **プレゼンテーション**：プレゼンテーションスライドに最適。
 - **明るさ**：最大の輝度とコントラスト。
 - **映画**：動画や写真の表示用。
 - **sRGB**：より正確なカラープレゼンテーションを提供します。
 - **カスタム**：お好みの設定。
- **何もうつっていない画面**：オンまたはオフも選択できます。
- **縦横比**：縦横比を選択して画像の表示方法を調整します。
- **明るさ**：値を選択して画像の明るさを調整します。
- **コントラスト**：値を選択してディスプレイのコントラストを調整します。

自動調整ボタンをクリックして、設定を自動的に調整します。

オーディオ管理

- **ボリューム**：オーディオボリュームに対して値 (0 ~ 20) を選択します。
- 出荷時にリセットボタンをクリックして、工場出荷時の設定に復元します。

アラート設定

システム管理者 > アラート設定

ホーム

状態

ネットワークセットアップ

投影セットアップ

パスワードの変更

出荷時状態に戻す

ファームウェア更新

プロジェクトのコントロールパネル

アラート設定

再起動

Eメールアラート

有効 無効

メール警報テスト

宛先

Cc

発信元

件名

SMTP設定

送信SMTPサーバ

ユーザー名

パスワード

警報条件

ランプ警告

ランプ寿命が短くなっています

ランプ寿命が短くなっています

保存

Eメールアラート

- Eメールアラート：Eメールで通知を受け取るか（有効）、または受け取らない（無効）かを設定できます。
- 宛先/Cc/ 発信元：異常または警告が発生した場合、通知を受信する送信者（発信元）と受信者（宛先/Cc）のEメールアドレスを入力できます。
- 件名：Eメールの件名を入力できます。

メール警報テストボタンをクリックして、Eメールアラート設定をテストします。

SMTP設定

- 送信SMTPサーバ、ユーザー名とパスワードはネットワーク管理者またはMISから提供を受ける必要があります。

警報条件

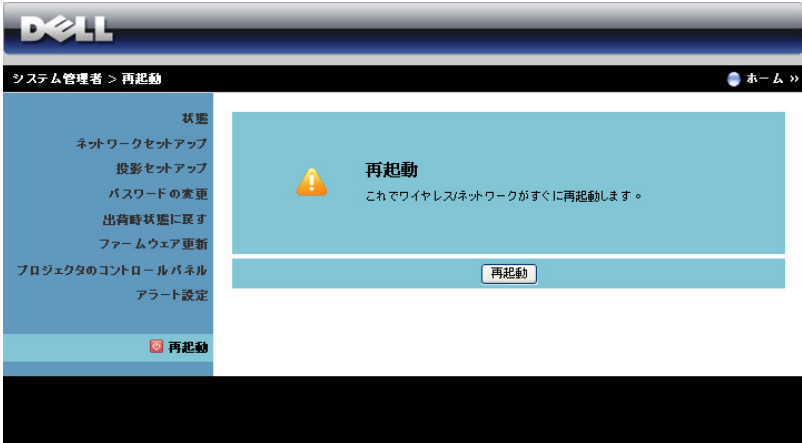
- Eメールで通知する異常や警告を選択できます。どれかの警報条件が発生したとき、Eメールが受信者（宛先/Cc）に送信されます。

保存ボタンをクリックして設定を保存します。



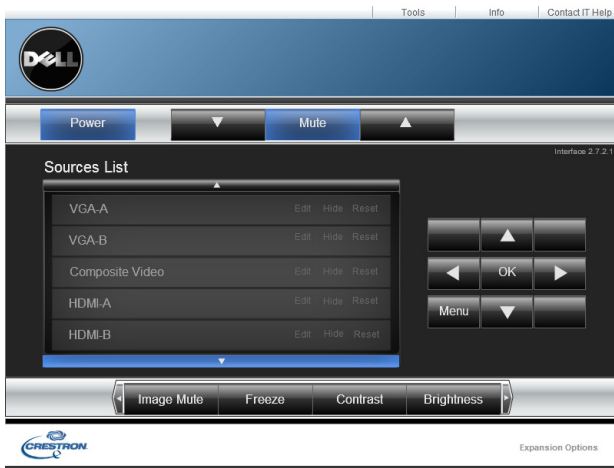
メモ: Eメールアラートは、デフォルトの25ポートを使う標準のSMTPサーバーで機能するように設計されています。暗号化と認証(SSLまたはTLS)はサポートしません。

再起動



再起動をクリックすると、システムが再起動します。

Crestron



項目	説明
1 電源ボタン	クリックして、プロジェクタ電源のオン / オフを切り替えます。
2 音量制御バー	このボタンをクリックして音量を上げます。 消音をクリックして、プロジェクタスピーカ のオン / オフを切り替えます。 このボタンをクリックして音量を下げます。
3 OSD ナビゲーション パッド	メニューをクリックして、プロジェクタ OSD のオン / オフを切り替えます。 矢印キーを使用して OSD オプションをナビ ゲートし、OK をクリックして選択します。
4 輝度ボタン	クリックしてプロジェクタの表示輝度を調整し ます。
5 コントラストボタン	クリックしてプロジェクタの表示コントラスト を調整します。
6 フリーズボタン	クリックして、プロジェクタスクリーン画像の フリーズのオン / オフを切り替えます。
7 画像消音ボタン	クリックして、プロジェクタ表示のオン / オフ を切り替えます。この機能では、プロジェクタ 電源のオン / オフは切り替わりません。
8 ソースリストパネル	プロジェクタの入力ソースを切り替えることが できます。

ツールウィンドウを使用する

オペレーションウィンドウ上のツールタブをクリックすると、以下のウィンドウが表示されます。このウィンドウを使用して、現在接続されているプロジェクターの設定を変更できます。

The screenshot shows a software interface with a blue header containing the Dell logo and navigation tabs for 'Tools', 'Info', and 'Contact IT Help'. The main area is divided into three sections: 'Crestron Control', 'Projector', and 'User Password'.
- 'Crestron Control' includes fields for IP Address, IP ID (5), and Port (41794), with a 'Send' button.
- 'Projector' includes fields for Projector Name (S510), Location, and Assigned To, with a 'Send' button.
- Below 'Projector' is a DHCP section with a checked 'Enabled' checkbox and fields for IP Address (192.168.100.10), Subnet Mask (255.255.255.0), Default Gateway (192.168.100.10), and DNS Server (192.168.100.10), with a 'Send' button.
- 'User Password' and 'Admin Password' sections each have 'Enabled' checkboxes, 'New Password' and 'Confirm' fields, and 'Send' buttons.
An 'Exit' button is located at the bottom center. The Crestron logo and 'Expansion Options' text are visible at the bottom of the window.

Crestron コントロール

- Crestron® 中央コントローラーを設定します。

プロジェクタ

項目	説明
1 Projector Name (プロジェクタ名)	現在接続されているプロジェクターに対し、ネットワーク上の他のプロジェクターと異なる名前を入力します。(名前には最大 15 文字までの半角英数文字を含めることができます。)
2 Location (場所)	ネットワークに現在接続されているプロジェクターの、インストール位置の名前を入力します。(名前には最大 32 文字までの半角英数文字および記号を含めることができます。)
3 Assigned To (割当て先)	プロジェクターのユーザー名を入力します。(名前には最大 32 文字までの半角英数文字および記号を含めることができます。)

項目	説明
4 DHCP	DHCP を使用するために Enabled (有効) チェックボックスを選択します。DHCP が有効化されている場合は IP アドレスを入力できません。
5 IP Address (IP アドレス)	現在接続されているプロジェクターに対して割り当てる IP アドレスを入力します。
6 Subnet Mask (サブネットマスク)	現在接続されているプロジェクターのサブネットマスクを入力します。
7 Default Gateway (デフォルトゲートウェイ)	現在接続されているプロジェクターのゲートウェイアドレスを入力します。
8 DNS Server (DNS サーバ)	現在接続されているプロジェクターの DNS サーバー IP アドレスを入力します。
9 Send (送信)	このボタンをクリックして、プロジェクターへの変更を確定します。

ユーザーパスワード

コンピュータのオペレーションウィンドウを開くためにパスワードを要求するには、**Enabled (有効)** チェックボックスを選択します。

項目	説明
1 New Password (新規パスワード)	オペレーションウィンドウを開くパスワードを変更するときは、新規パスワードを入力します。(最大 26 文字の半角英数文字)
2 Confirm (確認)	新規パスワードに入力したのと同じパスワードを入力します。パスワードが同じではない場合、エラーが表示されます。
3 Send (送信)	このボタンをクリックして、ユーザーパスワードへの変更を確定します。

管理者パスワード

Tools (ツール) ウィンドウを開くためにパスワードを要求するには、**Enabled (有効)** チェックボックスを選択します。

	項目	説明
1	New Password (新規パスワード)	Tools (ツール) ウィンドウを開くパスワードを変更するときは、新規パスワードを入力します。 (名前には最大 26 文字までの半角英数文字を含めることができます。)
2	Confirm (確認)	新規パスワードに入力したのと同じパスワードを入力します。パスワードが同じではない場合、エラーが表示されます。
3	Send (送信)	このボタンをクリックして、管理者パスワードへの変更を確定します。

よくある質問:

インターネット経由でプロジェクトにリモートでアクセスするつもりです。ブラウザをどのように設定すればいいのでしょうか？

ブラウザを最適の状態を設定するには、以下のステップに従ってください。

- 1 コントロールパネル → インターネットオプション → 全般タブ → インターネット一時ファイル → 設定 → 選択ページへのすべての訪問者を順番に開きます。
- 2 一部のファイアウォールやアンチウイルスが HTTP アプリケーションをブロックすることがあります。可能な場合、ファイアウォールやアンチウイルスをオフにしてください。

インターネット経由でプロジェクトにリモートでアクセスするつもりです。そのためには、どのソケットポート番号をファイアウォールで開くべきですか？

次は、プロジェクトが使用する TCP/IP ソケットポートです。

UDP/TCP	ポート番号	説明
TCP	80	Web 設定 (HTTP)
UDP/TCP	25	SMTP: メールサーバー間で E メールルーティングに使用します
UDP/TCP	161	SNMP: 簡易ネットワーク管理プロトコル
UDP	9131	AMX: AMX ディレクトリに使用します

インターネットを介してプロジェクトにアクセスできないのは、どうしてですか？

- 1 コンピュータ / ノート PC がインターネットに接続されているかどうか、確認してください。
- 2 コンピュータ / ノート PC が同じサブネットに有るかどうか、MIS またはネットワーク管理者にお問い合わせください。

SMTP サーバーにアクセスできないのは、どうしてですか？

- 1 SMTP サーバー機能がプロジェクトに対して開いており、プロジェクトに割り当てられた IP が SMTP サーバーへのアクセスを許可されているかどうか、MIS またはネットワーク管理者にお問い合わせください。プロジェクトの SMTP ソケットポート番号は 25 で、これを変更することはできません。
- 2 送信 SMTP サーバー、ユーザー名、パスワードが正しく設定されているか、確認してください。
- 3 SMTP サーバーには、「発信元」のメールアドレスが「ユーザー名」と「パスワード」に相互に関連付けられているかどうかを確認するものもあります。例えば、「発信元」のメールアドレスとして test@dell.com を使用します。SMTP サーバーにログインするユーザー名とパスワードに対して、test@dell.com アカウント情報を使用する必要もあります。

プロジェクトがテストメールの送信されたことをすでに示しているのに、メール警報テストを受信できないのはどうしてですか？

SMTP サーバーが警報メールをスパムメールとして認識しているか、SMTP サーバーの制約が原因となっていると思われる。SMTP サーバーの設定については、MIS またはネットワーク管理者にお問い合わせください。

ファイアウォール設定とよくある質問 (FAQ)

Q: Web 管理ページにアクセスできないのは、どうしてですか？

A: コンピュータのファイアウォール設定では、Web 管理 Web ページにアクセスできないようにします。次の設定をご参照ください。

ファイアウォール 保護	設定
McAfee Security Center	<ol style="list-style-type: none">1 McAfee Security Center を起動します (スタート > すべてのプログラム > McAfee > McAfee Security Center)。2 Personal firewall plus タブで、View the Internet Applications List リストをクリックします。3 リストから、Dell プロジェクターを探して選択します。4 その Permissions カラムを右クリックします。5 ポップアップメニューから Allow Full Access を選択します。
Norton AntiVirus	<ol style="list-style-type: none">1 Norton AntiVirus を開きます (スタート > すべてのプログラム > Norton AntiVirus > Norton AntiVirus)。2 Options メニューをクリックしてから、Norton AntiVirus を選択します。3 Status ページで、Internet Worm Protection を選択します。4 プログラムのリストから Dell プロジェクターを探して選択します。5 その Internet Access カラムを右クリックします。6 ポップアップメニューから Permit All を選択します。7 OK をクリックします。

ファイアウォール 保護	設定
Sygate Personal Firewall	<ol style="list-style-type: none"> 1 Sygate パーソナルファイアウォールを開きます (スタート > すべてのプログラム > Sygate > Sygate Personal Firewall)。 2 実行中のアプリケーションリストから、Dell プロジェクターを探して右クリックします。 3 ポップアップメニューからAllowを選択します。
Windows ファイアウォール	<ol style="list-style-type: none"> 1 Windows ファイアウォールを開きます (スタート > すべてのプログラム > コントロールパネル)。Windows ファイアウォールをダブルクリックします。 2 全般タブで、例外を認めないのチェックを外します。 3 例外タブで、プログラムの追加ボタンをクリックします。 4 プログラムのリストから Dell プロジェクターを探して選択し、OKをクリックします。 5 OKをクリックして、例外設定を確認します。
Zone Alarm	<ol style="list-style-type: none"> 1 ゾーンアラームファイアウォールを開きます (スタート > すべてのプログラム > Zone Labs > Zone Labs Center)。 2 プログラムコントロールページで、リストから Dell プロジェクターを探して選択します。 3 その Access-Trusted カラムを右クリックします。 4 ポップアップメニューからAllowを選択します。 5 右クリックし、Allow、サーバー - 信頼、サーバー - インターネットカラムに対して許可を選択します。

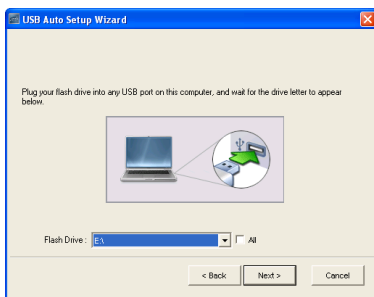
アプリケーショントークンの作成

アプリケーショントークンでは、USB トークンを使用してプラグおよび表示を実行できます。

- 1 アプリケーションソフトウェアで、 > **USB Dongle (USB ドングル)** をクリックします。
- 2 次の画面が表示されます。**Next (次へ)** をクリックします。



- 3 コンピュータの USB ポートのどれかにフラッシュドライブを差し込みます。リストからドライブを選択し、**Next (次へ)** をクリックします。



- 4 **Finish (終了)** をクリックしてウィザードを閉じます。



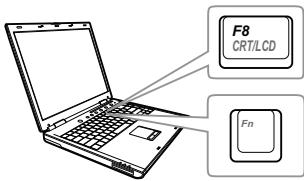
4

プロジェクタのトラブルシューティング

プロジェクタに問題が生じた場合は、次のトラブルシューティングを参照してください。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください (Dell へのお問い合わせはページ 147 をご覧ください)。

問題

画面に画像が表示されない





解決方法

- 「入力選択」メニューで、正しい入カソースを選択していることを確認してください。
- 外部グラフィックスポートが有効になっていることを確認します。Dell ノートパソコンをご使用の場合は **Fn** **F8 CRT/LCD** (Fn+F8) を押します。その他のコンピュータについては、それぞれの取扱説明書をお読みください。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。Dell コンピュータの場合、support.dell.com を参照してください。
- すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。ページ 9 の「プロジェクタの接続」をご覧ください。
- コネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないことを確認します。
- ランプがしっかりと取り付けられているかどうか確認してください (ページ 139 の「ランプの交換」をご覧ください)。
- 詳細設定の投写機設定メニューのテストパターンを使用します。テストパターンの色が正しいことを確認します。

問題 (続き)

画像が一部しか表示されない、スクロールする、または、正しく表示されない



解決方法 (続き)

- 1 リモコンの自動調整ボタンを押します。
- 2 Dell ノートパソコンをお使いの場合は、コンピュータの解像度を WXGA (1280 x 800) に設定します。
 - a Microsoft® Windows® デスクトップの使っていない部分を右クリックし、プロパティをクリックして、次に、設定タブを選択します。
 - b 外部モニターポートの設定が 1280 x 800 ピクセルになっていることを確認します。
 - c   (Fn+F8) を押します。

解像度を変更できない場合や、モニターがフリーズする場合は、すべての装置とプロジェクトを再起動します。

Dell ノートパソコンをご使用でない場合は、取扱説明書をご覧ください。画像が正しく表示されない場合、コンピュータのビデオドライバをアップグレードしてください。Dell コンピュータの場合、support.dell.com を参照してください。

画面にプレゼンテーションが表示されない

ノートパソコンをお使いの場合は、  (Fn+F8) を押します。

画像が不安定、または、ちらつく

アドバンスメニューの OSD **表示設定** でトラッキングを調整します (PC モードのみ)。


画像に縦線が入る

アドバンスメニューの OSD **表示設定** で周波数を調整します (PC モードのみ)。

画像の色が正しくない

- ディスプレイがグラフィックスカードから間違った信号出力を受信する場合は、アドバンスタブの OSD **画像設定** で信号の種類を **RGB** に設定してください。
 - アドバンスメニューの **投写機設定** の **テストパターン** を使用します。テストパターンの色が正しいことを確認します。
-

問題 (続き)	解決方法 (続き)
画像の焦点が合わない	<p>1 プロジェクタレンズのフォーカスリングを調整します。</p> <p>2 投影画面がプロジェクタから許容距離内にあることを確認します (1.96 フィート [0.597 m] ~ 2.4 フィート [0.731 m])。</p>
16:9 DVD を表示すると画像が伸びる	<p>プロジェクタは自動的に入力信号形式を検出します。投影画像の縦横比を入力信号形式に従って元の初期設定で維持します。</p> <p>画像がそれでも伸びる場合、OSD のアドバンスメニューの表示設定で縦横比を調整してください。</p>
画像が反転する	<p>OSD でアドバンスの投写機設定を選択し、投影モードを調整します。</p>
ランプが切れた、または、音がする	<p>ランプの寿命がなくなると、切れたり音がすることがあります。この場合は、プロジェクタの電源は入りません。ランプを交換するには、ページ 139 の「ランプの交換」を参照してください。</p>
ランプライトがオレンジ色で点灯	<p>ランプライトがオレンジ色で点灯する場合は、ランプを交換します。</p>
ランプライトがオレンジ色で点滅	<p>ランプのライトがオレンジ色に点滅する場合は、ランプモジュール接続が途切れている可能性があります。ランプモジュールをチェックし、適切にインストールされていることを確認してください。</p> <p>ランプと電源ライトがオレンジ色に点滅している場合はランプドライバが失効し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることを示します。</p> <p>ランプおよび温度ライトがオレンジ色で点滅し、電源ライトが青色で点灯する場合は、カラーホイールが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることを示します。</p> <p>保護モードを消去するには、電源ボタンを 10 秒間押し続けます。</p>

問題 (続き)	解決方法 (続き)
温度ライトがオレンジ色で点灯	プロジェクタが過熱しています。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクタが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。
温度ライトがオレンジ色で点滅	プロジェクタのファンが故障すると、プロジェクタは自動的に停止します。電源ボタンを 10 秒間押し続けることで、プロジェクタモードを消去してみてください。5 分間待ってから、再び電源をオンにしてください。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。
リモコンがスムーズに動作しない、または、限られた範囲でしか動作しない	電池の残量が少なくなっています。レーザービームが弱い場合は、新しい単 4 電池 2 本と交換します。
DoUSB が表示されません	<ul style="list-style-type: none"> • Windows <p>Display over USB (DoUSB) は、自動的に実行されます。手動で USB ディスプレイを実行するには、マイコンピュータに移動し、「USB_Display.exe」を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Mac <ol style="list-style-type: none"> a CD-ROM の USB_DISPLAY に移動し、「MAC_USB_Display.pkg」を実行します。 b 画面の指示に従って、インストールを完了します。 c システムを再起動した後、コンピュータとプロジェクタに USB ケーブルを再接続します。 <p> メモ: ドライバをインストールするには、管理者レベルのアクセス権が必要になります。ネットワーク管理者に連絡し、サポートを求めてください。</p>
IR ペンの位置補正	<ol style="list-style-type: none"> 1 プロジェクターおよびコンピュータの出力解像度が 1280x800 であることを確認してください。 2 コンピュータ上で「セカンドスクリーンのみ」を選択します。

ガイド信号

プロジェクトの状態	説明	コントロールボタン		
		電源	温度 (オレンジ色)	ランプ (オレンジ色)
スタンバイモード	スタンバイモードのプロジェクト。 電源を入れる準備ができました。	白の点滅	オフ	オフ
ウォームアップモード	プロジェクトをウォームアップして電源を入れるまでしばらく時間が掛かります。	白	オフ	オフ
ランプ点灯	通常モードのプロジェクト。画像表示の準備ができました。 ☑️メモ:OSDメニューにアクセスしていません。	白	オフ	オフ
冷却モード	プロジェクトは冷却してシャットダウンします。	白	オフ	オフ
プロジェクトが過熱	通気口が塞がれているか、周囲温度が 35°C を超えていることが考えられます。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。通気口が詰まっておらず、周囲温度が動作範囲内にあることを確認します。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オレンジ色	オフ
ランプドライバが過熱	ランプドライバが過熱しています。通気口が詰まっていることが考えられます。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。プロジェクトが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色	オレンジ色	オフ
ファンが故障しています	ファンの1つが故障しました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オレンジ色で点滅	オフ
ランプドライバが故障しています	ランプドライバが故障しました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。3分間待ってから電源コードの接続を外し、ディスプレイをもう一度オンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色で点滅	オフ	オレンジ色で点滅
カラーホイールが故障しています	カラーホイールは始動しません。プロジェクトが故障しました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。3分間待ってから電源コードの接続を外し、次に、プロジェクトをオンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	白	オレンジ色で点滅	オレンジ色で点滅
ランプが故障しています	ランプが故障しています。ランプを交換します。	オフ	オフ	オレンジ色
エラー - DC 供給 (+12V)	電源供給が中断されました。プロジェクトは自動的にシャットダウンします。3分間待ってから電源コードの接続を外し、次に、プロジェクトをオンにします。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オレンジ色で点滅	オレンジ色	オレンジ色
ランプモジュールの接続が失敗	ランプモジュールの接続が途切れている可能性があります。ランプモジュールをチェックし、適切にインストールされていることを確認してください。問題が解消しない場合は Dell までお問い合わせください。	オフ	オフ	オレンジ色で点滅

ランプの交換

△ 注意：この章で説明する交換処理の前に、ページ 8 にある「安全上のご注意」をお読みください。

メッセージ「ランプは全出力操作で耐用年数の終わりに達しています。交換をお勧めします。www.dell.com/lamps」が画面上に表示されるときは、ランプを交換してください。ランプを交換してもこのメッセージが表示される場合は、Dell までお問い合わせください。詳しくは、ページ 147 の「Dell へのお問い合わせ」を参照してください。


△ 注意：オリジナルのランプを使用して、プロジェクタの安全で最適な作業環境を確実にしてください。

△ 注意：ランプは使用中は大変熱くなります。ランプを交換する前に、少なくとも 30 分間プロジェクタを冷却します。

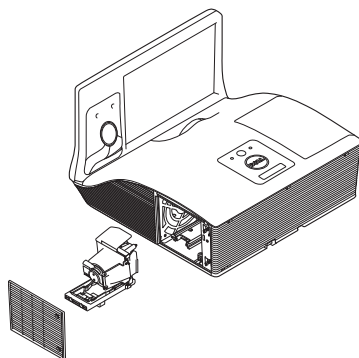
△ 注意：電球やランプのガラスには絶対に触れないでください。プロジェクタのランプは壊れやすく、触れると破損することがあります。破損した鋭いガラスの破片で怪我をすることがあります。

△ 注意：ランプが壊れた場合は、破片をすべてプロジェクタから取り除き、州や地域、国の法律に従って廃棄またはリサイクルしてください。詳しくは www.dell.com/hg をご覧ください。

- 1 プロジェクタの電源を切り、電源コードの接続を外します。
- 2 プロジェクタを少なくとも 30 分間そのままにして冷却します。
- 3 ランプカバーを固定している 2 本のネジを緩めてカバーを取り外します。
- 4 ランプを固定している 2 本のネジを緩めます。
- 5 金属製のハンドルを持ってランプを取り出します。

 **メモ**：Dell は、保証によって交換したランプの返却をお願いする場合がございます。その他の場合は、お近くのゴミ収集場所の住所について、お住まいの地域のゴミ処理担当機関までお問い合わせください。


- 6 新しいランプと交換します。
- 7 ランプを固定する 2 本のネジを締めます。
- 8 ランプカバーを元に戻して 2 本のネジを締めます。



9 アドバンスメニューの OSD パワー設定のランプリセットで「はい」を選択して、ランプ使用時間をリセットします (ページ 53 ページアドバンスメニューのパワー設定を参照)。新しいランプモジュールを変更すると、プロジェクタはランプ時間を自動的に検出しリセットします。



注意：ランプの廃棄 (米国のみ)

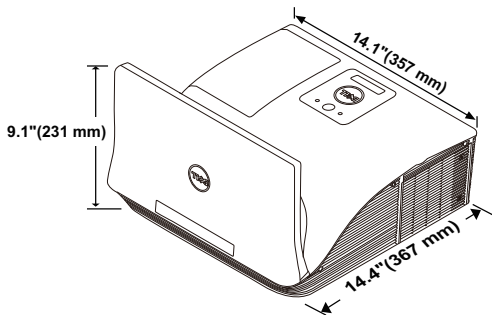
 当製品内部のランプには水銀が含まれています。お住まいの地域、州および国の規定に従って廃棄してください。詳しくは、WWW.DELL.COM/HG、または、《米》エレクトロニクス産業協議会のウェブサイト WWW.EIAE.ORG をご覧ください。ランプ別の廃棄方法については WWW.LAMPRECYCLE.ORG をご覧ください。

5

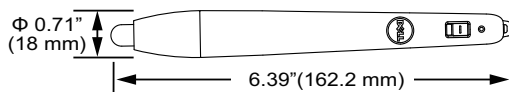
仕様

ライトバルブ	0.65" WXGA-800 S450 DMD、DarkChip3™
明るさ	3100 ANSI ルーメン (最大)
コントラスト比	ネイティブ : 2200:1 通常 高コントラスト比モード : 8000:1 通常
均質性	85% 標準 (日本規格 - JBMA 日本事務機械工業会)
画素数	1280 x 800 (WXGA)
縦横比	16:10
内部フラッシュャー	2 GB メモリ (最大)
表示可能な色	10.7 億色
カラーホイール速度	2 X 1 X (3D ディスプレイの場合)
投影レンズ	F ストップ : F/ 2.6 有効焦点距離 = 654 mm ± 10 mm @ 87.2 画面サイズ 固定レンズ、デジタルズームのみ 投影比 = 0.35 ワイドおよび望遠 オフセット率 :125%±5%
投影画面サイズ	70 ~ 100 インチ (対角)
投影距離	1.7 ~ 2.49 フィート (0.517 ~ 0.759 m ± 0.01 m)
ビデオ互換性	コンポジットビデオ : NTSC : M (3.58 MHz)、4.43 MHz PAL : B、D、G、H、I、M、N、60 SECAM : B、D、G、K、K1、L コンポーネントビデオ入力 (VGA 経由) : 1080i、720p、576i/p、480i/p HDMI 入力 : 1080p、720p、576i/p、480i/p

電力供給	ユニバーサル AC 100 ~ 240 V 50 ~ 60 Hz (PFC 入力付)
消費電力	通常モード : 345 W \pm 10% @ 110 Vac (ネットワークオン) エコモード : 285 W \pm 10% @ 110 Vac (ネットワークオン) スタンバイモード : < 0.5 W ネットワークスタンバイ : < 9.6W
オーディオ ノイズレベル	スピーカー 2 つ、10 ワット RMS 通常モード : 36 dB(A) エコモード : 32 dB(A)
プロジェクタの重量	16.76 lbs (7.6 kg)
IR ペン重量	55.2 g (バッテリーを含む)
寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	14.1 x 9.1 x 14.4 インチ (357 x 231 x 367 mm)



IR ペン寸法 (D x Φ) 6.39 x 0.71 (162.2 x 18 mm)



環境条件

動作温度：5 °C ~ 40 °C (41 °F ~ 104 °F)

湿度：80% 最大

保管温度：0 °C ~ 60 °C

(32 °F ~ 140 °F)

湿度：90% 最大

輸送温度：-20 °C ~ 60 °C

(-4 °F ~ 140 °F)

湿度：90% 最大

I/O コネクタ

電源：1つの AC 電源ソケット (3 ピン - C14 インレット)

VGA 入力：2つの 15 ピン D-sub コネクタ (青)、VGA-A & VGA-B (アナログ RGB/ コンポーネント入力信号用)。

VGA 出力：1つの 15 ピン D-sub コネクタ (黒) (VGA-A ループスルー用)。

コンポジットビデオ入力：1つの黄色 RCA ジャック (CVBS 信号用)

HDMI 入力：2つの HDMI コネクタ (HDMI 1.4 のサポート用)。HDCP 準拠 / MHL 付き。

アナログオーディオ入力：2つの 3.5 mm ステレオミニフォンジャック (青) と 1組の RCA コネクタ (赤 / 白)

可変オーディオ出力：1つの 3.5 mm ステレオミニ電話ジャック (緑)。

USB (タイプ B) ポート：1つのミニ USB スレーブ (リモートのサポートおよびファームウェア アップグレード)。

RS232 ポート：RS232 通信用ミニ 9 ピン D-sub 1 式。

USB (タイプ A) ポート：マルチメディア再生 (ビデオ / 音楽 / 写真 / オフィスビューア) 用の USB コネクタスロット 1 式。

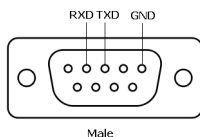
USB (タイプ B) ポート：USB ディスプレーおよび USB メモリストレージアクセス (内部メモリー) サポート用 USB コネクター 1 式。

	<p>RJ45 ポート : 1 つの RJ45 コネクタ (ネットワークと LAN ディスプレイを経由したプロジェクトのコントロール用)。</p>
マイク	<p>1 つの 3.5 mm ステレオミニ電話ジャック (ピンク)。</p>
ワイヤレス	<p>ワイヤレス標準 : IEEE 802.11 a/b/g/n (2T2R)</p> <p>OS 環境 : Windows 8/7/Vista/XP/2000、MAC OS X</p> <p>サポート : プレゼンテーションスライドとプロジェクト制御。</p> <p>同時に 30 人までのユーザーに接続できます。</p> <p>4-to-1 分割画面。画面に 4 つのプレゼンテーションスライドを投射します。</p> <p>会議制御モード。</p> <p>オーディオ投影をサポートします (ドライバのインストールが必要になる場合があります。 dell.com/support からダウンロードしてください)。</p> <p>MobiShow および WiFi-Doc 投影をサポートします。</p>
ランプ	<p>OSRAM 280 W ユーザー交換可能なランプ</p>
ランプ寿命	<p>通常モード : 最長 3000 時間</p> <p>エコモード : 最長 4000 時間</p> <p>ダイナミックエコサイクルモード : 最長 5000 時間</p>



メモ : プロジェクタのランプ寿命定格は明るさの低下のみを測定し、ランプが故障し光の出力をやめるまでの時間を計る仕様ではありません。ランプの寿命は 50 パーセント以上のランプサンプル群が、指定されたランプに対して約 50 パーセントの定格ルーメンの明るさが減少するまでの時間として定義されます。ランプの寿命定格は、いかなる方法でも保証されません。プロジェクタランプの実際の動作寿命は操作条件と使用パターンにより異なります。埃っぽい環境、高温下および突如の電源遮断を含むストレスの多い条件で、長時間プロジェクタを使用すると、ランプの動作寿命が短くなったり、ランプが故障する原因となります。

RS232 ピン割り当て



RS232 プロトコル

- 通信設定

接続設定	値
ボーレート	19,200
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1

- コマンドタイプ

OSD メニューをポップアップ表示して設定を調整します。

- 制御コマンド構文 (PC からプロジェクタへ)

[H][AC][SoP][CRC][ID][SoM][COMMAND]

- 例：電源オンコマンド (ローバイトを最初に送信)

--> 0xBE, 0xEF, 0x10, 0x05, 0x00, 0xC6, 0xFF, 0x11, 0x11, 0x01, 0x00, 0x01

- 制御コマンドのリスト

最新の RS232 コードについては、Dell サポートサイト (support.dell.com) をご覧ください。

最新の SNMP コマンドおよびリストについては、Dell サポートサイト (support.dell.com) をご覧ください。

互換モード(アナログ/デジタル)

解像度	リフレッシュ レート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ピクセル・ クロック (MHz)
640 x 350	70.087	31.469	25.175
640 x 480	59.940	31.469	25.175
720 x 480 p60	59.940	31.469	27.000
720 x 576 p50	50.000	31.250	27.000
720 x 400	70.087	31.469	28.322
640 x 480	75.000	37.500	31.500
640 x 480	85.008	43.269	36.000
800 x 600	60.317	37.879	40.000
800 x 600	75.000	46.875	49.500
800 x 600	85.061	53.674	56.250
1024 x 768	60.004	48.363	65.000
1280 x 720 p50	50.000	37.500	74.250
1280 x 720 p60	60.000	45.000	74.250
1920 x 1080 i50	50.000	28.125	74.250
1920 x 1080 i60	60.000	33.750	74.250
1280 x 720	59.855	44.772	74.500
1024 x 768	75.029	60.023	78.750
1280 x 800	59.810	49.702	83.500
1366 x 768	59.790	47.712	85.500
1360 x 768	60.015	47.712	85.500
1024 x 768	84.997	68.677	94.500
1440 x 900	59.887	55.935	106.500
1280 x 1024	60.020	63.981	108.000
1400 x 1050	59.978	65.317	121.750
1280 x 800	84.880	71.554	122.500
1280 x 1024	75.025	79.976	135.000
1440 x 900	74.984	70.635	136.750
1680 x 1050	59.954	65.290	146.250
1280 x 960	85.002	85.938	148.500
1920 x 1080	60.000	67.500	148.500
1024 x 768	119.989	97.551	115.500

6

Dell へのお問い合わせ

米国内のお客様は 800-WWW-DELL (800-999-3355) までご連絡ください。



メモ: インターネット接続がない場合は、発注書、梱包明細書、請求書、または Dell 製品カタログにある連絡先情報をご覧ください。

デルでは、さまざまなオンラインおよび電話サポートとサービスを提供しております。ご利用については、お住まいの国および製品によって異なります。また、お住まいの地域でご利用いただけないサービスもございます。販売、技術サポート、お客様サービスに関する Dell へのお問い合わせ：

- 1 www.dell.com/contactDell を参照してください。
- 2 インタラクティブマップで地域を選択します。
- 3 連絡先のセグメントを選択します。
- 4 必要なサービスまたはサポートリンクを選択します。

Crestron へのお問い合わせ

Crestron では、電話およびオンラインの技術サポートオプションをご用意しています。購入可能かどうかは国によって異なりますが、getroomview@crestron.com に電子メールをお寄せいただければどの国のユーザーの方にも適切にご返事いたします。

テクニカルサポート

米国およびカナダでは

電話番号 :877-516-5394

電子メール :roomviewsupport@crestron.com

米国およびカナダ以外では

電話番号 :+1 201-367-1037

電子メール :roomviewsupport@crestron.com

7

付録：用語集

ANSI ルーメン — 明るさの単位です。1 平方メートルの画像を、9 つの同じ長方形に分割し、各長方形の中心のルクス（または明るさ）を測定して、9 つの点の平均値を求めて算出します。

縦横比 — 最も一般的な縦横比は 4:3 (4 x 3) です。旧式のテレビやコンピュータビデオの形式は 4:3 縦横比です。つまり、画像の幅は画像の高さの 4/3 倍になります。

明るさ — ディスプレイや投影ディスプレイ、または投影デバイスから発する光の量です。プロジェクタの明るさは ANSI ルーメンで表されます。

色温度 — 白光の色を表します。色温度が低いほど暖色（黄色または赤みが強い）であることを意味し、色温度が高いほど寒色（青みが強い）を意味します。色温度の標準単位はケルビン (K) です。

コンポーネントビデオ — 高品質のビデオを伝送する方法です。ルミナンス信号と 2 つの独立したクロミナンス信号から成り、アナログコンポーネントでは Y'Pb'Pr'、デジタルコンポーネントでは Y'Cb'Cr' と定義されます。コンポーネントビデオは DVD プレーヤーで使用できます。

コンジットビデオ — ルーマ（明るさ）、クロマ（色）、バースト（色参照）、シンク（水平および垂直同期化信号）を 1 つのワイヤペアで伝送される 1 つの波形に統合するビデオ信号です。NTSC、PAL、SECAM の 3 つの形式があります。

圧縮解像度 — 入力画像の解像度がプロジェクタのネイティブ解像度よりも高い場合に、画像をプロジェクタのネイティブ解像度に合わせて圧縮します。デジタルデバイスで圧縮すると画像コンテンツの一部が失われます。

コントラスト比 — 画像の中の明るい部分と暗い位部分の範囲、または最大および最小値の間の比率を指します。プロジェクタ業界では 2 つのコントラスト比の測定方法が使われています。

- 1 **フルオン/オフ** — 完全に白い画像（フルオン）の光出力と完全に黒い画像（フルオフ）の光出力の比率を測定します。
- 2 **ANSI - 16** の交互に並んだ黒と白の長方形のパターンを測定します。白い長方形からの光出力の平均を、黒い長方形からの光出力の平均で割り、ANSI コントラスト比を算出します。

同じプロジェクタでは、フルオン/オフコントラストは ANSI コントラストよりも大きい値になります。

dB — デジベル — 通常は聴覚または電子信号の間で電力と強度の相対差異を表す単位で、2 レベルの比率の常用対数の 10 倍に相当します。

対角画面 — 画面サイズまたは投影画像のサイズを測定する方法です。1 つの角から対角線上の角までを測定します。9 フィート高、12 フィート幅のスクリーンの対角は 15 フィートです。この文書では、上の例のように、対角寸法はコンピュータ画像の従来の 4:3 の比率用とみなします。

DHCP — 動的ホスト構成プロトコル — サーバを有効にするネットワークプロトコルは TCP/IP アドレスをデバイスに自動的に割り当てます。

DLP® — Digital Light Processing™ (デジタル光処理) — Texas Instruments 社が開発した反射型ディスプレイ技術、小型操作ミラーを使用。光がカラーフィルターを通して DLP ミラーへ伝送されます。DLP ミラーが RGB 色を画面に投影される画像に配色します。DMD とも呼ばれます。

DMD — digital Micro- Mirror Device — 各 DMD には数千の傾斜角、微小なアルミ合金ミラーが隠れたヨークに搭載されています。

DNS — ドメイン名システム — ドメイン名を IP アドレスに変換するインターネットサービス。

焦点距離 — レンズの表面からその焦点までの距離。

周波数 — 電気信号の 1 秒当たりの周期の繰返し速度です。単位は Hz (ヘルツ) です。

HDCP — 広帯域デジタルコンテンツ保護 — DVI や HDMI などのデジタルインターフェイスを使いデジタルエンタテインメントを保護するために、Intel™ が開発した仕様です。

HDMI — High Definition Multimedia Interface (ハイデフィニション・マルチメディア・インターフェース) — HDMI は、デジタルオーディオ付きの未圧縮の高解像度ビデオとデバイスコントロールデータを 1 つのコネクタで伝送します。

Hz (ヘルツ) — 周波数の単位。

IEEE802.11 — ワイヤレス LAN (WLAN) 通信用の標準セット。802.11b/g/n は 2.4 GHz 帯域を使用します。

キーストーン補正 — プロジェクタと画面の角度が不適切なために起こる投影画像の歪み (通常、上部が広く下部が細くなる現象) を修正するデバイスです。

最大距離 — プロジェクタが、完全に暗い部屋で使用可能な (十分に明るい) 画像を投影できる画面からの距離。

最大画像サイズ — 暗い部屋でプロジェクタが投影できる最大画像サイズ。通常、光学部品の焦点範囲によって制限されます。

最小距離 — プロジェクタが画面上で画像の焦点を合わせることのできる最小距離。

NTSC — National Television Standards Committee (全米テレビ放送規格委員会)。ビデオおよび放送用の北米規格、525 ライン・30 フレーム毎秒のビデオ形式。

PAL — Phase Alternating Line (走査線位相反転)。ビデオおよび放送用の欧州放送規格。625 ライン・25 フレーム毎秒のビデオ形式。

画像の反転 — 画像を水平に反転する機能です。通常の前向き投射で使用すると、文字や画像などは後ろ向きになります。画像の反転は背面投射で使います。

RGB — 赤、緑、青 — 3色それぞれに別々の信号を必要とするモニタを指します。

SECAM — ビデオおよび放送用のフランスおよび国際的な放送規格、PAL に大変似ていますが、色情報の伝送方法が異なります。

SSID — サービスセット ID — ユーザーが接続を希望する特定のワイヤレス LAN を識別するために使用される名前。

SVGA — Super Video Graphics Array (スーパービデオグラフィックスアレイ) — 800 x 600 ピクセル。

SXGA — Super Extended Graphics Array (スーパー拡張グラフィックスアレイ) — 1280 x 1024 ピクセル。

UXGA — Ultra Extended Graphics Array — 1600 x 1200 ピクセルカウント。

VGA — Video Graphics Array — 640 x 480 ピクセルカウント。

WEP — 有線と同等なプライバシー — これは、通信データを暗号化するための方法です。暗号化キーは通信されるユーザーに対してのみ作成され通知されるため、通信データが第三者により復号化されることはありません。

XGA — Extended Video Graphics Array (拡張ビデオグラフィックスアレイ) — 1024 x 768 ピクセル。

WXGA — Wide Extended Graphics Array (ワイド拡張グラフィックスアレイ) — 1280 x 800 ピクセル。

索引

D

Dell への

お問い合わせ 147, 149

Dell へのお問い合わせ 5, 137,
139

お

オンスクリーンディスプレイ 36

アドバンス 41

オーディオ入力 40

ビデオモード 39

ヘルプ 55

ボリューム 40

メインメニュー 36

輝度 / 明度差 39

言語 55

自動調整 38

入力選択 36

入力選択の複数ディスプレイ
37

I/O コネクタ 143

RS232 プロトコル 145

オーディオ 142

カラーホイール速度 141

コントラスト比 141

ノイズレベル 142

ビデオ互換性 141

ライトバルブ 141

画素数 141

環境条件 143

均質性 141

質量 142

消費電力 142

寸法 142

電力供給 142

投影レンズ 141

投影画面サイズ 141

投影距離 141

表示可能な色 141

明るさ 141

せ

接続ポート

HDMI-B 入力コネクタ 9

MHL 機能をサポートするため
の HDMI-A コネクタ 9

Mini USB (Mini タイプ B) 9

RJ-45 コネクタ 9

RS232 コネクタ 9

USB ディスプレイ用 UDB タ
イプ B コネクタ (DoUSB)

さ

サポート

Dell へのお問い合わせ 147,
149

し

仕様

9
USB ビューア用 UDB タイプ
A コネクタ 9
VGA-A 入力 (D サブ) コネク
タ 9
VGA-B 入力 (D サブ) コネク
タ 9
VGA 出力 (モニターループス
ルー) コネクタ 9
オーディオ -A 入力コネクタ 9
オーディオ -B 入力コネクタ 9
オーディオ右チャンネル入力
コネクタ 9
オーディオ左チャンネル入力
コネクタ 9
オーディオ出力コネクタ 9
コンポジットビデオコネクタ
9
マイクコネクタ 9
電源コードコネクタ 9

た

対話型ペン
バッテリー 7
パワーインジケータ 7
ペン先 7
リストストラップホルダ 7
電源スイッチ 7

て

電話番号 147

と

トラブルシューティング 134

Dell へのお問い合わせ 134

ふ

プロジェクトのフォーカス調整
26
フォーカスリング 26
プロジェクトの接続
HDMI ケーブル 15, 21, 23, 24
HDMI ケーブルでの接続 21
L/R オーディオケーブル 19
MHL ケーブル 16
RS232 ケーブル 13
RS232 ケーブルを使ったコン
ピュータの接続 13, 14, 15,
16
USB - USB ケーブル 11
USB-A - USB-B ケーブル 14
VGA - VGA ケーブル 11, 12
VGA - YPbPr ケーブル 20
オーディオケーブル 22
コンピュータへ 11
コンポーネントケーブルでの
接続 20, 22, 23
コンポジットケーブルでの接
続 19
コンポジットビデオケーブル
19
電源コード 11, 12, 13, 14, 15,
16, 19, 20, 21, 22, 23, 24
プロジェクトの電源を入れる /
切る
プロジェクトの電源を切る 25
プロジェクトの電源を入れる
25

ほ

本体 6

10 W スピーカー 6

IR レシーバ 6

カメラ 6

フォーカスリング 6

ランプ LED 6

ランプカバー 6

レンズ 6

温度 LED 6

電源ボタン 6

ら

ランプの交換 139

り

リモコン 29